

学生確保の見通し等を記載した書類（目次）

1. 学生確保の見通し及び申請者としての取組状況	
1) 学生確保の見通し	2
2) 学生確保に向けた具体的な取組状況	5
2. 人材需要の動向等社会の要請	
1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	6
2) 人材養成目的等が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえた ものであることの客観的な根拠	8

学生の確保の見通し等を記載した書類

1. 学生確保の見通し及び申請者としての取組状況

1) 学生確保の見通し

(1) 定員充足の見込み

順天堂大学大学院保健医療学研究科（以下「本研究科」という）の入学定員設定にあたっては、南関東1都3県において理学療法学領域、診療放射線学領域のいずれかまたは両方の専攻を設置する他大学大学院修士課程の状況を参考とした。他大学大学院修士課程の入学定員について、理学療法学領域においては3名～40名、診療放射線学領域においては7名～40名となっている【資料1】。同一研究科内に複数の領域・専攻・コース等を設置する大学も含まれており、それらを合計した入学定員となっていることを勘案し、本研究科においては理学療法学専攻及び診療放射線学専攻の入学定員を各5名とした。

【資料1】 東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県において理学療法学領域の専攻を設置している大学院修士課程の入学定員数
東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県において診療放射線学領域の専攻を設置している大学院修士課程の入学定員数

本研究科の基礎となる学部は保健医療学部である。保健医療学部は理学療法学科及び診療放射線学科を配置した1学部2学科の体制として平成31(2019)年度に開設した。理学療法学科・診療放射線学科ともに入学定員は各学科120名という規模であり、学部開設以降、入学志願者数は堅調に推移しており、入学者数も安定的に確保できている【資料2】。本研究科を設置した場合の入学意向調査においても、保健医療学部_に在学する学生725名のうち、43.6%にあたる317名が本研究科への進学意向ありとの結果が得られている。本研究科の基礎となる保健医療学部は入学定員を大幅に上回る志願者を集めていること、及び保健医療学部の1年生から3年生に至るまで、まんべんなく多くの学生が大学院進学を視野に入れていることが確認できていることから、本研究科においても各専攻の入学定員5名を安定的に確保できることが見込まれる【資料3】。

【資料2】 順天堂大学保健医療学部理学療法学科入学者数推移
順天堂大学保健医療学部診療放射線学科入学者数推移

【資料3】 順天堂大学保健医療学研究科設置に関する入学意向調査結果報告書

(2) 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

本研究科に興味があり、進学したいと考える本学保健医療学部学生、理学療法士、

診療放射線技師がどの程度存在するかを確認するために、次の通り独自のアンケート調査を行った【資料3】。

ア) アンケート調査の概要

調査期間： 令和3年12月～令和4年1月

調査対象者： 本学保健医療学部理学療法学科・診療放射線学科の学生
理学療法士、診療放射線技師として在職中の方

調査方法： 本学保健医療学部学生には、学生支援ポータルサイトのアンケート機能を使用し、無記名によるアンケート回答を依頼した。理学療法士、および診療放射線技師として在職中の方については、主に南関東1都3県の医療機関等へアンケート調査票及び順天堂大学大学院保健医療学研究科理学療法学専攻・診療放射線学専攻について、養成する人材像や教育の特色を記載した資料を送付し、各医療機関等の所属長の協力により、同施設内に勤務する理学療法士・診療放射線技師5名にアンケート用紙を配布し、回答済みのアンケート調査票は各施設から調査委託会社へ提出していただいた。

調査票： 調査票及び資料には、設置予定研究科専攻の名称、研究科設置の目的、養成する人材像、設置予定時期、設置予定場所、修業年限、入学定員、取得学位、学生納付金（入学金、授業料等）、開設予定授業科目を明示した。

調査委託会社： 丸善雄松堂株式会社

イ) アンケート調査の結果

アンケート調査の対象者のうち、本学保健医療学部在籍学生からは725件（回答率100%）、理学療法士からは611件（回答率61.4%）、診療放射線技師からは180件（回答率67.9%）の有効回答が得られた。

①保健医療学部理学療法学科・診療放射線学科の学生

- ・90.8%が本研究科の設置がこれからの保健医療福祉の発展と向上に有益だと思ふと回答した。**「非常に有益だと思ふ」と回答した学生の割合は47.2%**であった。本研究科を設置してほしいと回答した割合は71.7%であり、「是非設置してほしい」と回答した学生の割合は41.5%に上った。本研究科への高い期待と関心が伺える。
- ・**43.6%の学生が本研究科への進学意向**を持っている。最も意向の強い**「進学したい」は7.4%**であった。進学意向を持つ学生を学科別にみると、理学療法学

科 50.8%、診療放射線学科 43.0%であった。**現在の3年生に限定すると、理学療法学科では59人、診療放射線学科では38人の学生が、進学意向があることが確認され、「進学したい」「進学に関心がある」と回答した人数は理学療法学科 41人、診療放射線学科 22人であった。両学科ともに本研究科の**入学定員の4倍以上の人数が進学意向を持っている**ことが確認された。**

- ・大学院進学予定時期は、**「学部卒業後、直ちに進学」が34.1%**（理学療法学科 31.8%、診療放射線学科 36.8%）と最も高く、次いで**「医療従事者として実務経験を積んだ後に進学」が32.2%**であった。**現在の3年生に限定すると、理学療法学科では19人（32.2%）、診療放射線学科では16人（42.1%）**の学生が「学部卒業後、直ちに進学」と回答し、**入学定員の3倍以上の人数**であった。本研究科が学部卒業直後のみならず、実務経験を積んだ後の保健医療学部卒業生の受け皿となることが期待される。

②理学療法士として在職中の方

- ・97.3%が本研究科の設置がこれからの保健医療福祉の発展と向上に有益と思うと回答した。**「非常に有益だと思う」と回答した割合は44.4%**であった。
- ・20.3%が、他大学も含めた大学院への進学意向を持っている。本研究科への進学意向があるのは11.6%であった。人数で見ると、**71人が本研究科への進学意向を持っており、入学定員の14倍以上の人数**となっている。そのうち26人が「1~2年以内」に大学院修士課程への進学を検討している。

③診療放射線技師として在職中の方

- ・90.6%が本研究科の設置がこれからの保健医療福祉の発展と向上に有益と思うと回答した。**「非常に有益だと思う」と回答した割合は33.9%**であった。
- ・11.2%が、他大学も含めた大学院への進学意思を持っている。本研究科への進学意向があるのは5.6%であった。人数で見ると、**10人が本研究科への進学意向を持っており、入学定員の2倍の人数**が入学意向を持っていることが確認された。

以上の調査結果と、他大学学生や他の医療機関からの本研究科への進学も考えられることから、本研究科理学療法学専攻・診療放射線学専攻の**各専攻の入学定員を満たす学生は十分に確保できるもの**と考える。

（3）学生納付金の設定の考え方

本研究科の学生納付金は理学療法学専攻、診療放射線学専攻共通で【表1】の通り設定する。納付金額の設定にあたっては、本学に設置されている大学院3研究科とお

およそ同金額としている。本学出身者、本学勤務者については入学金の半額を入学奨学金として給付する。

【表 1】 順天堂大学大学院保健医療学研究科の学生納付金

区分	保健医療学 研究科	医学研究科	スポーツ健康 科学研究科	医療看護学 研究科
入学金	200,000 円	200,000 円	200,000 円	200,000 円
授業料	550,000 円	400,000 円	550,000 円	550,000 円
施設設備費	50,000 円	150,000 円	—	—
実験実習費	—	—	50,000 円	50,000 円
初年度納入金額	800,000 円	750,000 円	800,000 円	800,000 円
2年間合計	1,400,000 円	1,300,000 円	1,400,000 円	1,400,000 円

【資料 4】 は南関東 1 都 3 県において理学療法学領域、診療放射線学領域のいずれかまたは両方の専攻を設置する他大学大学院修士課程の学生納付金を示したものである。他大学の納入金の平均額は初年度納入金額 1,068,429 円、2 年間合計金額 1,841,357 円である。学生の経済的な負担を軽減するためにも、本研究科においては初年度納入金額・2 年間合計金額ともに平均を下回る金額に設定している。

【資料 4】 東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県において理学療法学領域または診療放射線学領域の専攻を設置している大学院修士課程の学生納付金

2) 学生確保に向けた具体的な取組状況

学生確保に向けて次のような取組を計画しており、設置認可申請書の受理後に PR 活動を行うルールを遵守した上で、本研究科事務室を中心として組織的に広報活動を展開する。

(1) 研究科案内（リーフレット）の制作・配布

①研究科紹介リーフレットの作成

本研究科の教育理念、各専攻の教育課程、専門領域、授業科目内容、研究指導教員、研究指導内容、取得可能な学位等を掲載した研究科紹介リーフレットを 5 月下旬までに制作する。

②研究科紹介リーフレットの送付

6 月上旬から、本学保健医療学部事務室に設置し、本学保健医療学部学生への周知を図る。本学医学部附属病院および本学保健医療学部の臨床実習施設にも送付し、本研究科に関する情報を発信する。

(2) ホームページ活用による広報活動

①大学ホームページへの掲載

学校法人のホームページに設置構想中の研究科として、本研究科の情報を掲載し、概要や特色が分かるよう、掲載情報の充実を図っていく。

②本研究科専用ホームページの開設

本研究科の専用ホームページを6月上旬までに開設し、学修やカリキュラム内容、専門領域、研究指導教員、研究指導内容など、入学志願者に有意義で参考となる内容を情報公開する。

(3) 研究科説明会の実施

設置認可後に本研究科の説明会を開催する。本研究科の概要説明に加え、専攻領域の選択や指導教員との事前面談など、出願にあたっての注意事項や具体的な手続き等について丁寧に説明する。

2. 人材需要の動向等社会の要請

1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

(1) 養成する人材像

①どのような人材を養成するのか

本研究科では、理学療法学や診療放射線学に関する幅広い知識と技術、高度な専門性に基づき、科学的根拠に裏付けされた高度な理学療法や診療放射線技術を実践でき、研究・教育活動を通じて社会に貢献できる能力を有する高度専門職業人及び教育・研究者である。そのため、

1. 人体の機能・構造を多面的に理解し、理学療法学や診療放射線学に関する研究に高い倫理観をもって取り組み遂行できる能力を持つ人材
2. 理学療学分野や診療放射線学分野のリーダーや管理者、または教育・研究者としての役割を理解し、理学療法学や診療放射線学の研究動向を理解し、最新のエビデンスを分析する能力を持つ人材
3. 科学的根拠に裏付けされた理学療法学や診療放射線学の専門的知識や技術の基本を応用できる能力を持つ人材
4. 理学療学分野や診療放射線学分野における問題に対して、体系的に整理し客観的に分析する能力を持つ人材

の養成を目指す。

②学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー：DP）

本研究科では、修了時に以下に掲げる能力を備えた人材を養成することとする。

【理学療法学専攻（修士課程）】

標準修業年限（2年）以上4年以内在籍し、修了要件となる30単位以上を取得し、次の資質・能力を身に付けるとともに、必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査及び試験に合格した者に対し、修士（理学療法学）の学位を授与する。

DP1. 人体の機能・構造を多面的に理解し、理学療法学に関する研究に高い倫理観をもって取り組み遂行できる能力

DP2. 理学療法学分野のリーダーや管理者、または教育・研究者としての役割を理解し、理学療法学の研究動向を理解し、最新のエビデンスを分析する能力

DP3. 科学的根拠に裏付けされた理学療法学の専門的知識や技術の基本を応用できる能力

DP4. 理学療法学分野における問題に対して、体系的に整理し客観的に分析する能力

【診療放射線学専攻（修士課程）】

標準修業年限（2年）以上4年以内在籍し、修了要件となる30単位以上を取得し、次の資質・能力を身に付けるとともに、必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査及び試験に合格した者に対し、修士（診療放射線学）の学位を授与する。

DP1. 人体の機能・構造を多面的に理解し、診療放射線学に関する研究に高い倫理観をもって取り組み遂行できる能力

DP2. 診療放射線学分野のリーダーや管理者、または教育・研究者としての役割を理解し、診療放射線学の研究動向を理解し、最新のエビデンスを分析する能力

DP3. 科学的根拠に裏付けされた診療放射線学の専門的知識や技術の基本を応用できる能力

DP4. 診療放射線学分野における問題に対して、体系的に整理し客観的に分析する能力

（2）教育研究上の目的

本学は学是「仁」の精神を基に、「不断前進」を教育研究の理念とし、他者を思いやり理解する心・感性を持ち、現状に満足せず、常に高い目標を目指して努力を続ける人材を育成していくことを目指している。

本研究科においては、学部における理学療法学、および診療放射線学における学識をさらに発展させ、高い倫理観をもって直面する問題に対して科学的視点を持ちながら

客観的に分析する能力、および高度な専門性や研究能力・教育能力を持ち、社会に貢献できる高度専門職業人及び教育者・研究者を育成に取り組む。

2) 人材養成目的等が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

(1) 人材需要の動向

本学の位置する東京圏においては、特に人口の多い東京 23 区で急速な高齢化が進展している。東京都総務局の「令和 3 年 敬老の日になんだ東京都の高齢者人口(推計)」の概要によると、令和 3 年 9 月 15 日時点の東京都の高齢者(65 歳以上)人口は、311 万 6 千人で、過去最高を更新している。特に、75 歳以上の人口は 165 万 5 千人で、前年と比べ 1 万 3 千人増加している【資料 5】

【資料 5】 令和 3 年「敬老の日になんだ東京都の高齢者人口(推計)」

高齢者は他の年齢層より加療率が高く、多様な疾病を抱えていることが多いことから、社会の高齢化とともに医療・介護の支援が必要な高齢者は急速に増大する。特に東京都を含む南関東 1 都 3 県では、2040 年ごろに医療需要がピーク迎えると予想されている【資料 6】。

【資料 6】 医療需要ピークや医療福祉資源レベルの地域差を考慮した医療福祉提供体制の再構築

上記の通り、近年の高齢化の進展や疾病構造の変化、質の高い医療を求める国民の意識の変化等に伴い、理学療法学や診療放射線学に関する高度な専門性や、幅広い知識と技術を持ち、対象者へ最適な保健医療福祉サービスを提供できる能力を持つ人材の養成確保が急務となっている。理学療法分野では、理学療法の対象者は多様化・複雑化していることから、より質の高い専門的な理学療法実践能力が求められている。診療放射線学分野では、最先端の放射線装置を適切に操作し、装置管理ができる専門職としての役割のみならず、高度な研究力と高い専門性の診療放射線技師が求められている。

主に南関東 1 都 3 県の医療機関等のリハビリテーション室(科)の技士長(科長)、および病院の放射線部(科・室)の技師長(科長・室長)に対し、本研究科設置が保健医療福祉の発展と向上に有益かどうかアンケート調査を実施した。理学療法士については 97.3%、診療放射線技師については回答者全員(100%)が「非常に有益だと思ふ」「有益だと思ふ」と回答している【資料 7】。

【資料 7】 順天堂大学保健医療学研究科設置に関する採用意向調査結果報告書

本研究科の開設構想に対しては、公益財団法人日本理学療法士協会、公益社団法人東京都理学療法士協会、公益財団法人日本診療放射線技師会、公益財団法人東京都診療放射線技師会から研究科設置の要望書をいただいている【資料8】。

【資料8】関係団体からの研究科設置の要望書

(2) 社会的人材需要を把握するためのアンケート調査

本研究科に対する社会的人材需要を客観的且つ定量的に把握するため、次の通りアンケート調査を実施した。

本研究科修了者への採用意向を確認するために、外部機関（丸善雄松堂株式会社）にアンケート調査を委託した。

令和3年12月から令和4年1月まで、主に南関東1都3県の医療機関等に本研究科の概要を記載した資料及びアンケート用紙を送付し、アンケート用紙に記入していただく方法により実施した。

ア) アンケート調査の概要

調査期間： 令和3年12月～令和4年1月

調査対象： リハビリテーション室（科）の技士長（科長）、および
病院の放射線部（科・室）の技師長（科長・室長）

配布数： 252部（理学療法士所属199施設、診療放射線技師所属53施設）

調査方法： 医療機関等のリハビリテーション室（科）の技士長（科長）、および病院の放射線部（科・室）の技師長（科長・室長）宛に、アンケート調査票及び順天堂大学大学院保健医療学研究科理学療法学専攻・診療放射線学専攻について、養成する人材像や教育の特色を記載した資料を送付し、同封の返信用封筒にて丸善雄松堂株式会社に返信していただくこととした。

調査票： 調査票及び資料には、設置予定研究科専攻の名称、研究科設置の目的、養成する人材像、設置予定時期、設置予定場所、修業年限、入学定員、取得学位、学生納付金（入学金、授業料等）、開設予定授業科目を明示した。

調査委託会社： 丸善雄松堂株式会社

イ) アンケート調査の結果

本研究科修了生の就職が見込まれ、且つ理学療法士または診療放射線技師が所属する医療機関等の責任者にアンケート協力を依頼し、190件の有効回答（回答率約

75.4%)を得た。

- ①本研究科理学療法学専攻修了生への採用意向について、「採用したい」が39件、「採用を検討したい」が37件であった。**理学療法学専攻修了生の採用意向を示したのは76件(52.4%)となり**、本研究科理学療法学専攻修了生の採用に対する高い興味・関心が伺える。
- ②本研究科診療放射線学専攻修了生への採用意向について、「採用したい」が10件、「採用を検討したい」が7件であった。**診療放射線学専攻修了生の採用意向を示したのは17件(37.8%)となり**、本研究科診療放射線学専攻修了生の採用に対する高い興味・関心が伺える。
- ③本研究科理学療法学専攻修了生の採用人数について、①で肯定的な採用意向を示した76件に対して調査したところ、「1人」18件、「2人」16件、「3人」4件、「5人」1件、「6人以上」3件、「無回答」34件であった。
- ④本研究科診療放射線学専攻修了生の採用人数について、②で肯定的な採用意向を示した17件に対して調査したところ、「1人」4件、「2人」3件、「3人」1件、「4人」1件、「5人」1件、「無回答」7件であった。

⑤採用人数について

<理学療法士>

上記③より得られた結果を基に、各回答の件数と採用人数を掛け合わせて具体的な想定採用員数を算出すると85人となり、入学定員5名の17倍となっている。意向が強い**「採用したい」と回答した層に絞っても47人となり、入学定員の9倍以上となっている。**

<診療放射線技師>

上記④より得られた結果を基に、各回答の件数と採用人数を掛け合わせて具体的な想定採用員数を算出すると22人となり、入学定員5名の4倍以上となっている。意向が強い**「採用したい」と回答した層に絞っても10人となり、入学定員の2倍となっている。**

以上の調査結果及び今回の調査対象以外の医療機関等への進路も考えられることから、本研究科修了生の進路は十分に確保できるものと判断できる【資料7】。

学生の確保の見通し等を記載した書類

資料の目次

- 資料1 東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県において理学療法学領域の専攻を設置している大学院修士課程の入学定員数
東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県において診療放射線学領域の専攻を設置している大学院修士課程の入学定員数
- 資料2 順天堂大学保健医療学部理学療法学科入学者数推移
順天堂大学保健医療学部診療放射線学科入学者数推移
- 資料3 順天堂大学保健医療学研究科設置に関する入学意向調査結果報告書
- 資料4 東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県において理学療法学領域または診療放射線学領域の専攻を設置している大学院修士課程の学生納付金
- 資料5 令和3年「敬老の日にちなんだ東京都の高齢者人口（推計）」
- 資料6 医療需要ピークや医療福祉資源レベルの地域差を考慮した医療福祉提供体制の再構築
- 資料7 順天堂大学保健医療学研究科設置に関する採用意向調査結果報告書
- 資料8 関係団体からの研究科開設の要望書

【資料1】

東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県において理学療法学領域の専攻を設置している大学院修士課程の入学定員数

所在地	設置区分	大学名	研究科名	入学定員	備考
東京都	公	東京都立大学大学院	人間健康科学研究科	17	
東京都	私	杏林大学大学院	保健学研究科	7	同一研究科内に設置する6専攻合計
東京都	私	帝京平成大学大学院	健康科学研究科	3	
東京都	私	文京学院大学大学院	保健医療科学研究科	20	同一研究科内に設置する2コース合計
東京都	私	帝京科学大学大学院	大学院医療科学研究科	3	
神奈川県	公	神奈川県立保健福祉大学大学院	保健福祉学研究科	20	同一研究科内に設置する4領域合計
神奈川県	私	北里大学大学院	医療系研究科	40	同一研究科内に設置する7学群合計
神奈川県	私	昭和大学大学院	保健医療学研究科	20	同一研究科内に設置する9領域合計
神奈川県	私	湘南医療大学大学院	保健医療学研究科	12	うち4名は助産学領域
埼玉県	公	埼玉県立大学大学院	保健医療福祉学研究科	20	同一研究科内に設置する3専修合計
埼玉県	私	目白大学大学院	リハビリテーション学研究科	15	
埼玉県	私	埼玉医科大学大学院	医学研究科	8	同一研究科内に設置する3分野合計

東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県において診療放射線学領域の専攻を設置している大学院修士課程の入学定員数

所在地	設置区分	大学名	研究科名	入学定員	備考
東京都	公	東京都立大学大学院	人間健康科学研究科	21	
東京都	私	杏林大学大学院	保健学研究科	7	同一研究科内に設置する6専攻合計
東京都	私	帝京大学大学院	医療技術学研究科	10	
東京都	私	駒澤大学大学院	医療健康科学研究科	14	同一研究科内に設置する2コース合計
神奈川県	私	北里大学大学院	医療系研究科	40	同一研究科内に設置する7学群合計

2022年3月 順天堂大学調べ

【資料 2】

順天堂大学保健医療学部理学療法学科入学者数推移

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	定員超過率 平均
定員	120	120	120	
志願者数	568	1,001	921	
受験者数	563	985	909	
合格者数	181	184	212	1.01
入学者数	122	121	121	
定員超過率	1.02	1.01	1.01	

順天堂大学保健医療学部診療放射線学科入学者数推移

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	定員超過率 平均
定員	120	120	120	
志願者数	502	924	958	
受験者数	490	910	943	
合格者数	181	190	203	1.01
入学者数	122	121	121	
定員超過率	1.02	1.01	1.01	

順天堂大学
保健医療学研究科
「理学療法学専攻」「診療放射線学専攻」
設置に関する入学意向調査
結果報告書

2022年2月

丸善雄松堂株式会社

I. 調査概要	・・・ P 1
II. 調査結果まとめ	・・・ P 4
①順天堂大学保健医療学部 理学療法学科・診療放射線学科の学生	・・・ P 5
②理学療法士、診療放射線技師として在職中の方	・・・ P 7
III. 調査結果 (①順天堂大学保健医療学部 理学療法学科・診療放射線学科の学生)	・・・ P 10
1. 回答者プロフィール	・・・ P 11
2. 順天堂大学大学院「保健医療学研究科」評価	・・・ P 14
IV. 調査結果 (②理学療法士、診療放射線技師として在職中の方)	・・・ P 20
1. 回答者プロフィール	・・・ P 21
2. 順天堂大学大学院「保健医療学研究科」評価	・・・ P 24
3. 大学院進学するにあたり重視する点	・・・ P 29
巻末資料 1 : 調査票	・・・ P 30
巻末資料 2 : 説明資料	・・・ P 37
巻末資料 3 : 調査対象(②理学療法士、診療放射線技師として在職者の所属先)	・・・ P 41

I. 調查概要

【1】調査目的

2023年4月に開設を予定している順天堂大学の保健医療学研究科「理学療法学専攻」「診療放射線学専攻」に関して、入学意向を把握するため。

【2】調査概要

調査対象	①順天堂大学保健医療学部 理学療法学科・診療放射線学科の学生 ②理学療法士、診療放射線技師として在職中の方
調査方法	①J-PASS（学生支援ポータル）システムを使用して実施 ②郵送調査
調査地域	①順天堂大学保健医療学部 理学療法学科・診療放射線学科に在学する全学生 ②理学療法士施設（東京、神奈川、埼玉、千葉、茨城、静岡） 診療放射線技師施設（東京・神奈川・埼玉・千葉・栃木・静岡）
配布数	①725部（理学療法学科363部、診療放射線学科362部） ②1,260部（理学療法士所属199施設、診療放射線技師所属53施設） ※各施設に5部配布
有効回答数	①725件 ②791件（うち、「理学療法士」611件、「診療放射線技師」180件）
回収率	①100% ②62.8%（理学療法士施設61.4%、診療放射線技師施設67.9%）
調査時期	①2021年12月15日（水）～2021年12月28日（火） ②2021年12月15日（水）～2022年1月14日（金）
調査実施機関	丸善雄松堂株式会社

【3】調査項目

< ①順天堂大学保健医療学部 理学療法学科・診療放射線学科の学生 >

- 性別
- 学年
- 所属学科
- 居住地
- 卒業後の進路 (MA)
- 順天堂大学が設置する大学院が保健医療福祉の発展と向上に有益だと思うか
- 順天堂大学大学院「保健医療学研究科」設置に対する評価
- 順天堂大学大学院「保健医療学研究科」入学意向
- 将来に対する考え (MA)
- 大学院修士課程への進学意向時期
- 大学院（修士課程）設置に関する意見・要望等 (FA)

< ②理学療法士、診療放射線技師として在職中の方 >

- 性別
- 年代
- 最終学歴
- 居住地
- 現在の職種
- 現在の職種での実務経験年数
- 自身の将来について (MA)
- 順天堂大学が設置する大学院が保健医療福祉の発展と向上に有益だと思うか
- 大学院への進学意向
- 大学院修士課程への進学予定時期
- 大学院進学を決めるにあたり、重視する点 (MA)
- 大学院（修士課程）設置に関する意見・要望等 (FA)

Ⅱ. 調査結果まとめ

【回答者プロフィール】

属性	<ul style="list-style-type: none"> ● 回答者の性別は、「男性」が40.1%、「女性」が53.1%で、女性の割合が13.0pt高い。 ● 学年の構成は、1年生～3年生がそれぞれ3割前後で、ほぼ均等となっている。 ● 所属学科は、「理学療法学科」が46.9%、「診療放射線学科」が46.2%。 ● 居住地は、「東京都内（23区内）」が最も多く36.1%。次いで「千葉県」が17.4%、「埼玉県」が13.7%で続く。23区内・外を合わせた「東京都」の割合は45.6%で、半数弱を占める。首都圏（1都3県）の括りで見ると87.3%となり、9割弱を占める。
大学卒業後の 予定進路	<ul style="list-style-type: none"> ● 大学卒業後の予定進路は、「理学療法士」「診療放射線技師」がそれぞれ4割強である。また、5.9%は「大学院進学」を考えている。
将来に対する 考え	<ul style="list-style-type: none"> ● 将来に対する考えとしては、「臨床現場で管理職に就きたい」「幅広い知識を修得し、専門性を高めたい」がそれぞれ5割弱で上位にあがった。

①順天堂大学保健医療学部 理学療法学科・診療放射線学科の学生

【順天堂大学大学院「保健医療学研究科」評価】

<p>保健医療福祉の 発展と向上への 有益性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 90.8%が、「順天堂大学が大学院を設置することはこれからの保健医療福祉の発展と向上に有益(※)」と思っている。「非常に有益だと思う」は47.2%。 (※)「非常に有益だと思う」+「有益だと思う」の合計
<p>設置に対する 評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 71.7%が、順天堂大学大学院保健医療学研究科（理学療法専攻／診療放射線専攻）を設置してほしい(※)と思っている。「是非設置してほしい」は、41.5%。 (※)「是非設置してほしい」+「できれば設置してほしい」の合計
<p>進学意向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 43.6%が、順天堂大学大学院保健医療学研究科（理学療法専攻／診療放射線専攻）への進学意向(※)を持っている。最も意向の強い「進学したい」は7.4%で、「進学に関心がある」も足したTOP2BOXの割合は24.2%となる。 (※)「進学したい」+「進学に関心がある」+「条件が合えば進学したい」の合計 ● 人数で見ると、進学意向あり(TOP3BOX)は317人で、より意向の強いTOP2BOXでは176人だった。 ● 学科別、および学年×学科別で詳細にみると、理学療法学科は50.8%、診療放射線学科は43.0%が進学意向(TOP3BOX)を持っている。 ● 現在3年生の学生に限定すると、理学療法学科は50.8%、診療放射線学科は33.1%が進学意向(TOP3BOX)を持っている。 ● 人数で見ると、現在3年生の理学療法学科の学生は59人が、診療放射線学科の学生は38人が進学意向(TOP3BOX)あり。TOP2BOXでは、理学療法学科は41人、診療放射線学科は22人となっており、入学定員の4倍以上の人数が進学意向を持っていることが確認された。
<p>大学院進学 予定時期</p> <p>※集計ベース： 進学意向あり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 大学院進学予定時期は、「学部卒業後、直ちに進学」が34.1%で最も多い。次いで「医療従事者として実務経験を積んだ後に進学」が32.2%で続く。 ● 学科別にみると、理学療法学科は31.8%、診療放射線学科は36.8%が「学部卒業後、直ちに進学」と回答。 ● 現在3年生の学生に限定すると、理学療法学科は32.2%、診療放射線学科は42.1%が「学部卒業後、直ちに進学」と回答。 ● 人数で見ると、現在3年生の理学療法学科の学生は19人が、診療放射線学科の学生は16人が、「学部卒業後、直ちに進学」と回答し、入学定員の3倍以上の人数となった。

②理学療法士、診療放射線技師として在職中の方

【回答者プロフィール】

属性	<p><理学療法士></p> <ul style="list-style-type: none">● 回答者の性別は、「男性」が73.2%、「女性」が26.8%で、男性の割合が46.4pt高い。● 年代は、「30歳代」が最も多く42.4%、次いで「20歳代」が41.4%で続く。20-30代で85%弱を占める。● 最終学歴は、「大学」が最も多く51.7%、次いで「専門学校」が22.6%で続く。● 居住地は「東京都内 (23区内)」が最も多く23.2%、次いで「埼玉県」が22.1%で続く。23区内・外を合わせた「東京都」の割合は37.4%で、4割弱を占める。首都圏 (1都3県) の括りで見ると96.2%を占めた。 <p><診療放射線技師></p> <ul style="list-style-type: none">● 回答者の性別は、「男性」が69.4%、「女性」が30.6%で、男性の割合が38.8pt高い。● 年代は、「20歳代」が最も多く33.9%、次いで「30歳代」が28.9%で続く。20-30代で6割強を占める。● 最終学歴は、「大学」が最も多く67.2%、次いで「専門学校」が14.4%で続く。● 居住地は「東京都内 (23区内)」が最も多く38.9%、次いで「神奈川県」が18.3%で続く。23区内・外を合わせた「東京都」の割合は53.3%で、半数強を占める。首都圏 (1都3県) の括りで見ると92.7%を占めた。
実務経験年数	<p><理学療法士></p> <ul style="list-style-type: none">● 「10年以上20年未満」が最も多く34.5%。次いで「5年以上10年未満」が31.1%で続く。「5年以上20年未満」で65%強を占めている。 <p><診療放射線技師></p> <ul style="list-style-type: none">● 「10年以上20年未満」が最も多く28.9%。次いで「20年以上」が27.2%で続く。「10年以上」で55%強を占めている。
将来について	<p><理学療法士></p> <ul style="list-style-type: none">● 81.5%が「幅広い知識を修得し、専門性を高めたい」と考えている。また、1割前後の人が「教職に就きたい」「研究職に就きたい」という意向を持っている。 <p><診療放射線技師></p> <ul style="list-style-type: none">● 8割が「幅広い知識を修得し、専門性を高めたい」と考えている。また、8.9%が「教職に就きたい」という意向を持っている。

②理学療法士、診療放射線技師として在職中の方

【順天堂大学大学院「保健医療学研究科」評価】

<p>保健医療福祉の 発展と向上への 有益性</p>	<p><理学療法士></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 97.3%が、「順天堂大学が大学院を設置することは、これからの保健医療福祉の発展と向上に有益(※)」と思っている。「非常に有益だと思う」は44.4%。 <p><診療放射線技師></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 90.6%が、「順天堂大学が大学院を設置することは、これからの保健医療福祉の発展と向上に有益(※)」と思っている。「非常に有益だと思う」は33.9%。 <p>(※)「非常に有益だと思う」+「有益だと思う」の合計</p>
<p>進学意向</p>	<p><理学療法士></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 20.3%が、他大学も含めた大学院への進学意向を持っている。順天堂大学が計画中の大学院への進学意向(※)があるのは11.6%。 ● 人数で見ると、71人が順天堂大学が計画中の大学院への進学意向を持っている。入学定員の14倍以上の人数が入学意向を持っていることが確認された。 <p><診療放射線技師></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 11.2%が、他大学も含めた大学院への進学意向を持っている。順天堂大学が計画中の大学院への進学意向(※)があるのは5.6%。 ● 人数で見ると、10人が順天堂大学が計画中の大学院への進学意向を持っている。入学定員の2倍の人数が入学意向を持っていることが確認された。 <p>(※)「本学が計画中の大学院へ進学したい」+「本学が計画中の大学院への進学を優先するが、他大学大学院への進学も検討する」の合計</p>
<p>進学予定時期</p> <p>※集計ベース： 大学院への 進学意向あり</p>	<p><理学療法士></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 他大学も含めた大学院への進学意向を持っている層の36.3%が、「1～2年以内」に大学院修士課程へ進学することを考えている。 ● 順天堂大学が計画中の大学院への進学意向を持っている層に限定すると、36.6%が「1～2年以内」に大学院修士課程へ進学することを考えている。人数で見ると、26人だった。 <p><診療放射線技師></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 他大学も含めた大学院への進学意向を持っている層の35.0%が、「1～2年以内」に大学院修士課程へ進学することを考えている。人数で見ると、7人だった。 (※サンプル数が少ないため、順天堂大学が計画中の大学院への進学意向を持っている層に限定した分析は非実施)

②理学療法士、診療放射線技師として在職中の方

【大学院進学するにあたり重視する点】

大学院進学 するにあたり 重視する点

※集計ベース：
大学院への
進学意向あり

<理学療法士>

- 「（夜間開講、オンライン授業など）受講しやすさ」が最も高く61.3%。次いで「自分が学びたいことを学べるか」が57.3%、「学費」が42.7%で続く。

<診療放射線技師>

- 「（夜間開講、オンライン授業など）受講しやすさ」が最も高く8割。次いで「自分が学びたいことを学べるか」が35.0%、「学費」が3割で続く。

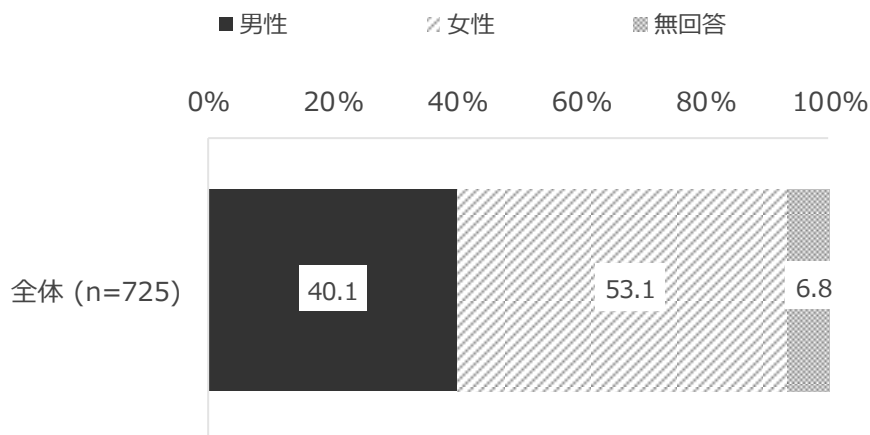
Ⅲ. 調査結果

① 順天堂大学保健医療学部
理学療法学科・診療放射線学科の学生

1. 回答者プロフィール

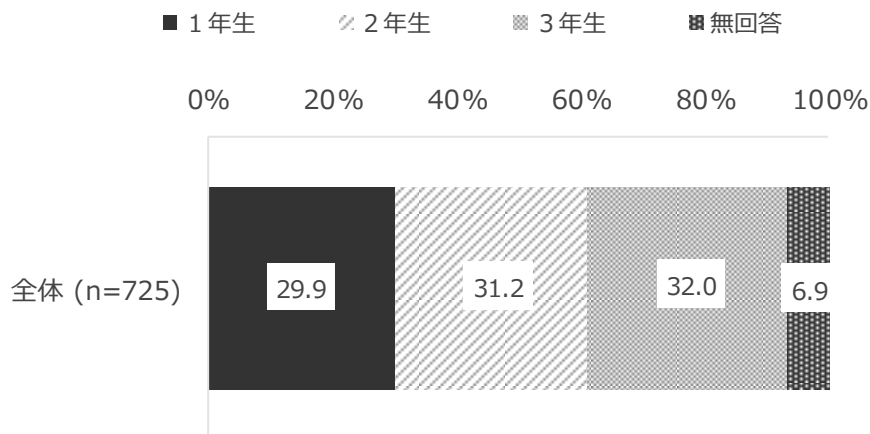
【1】性別

I-問1. 性別について、当てはまる番号に○を記して下さい。



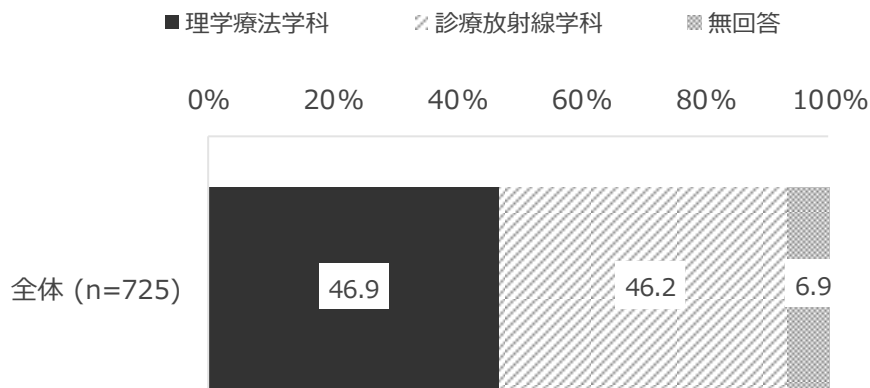
【2】学年

I-問2. 学年について、当てはまる番号に○を記して下さい。



【3】所属学科

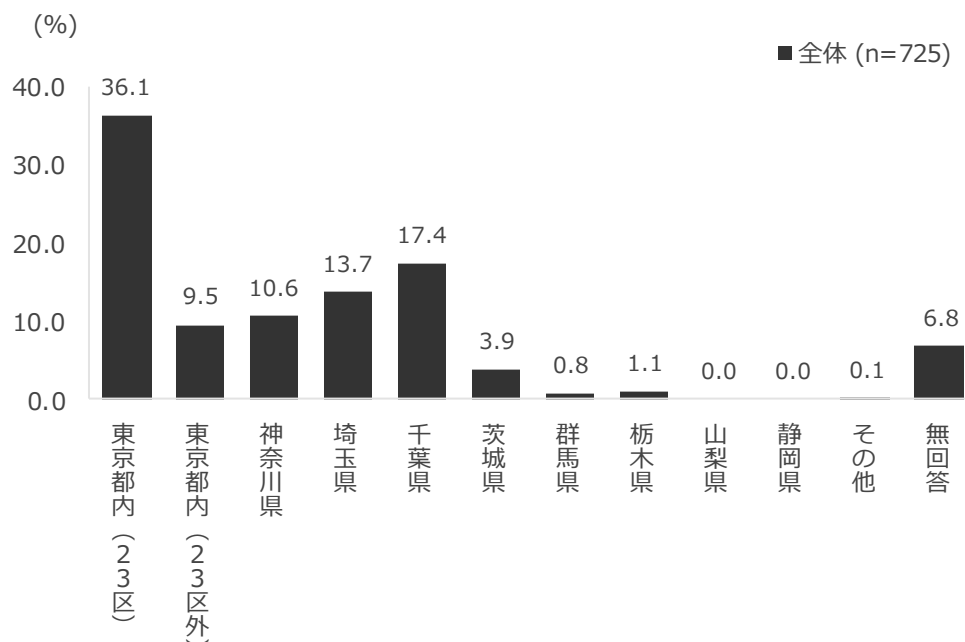
I-問3. 在学する学科について、当てはまる番号に○を記して下さい。



1. 回答者プロフィール

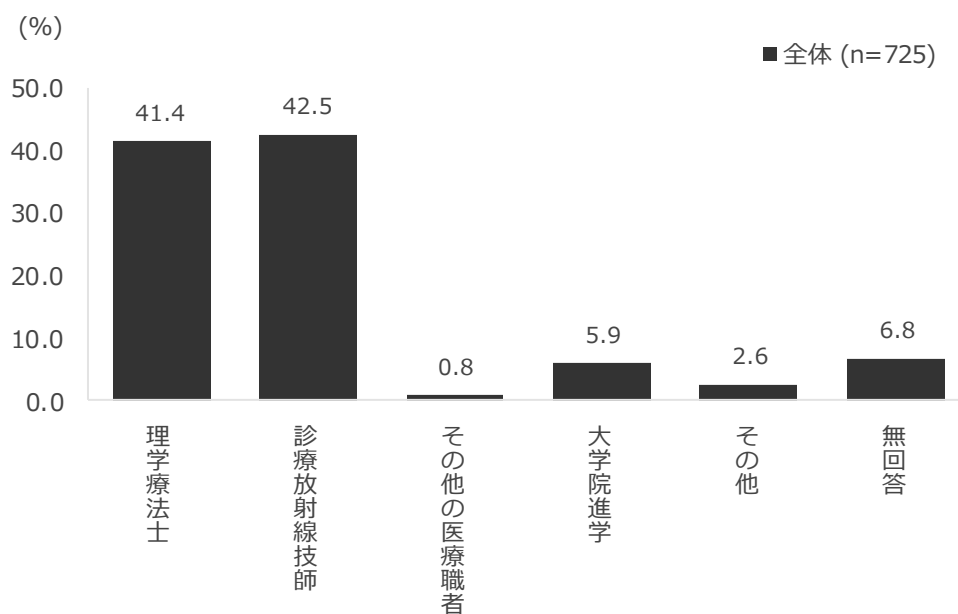
【4】居住地

I-問4. 現在のお住まいについて、当てはまる番号に○を記して下さい。



【5】大学卒業後の予定進路

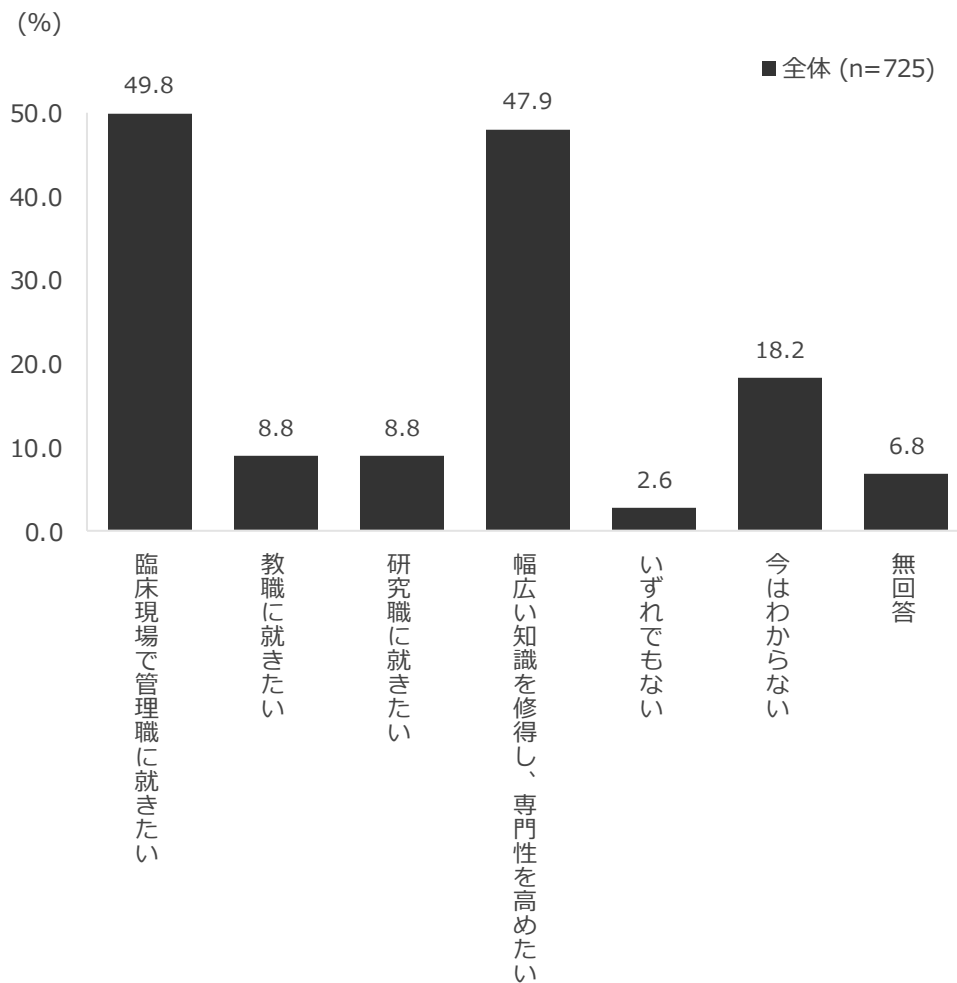
I-問5. 卒業後の進路について、当てはまる番号に○を記して下さい。



1. 回答者プロフィール

【5】将来に対する考え

Ⅱ-問4. ご自身の将来についてお伺いします。
当てはまる番号に○を記して下さい（複数回答可）。

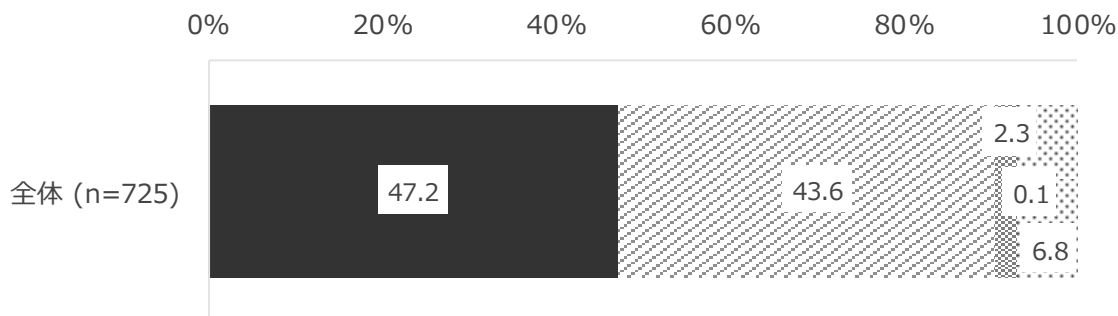


2. 順天堂大学大学院「保健医療学研究科」評価

【1】保健医療福祉の発展と向上への有益性

Ⅱ-問1. 順天堂大学が大学院を設置することは、これからの保健医療福祉の発展と向上に有益だと思いますか？

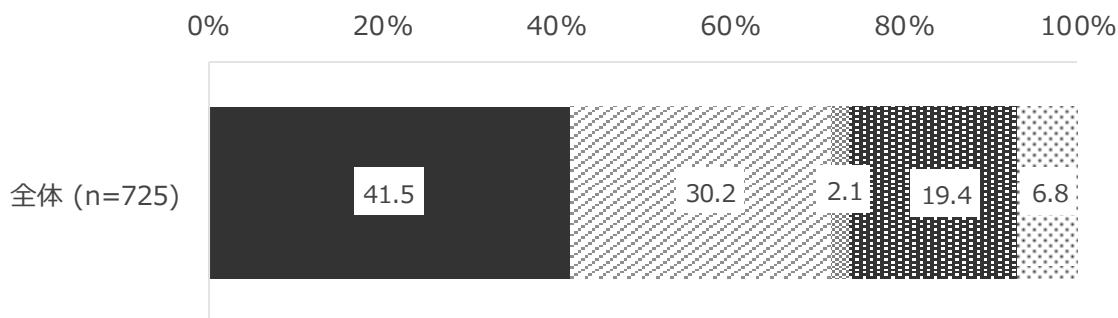
■ 非常に有益だと思う ◊ 有益だと思う ※ あまり有益だと思わない ▨ 全く有益だとは思わない ∴ 無回答



【2】順天堂大学大学院保健医療学研究科 設置に対する評価

Ⅱ-問2. 順天堂大学大学院保健医療学研究科（理学療法学専攻／診療放射線学専攻）の設置についてどう思いますか？

■ 是非設置してほしい ◊ できれば設置してほしい ※ 設置の必要はない ▨ わからない ∴ 無回答

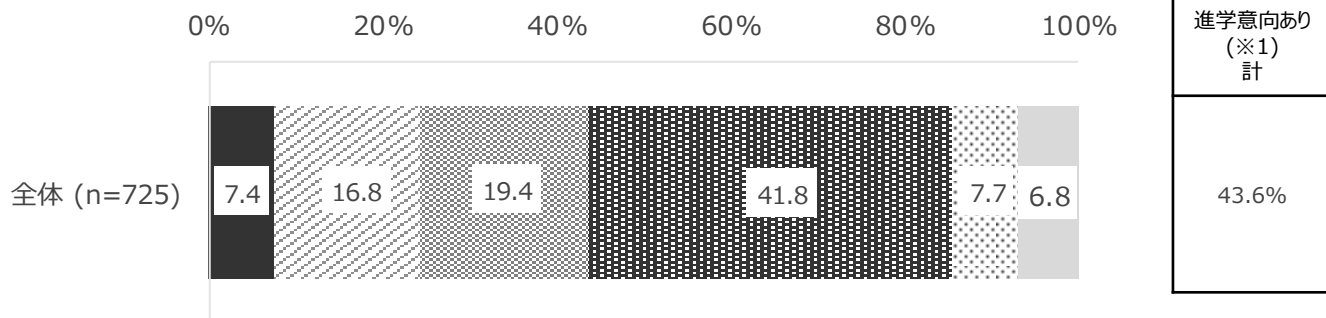


2. 順天堂大学大学院「保健医療学研究科」評価

【3】順天堂大学大学院保健医療学研究科への進学意向

Ⅱ-問3. 順天堂大学大学院保健医療学研究科（理学療法学専攻／診療放射線学専攻）を設置した場合、進学したいと思いますか？

- 進学したい
- ▨ 条件が合えば進学したい
- ◇ 進学に関心がある
- ▩ 今は進学の予定はない
- ◇ 分からない
- 無回答

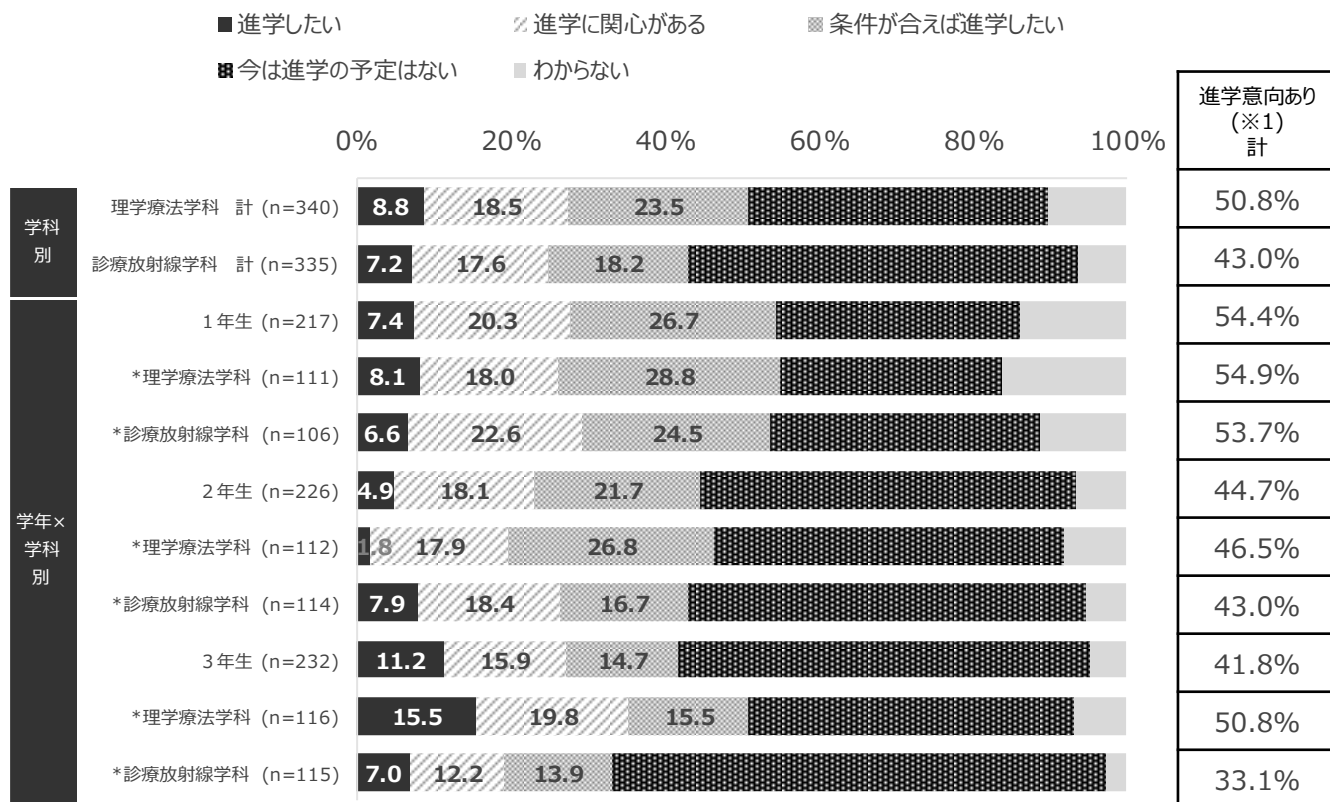


進学したい	進学に関心がある	条件が合えば進学したい	今は進学の予定はない	分からない	無回答	進学意向あり (※1) 計
54人	122人	141人	303人	56人	49人	317人

(※1) 進学意向あり 計：「進学したい」+「進学に関心がある」+「条件が合えば進学したい」の合計値

2. 順天堂大学大学院「保健医療学研究科」評価

【4】順天堂大学大学院保健医療学研究科への進学意向<属性別>



(※1) 進学意向あり 計 : 「進学したい」+「進学に関心がある」+「条件が合えば進学したい」の合計値

2. 順天堂大学大学院「保健医療学研究科」評価

		進学したい	進学に関心がある	進条件が合えば進学したい	今は進学の予定はない	わからない	無回答	進学意向あり (※1) 計	
全体		(n=725)	54人	122人	141人	303人	56人	49人	317人
学科別	理学療法学科 計	(n=340)	30人	63人	80人	132人	35人	0人	173人
	診療放射線学科 計	(n=335)	24人	59人	61人	170人	21人	0人	144人
学年× 学科別	1年生	(n=217)	16人	44人	58人	69人	30人	0人	118人
	*理学療法学科	(n=111)	9人	20人	32人	32人	18人	0人	61人
	*診療放射線学科	(n=106)	7人	24人	26人	37人	12人	0人	57人
	2年生	(n=226)	11人	41人	49人	110人	15人	0人	101人
	*理学療法学科	(n=112)	2人	20人	30人	51人	9人	0人	52人
	*診療放射線学科	(n=114)	9人	21人	19人	59人	6人	0人	49人
	3年生	(n=232)	26人	37人	34人	124人	11人	0人	97人
	*理学療法学科	(n=116)	18人	23人	18人	49人	8人	0人	59人
	*診療放射線学科	(n=115)	8人	14人	16人	74人	3人	0人	38人

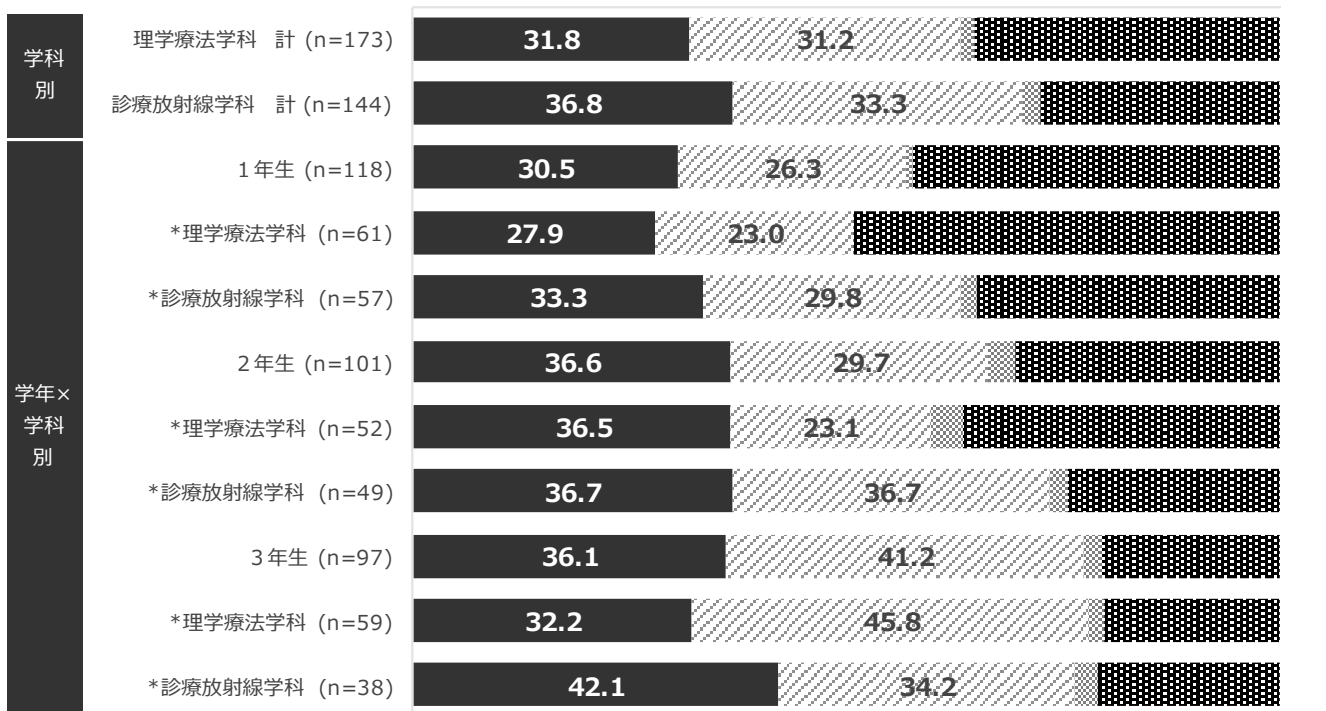
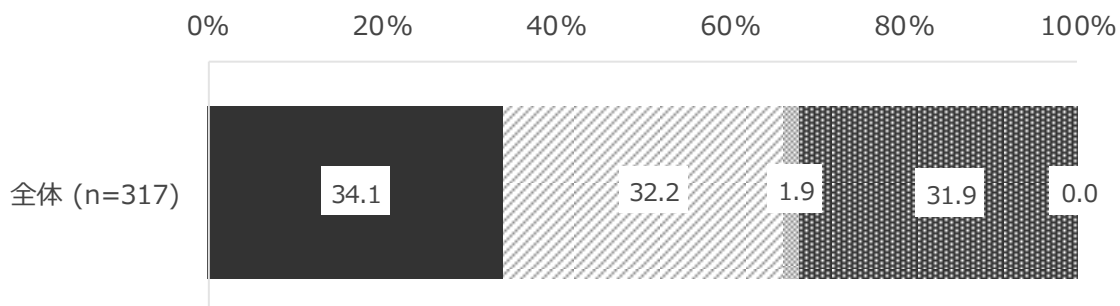
(※1) 進学意向あり 計：「進学したい」+「進学に関心がある」+「条件が合えば進学したい」の合計値

2. 順天堂大学大学院「保健医療学研究科」評価

【5】大学院進学予定時期

Ⅱ-問5. 大学院修士課程への進学はいつ頃と考えていますか？

- 学部卒業後、直ちに進学
- ▨ 医療従事者として実務経験を積んだ後に進学
- ▩ 大学院修士課程への進学は考えていない
- 今はわからない
- ◇ 無回答



※ベース：大学院進学意向あり（Ⅱ-Q3=1-3）：

2. 順天堂大学大学院「保健医療学研究科」評価

			直学部に卒業後、	に実務経験を積んだ後	進大学院は修士課程への	今はわからない	無回答
全体		(n=317)	108人	102人	6人	101人	0人
学科別	理学療法学科 計	(n=173)	55人	54人	3人	61人	0人
	診療放射線学科 計	(n=144)	53人	48人	3人	40人	0人
学年×学科別	1年生	(n=118)	36人	31人	1人	50人	0人
	*理学療法学科	(n=61)	17人	14人	0人	30人	0人
	*診療放射線学科	(n=57)	19人	17人	1人	20人	0人
	2年生	(n=101)	37人	30人	3人	31人	0人
	*理学療法学科	(n=52)	19人	12人	2人	19人	0人
	*診療放射線学科	(n=49)	18人	18人	1人	12人	0人
	3年生	(n=97)	35人	40人	2人	20人	0人
	*理学療法学科	(n=59)	19人	27人	1人	12人	0人
	*診療放射線学科	(n=38)	16人	13人	1人	8人	0人

※ベース：大学院進学意向あり（Ⅱ-Q3=1-3）：

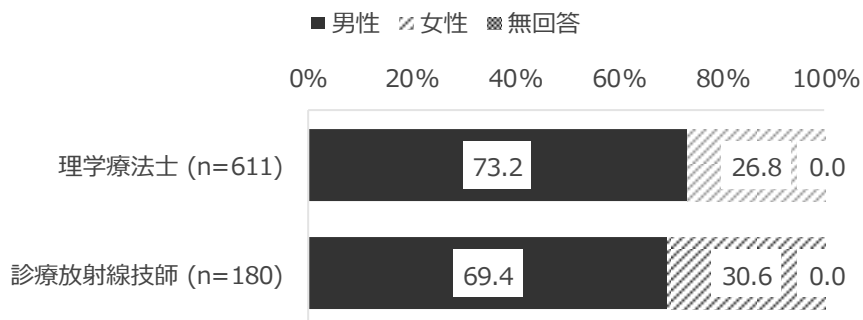
IV. 調査結果

②理学療法士、診療放射線技師
として在職中の方

1. 回答者プロフィール

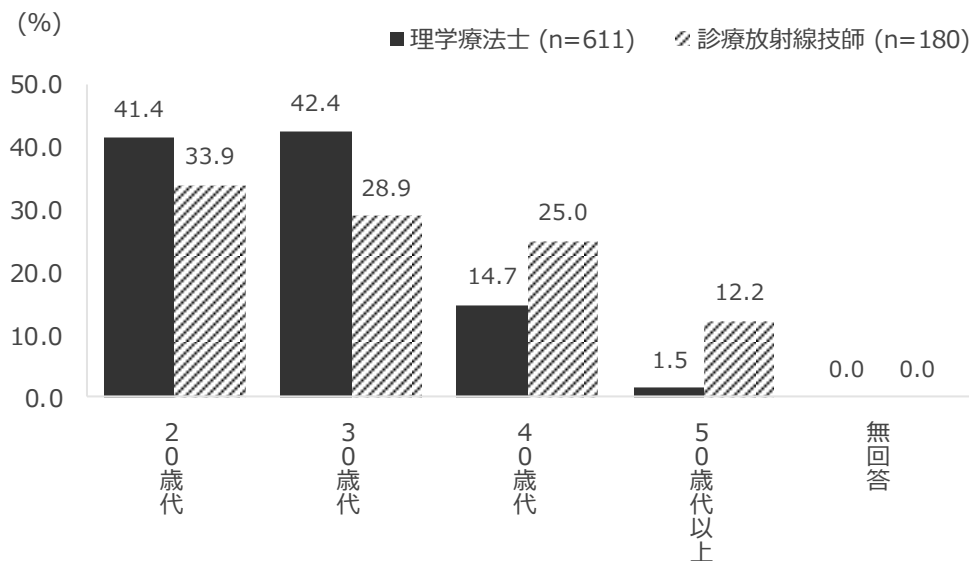
【1】性別

I-問1. 性別について、当てはまる番号に○を記して下さい。



【2】年代

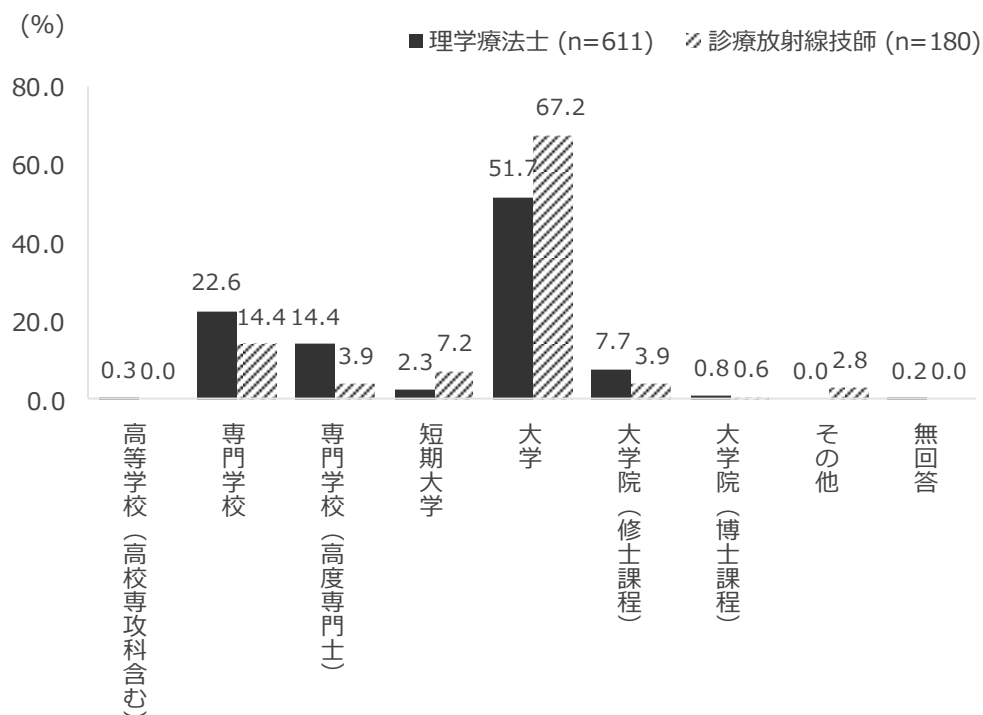
I-問2. ご年齢について、当てはまる番号に○を記して下さい。



1. 回答者プロフィール

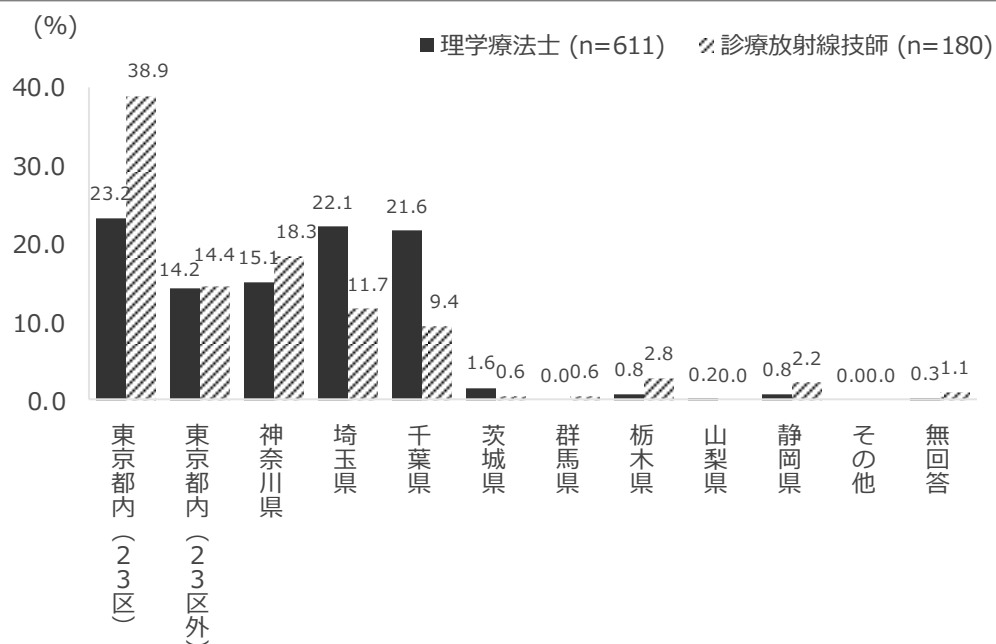
【3】最終学歴

I-問3. 最終学歴について、当てはまる番号に○を記して下さい。



【4】居住地

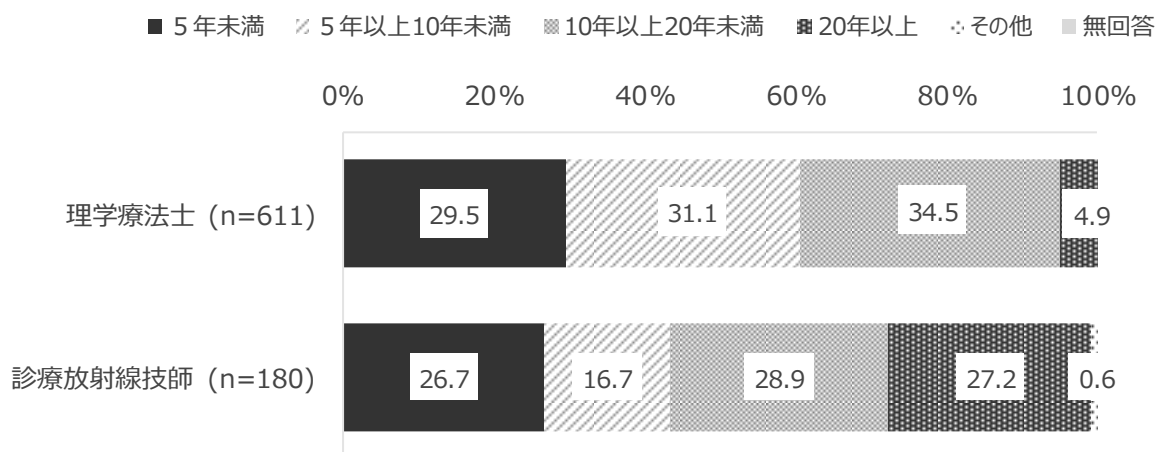
I-問4. 現在のお住まいについて、当てはまる番号に○を記して下さい。



1. 回答者プロフィール

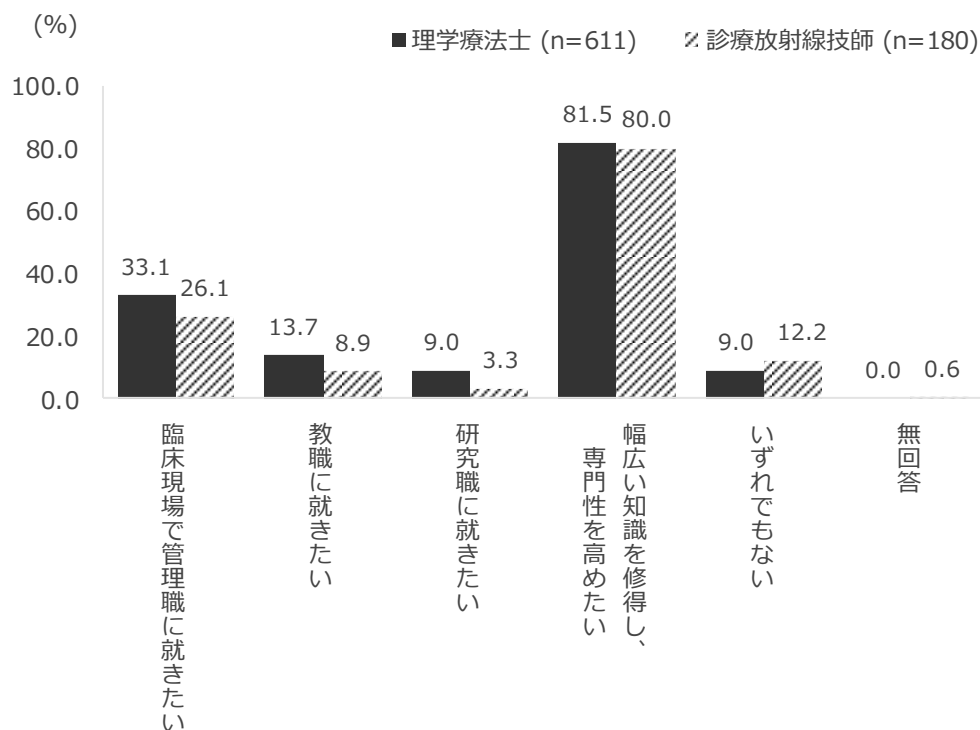
【5】実務経験年数

I-問6. 現在の職種での実務経験年数について、当てはまる番号に○を記して下さい。



【6】将来について

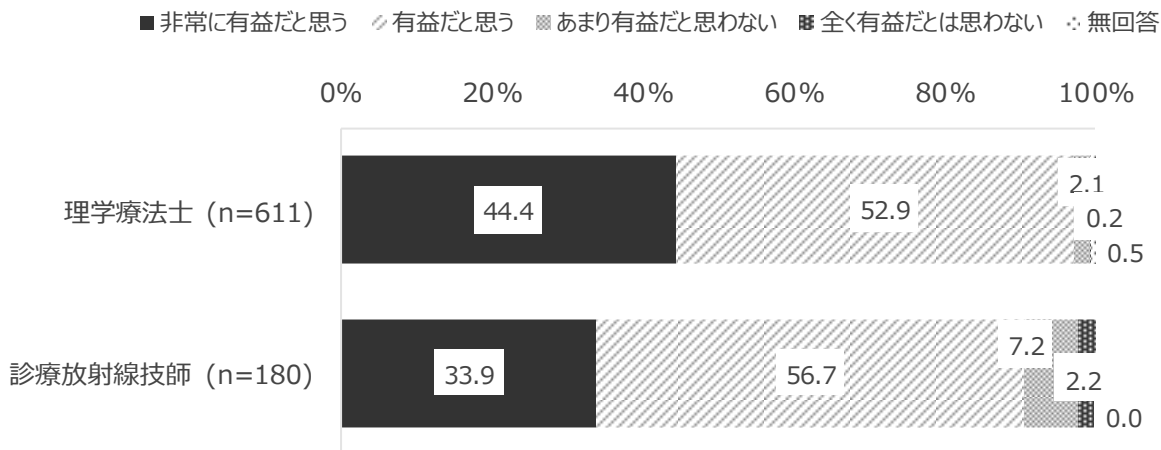
I-問7. ご自身の将来についてお伺いします。
当てはまる番号に○を記して下さい（複数回答可）。



2. 順天堂大学大学院「保健医療学研究科」評価

【1】保健医療福祉の発展と向上への有益性

Ⅱ-問1. 順天堂大学が大学院を設置することは、これからの保健医療福祉の発展と向上に有益だと思いますか？

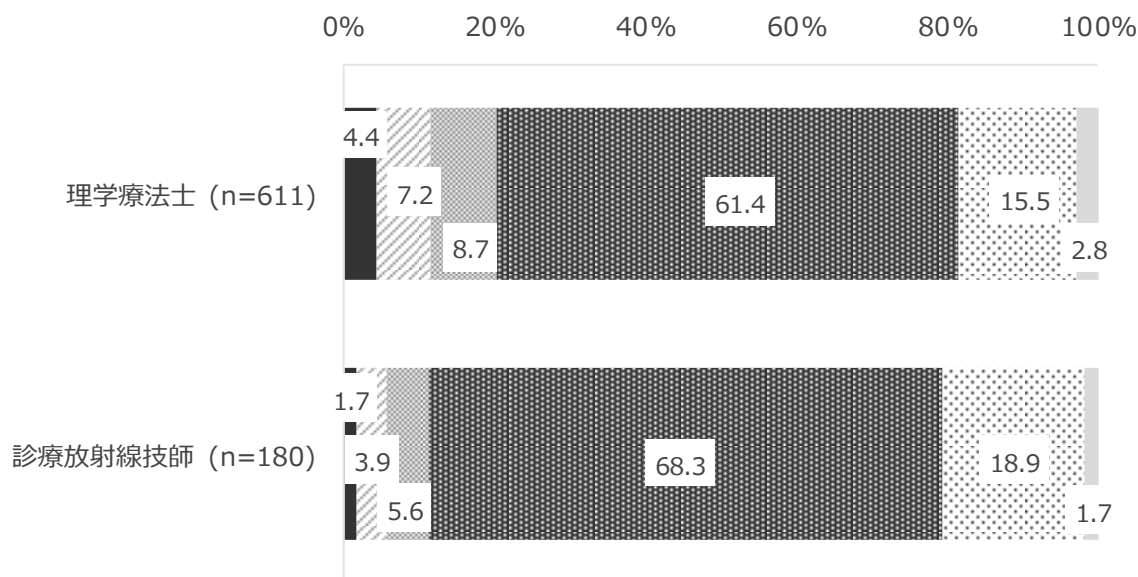


2. 順天堂大学大学院「保健医療学研究科」評価

【2】大学院への進学意向

Ⅱ-問2. 大学院（修士課程）への進学を考えていますか。当てはまる番号に○を記して下さい。

- 本学が計画中の大学院へ進学したい
- ◇ 本学が計画中の大学院への進学を優先するが、他大学大学院への進学も検討する
- ▨ 他大学大学院への進学を検討している
- 今は大学院進学を考えていない
- ◇ わからない
- 無回答



大学院への進学意向あり計	本学が計画中の大学院への進学意向あり計
20.3%	11.6%
11.2%	5.6%

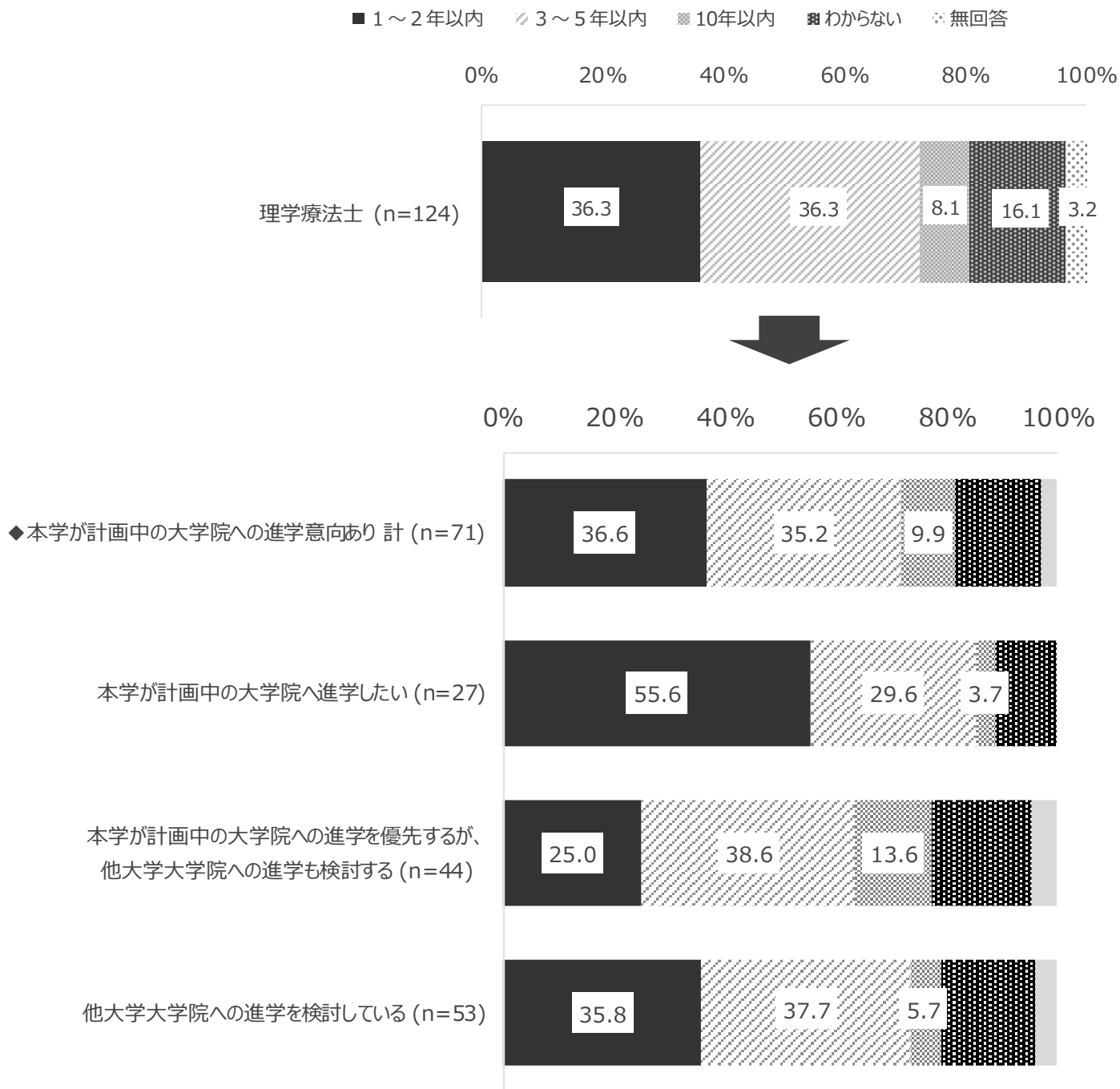
		進本 学が 計画 中の 大学 院へ	を本 学の 優先 する が、 他大 学大 学 院へ の進 学 も 検 討 す る	他大 学大 学 院へ の進 学を 検 討 して いる	今は 大学 院進 学を 考え てい ない	わ か ら な い	無 回 答	
職種別	診療放射線技師	(n=611)	27人	44人	53人	375人	95人	17人
	理学療法士	(n=180)	3人	7人	10人	123人	34人	3人

大学院への進学意向あり計	進本 学が 計画 中の 大学 院へ の 進 学 意 向 あり 計
124人	71人
20人	10人

2. 順天堂大学大学院「保健医療学研究科」評価

【3】大学院への進学予定時期（理学療法士）

Ⅱ-問3. 大学院修士課程への進学はいつ頃と考えていますか？



※ベース：大学院進学意向あり（Ⅱ-Q2=1-3）：

2. 順天堂大学大学院「保健医療学研究科」評価

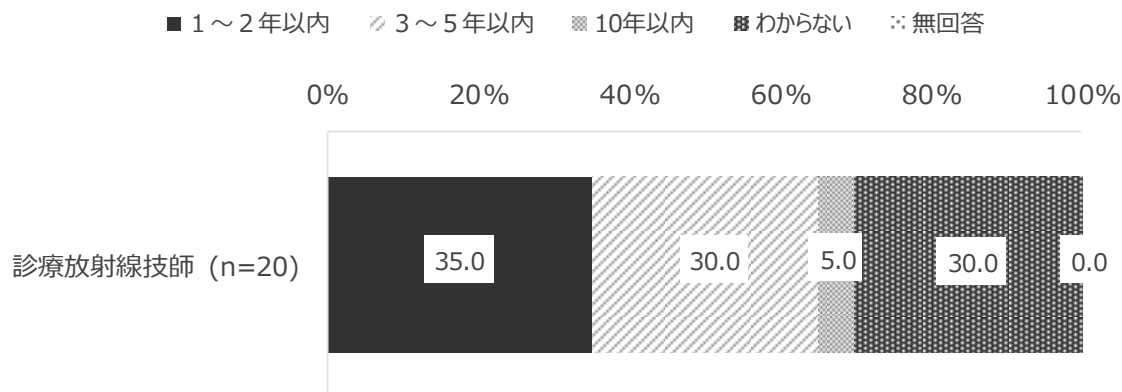
			1 ～ 2 年 以 内	3 ～ 5 年 以 内	1 0 年 以 内	わ か ら な い	無 回 答
理学療法士 全体		(n=124)	45人	45人	10人	20人	4人
進学意向 別	◆本学が計画中の大学院への進学意向あり 計	(n=71)	26人	25人	7人	11人	2人
	本学が計画中の大学院へ進学したい	(n=27)	15人	8人	1人	3人	0人
	本学が計画中の大学院への進学を優先するが、 他大学大学院への進学も検討する	(n=44)	11人	17人	6人	8人	2人
	他大学大学院への進学を検討している	(n=53)	19人	20人	3人	9人	2人

※ベース：大学院進学意向あり（Ⅱ-Q2=1-3）：

2. 順天堂大学大学院「保健医療学研究科」評価

【4】大学院への進学予定時期 (診療放射線技師)

Ⅱ-問3. 大学院修士課程への進学はいつ頃と考えていますか？



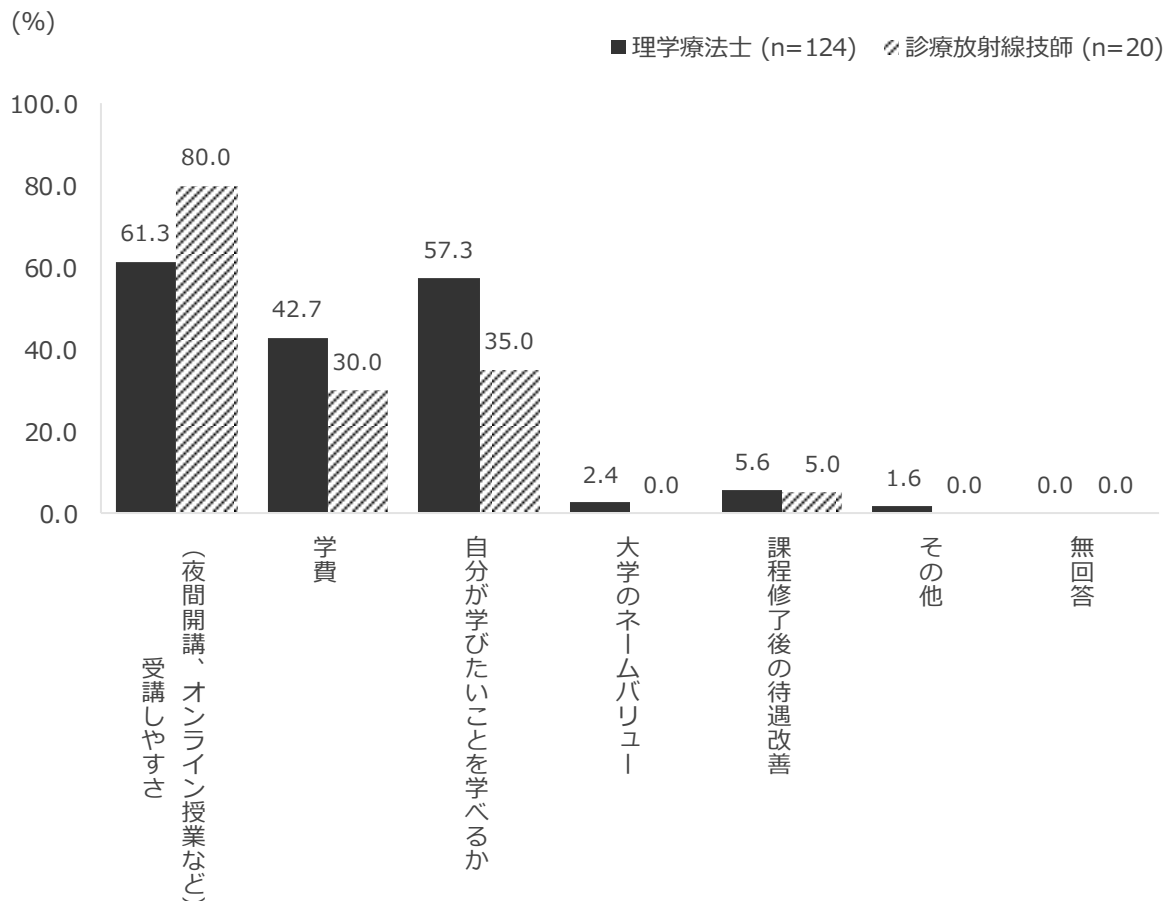
1～2年以内	3～5年以内	10年以内	わからない	無回答
7人	6人	1人	6人	0人

※ベース：大学院進学意向あり (Ⅱ-Q2=1-3)：

3. 大学院進学するにあたり重視する点

【1】大学院進学するにあたり重視する点

Ⅱ-問4. 大学院進学を決めるにあたり、重視する点は何ですか？



※ベース：大学院への進学意向あり (Ⅱ_Q2=1-3)

卷末資料 1：調查票

順天堂大学 大学院設置に関するアンケート調査 回答票【学部生用】

I. あなたご自身についてお伺いします。

問1 性別について、当てはまる番号に○を記して下さい。

- 1 男性 2 女性

問2 学年について、当てはまる番号に○を記して下さい。

- 1 1年生 2 2年生 3 3年生

問3 在学する学科について、当てはまる番号に○を記して下さい。

- 1 理学療法学科 2 診療放射線学科

問4 現在のお住まいについて、当てはまる番号に○を記して下さい。

- 1 東京都内 (23 区) 2 東京都内 (23 区外)
3 神奈川県 4 埼玉県 5 千葉県 6 茨城県 7 群馬県
8 栃木県 9 山梨県 10 静岡県 11 その他 (県)

問5 卒業後の進路について、当てはまる番号に○を記して下さい。

- 1 理学療法士 2 診療放射線技師 3 その他の医療職者
4 大学院進学 5 その他 ()

II. 順天堂大学が設置する大学院への進学についてお伺いします。

当てはまる番号一つに○を記して下さい。

問1 順天堂大学が大学院を設置することは、これからの保健医療福祉の発展と向上に有益だと思いますか？

- 1 非常に有益だと思う 2 有益だと思う
3 あまり有益だと思わない 4 全く有益だとは思わない

問2 順天堂大学大学院保健医療学研究科（理学療法学専攻／診療放射線学専攻）の設置についてどう思いますか？

- 1 是非設置してほしい 2 できれば設置してほしい
3 設置の必要はない 4 わからない

問3 順天堂大学大学院保健医療学研究科（理学療法学専攻／診療放射線学専攻）を設置した場合、進学したいと思いますか？

- 1 進学したい 2 進学に関心がある 3 条件が合えば進学したい
4 今は進学の前定はない 5 わからない

問4 ご自身の将来についてお伺いします。

当てはまる番号に○を記して下さい(複数回答可)。

- 1 臨床現場で管理職に就きたい
- 2 教職に就きたい
- 3 研究職に就きたい
- 4 幅広い知識を修得し、専門性を高めたい
- 5 いずれでもない
- 6 今はわからない

問5 大学院修士課程への進学はいつ頃と考えていますか？

- 1 学部卒業後、直ちに進学
- 2 医療従事者として実務経験を積んだ後に進学
- 3 大学院修士課程への進学は考えていない
- 4 今はわからない

問6 その他、大学院(修士課程)設置に関するご意見・ご要望等がありましたらご記入下さい。

※ご協力ありがとうございました。

順天堂大学 大学院設置に関するアンケート調査 回答票【理学療法士用】

I. あなたご自身についてお伺いします。

問1 性別について、当てはまる番号に○を記して下さい。

- 1 男性 2 女性

問2 ご年齢について、当てはまる番号に○を記して下さい。

- 1 20歳代 2 30歳代 3 40歳代 4 50歳代以上

問3 最終学歴について、当てはまる番号に○を記して下さい。

- 1 高等学校（高校専攻科含む） 2 専門学校
3 専門学校（高度専門士） 4 短期大学
5 大学 6 大学院（修士課程）
7 大学院（博士課程） 8 その他（ ）

問4 現在のお住まいについて、当てはまる番号に○を記して下さい。

- 1 東京都内（23区） 2 東京都内（23区外）
3 神奈川県 4 埼玉県 5 千葉県 6 茨城県 7 群馬県
8 栃木県 9 山梨県 10 静岡県 11 その他（ ）

問5 現在の職種について、当てはまる番号に○を記して下さい。

- 1 理学療法士 2 その他（ ）

問6 現在の職種での実務経験年数について、当てはまる番号に○を記して下さい。

- 1 5年未満 2 5年以上10年未満 3 10年以上20年未満
4 20年以上 3 その他（ ）

問7 ご自身の将来についてお伺いします。

当てはまる番号に○を記して下さい（複数回答可）。

- 1 臨床現場で管理職に就きたい
2 教職に就きたい
3 研究職に就きたい
4 幅広い知識を修得し、専門性を高めたい
5 いずれでもない

順天堂大学 大学院設置に関するアンケート調査 回答票【診療放射線技師用】

I. あなたご自身についてお伺いします。

問1 性別について、当てはまる番号に○を記して下さい。

- 1 男性 2 女性

問2 ご年齢について、当てはまる番号に○を記して下さい。

- 1 20歳代 2 30歳代 3 40歳代 4 50歳代以上

問3 最終学歴について、当てはまる番号に○を記して下さい。

- 1 高等学校（高校専攻科含む） 2 専門学校
3 専門学校（高度専門士） 4 短期大学
5 大学 6 大学院（修士課程）
7 大学院（博士課程） 8 その他（ ）

問4 現在のお住まいについて、当てはまる番号に○を記して下さい。

- 1 東京都内（23区） 2 東京都内（23区外）
3 神奈川県 4 埼玉県 5 千葉県 6 茨城県 7 群馬県
8 栃木県 9 山梨県 10 静岡県 11 その他（ 県）

問5 現在の職種について、当てはまる番号に○を記して下さい。

- 1 診療放射線技師 2 その他（ ）

問6 現在の職種での実務経験年数について、当てはまる番号に○を記して下さい。

- 1 5年未満 2 5年以上10年未満 3 10年以上20年未満
4 20年以上 3 その他（ ）

問7 ご自身の将来についてお伺いします。

当てはまる番号に○を記して下さい（複数回答可）。

- 1 臨床現場で管理職に就きたい
2 教職に就きたい
3 研究職に就きたい
4 幅広い知識を修得し、専門性を高めたい
5 いずれでもない

II. 順天堂大学が設置する大学院への入学についてお伺いします。

当てはまる番号に○を記して下さい。

問1 順天堂大学が大学院を設置することは、これからの保健医療福祉の発展と向上に有益だと思いますか？

- 1 非常に有益だと思う
- 2 有益だと思う
- 3 あまり有益だと思わない
- 4 全く有益だとは思わない

問2 大学院（修士課程）への進学を考えていますか。当てはまる番号に○を記して下さい。

- 1 本学が計画中の大学院へ進学したい
- 2 本学が計画中の大学院への進学を優先するが、他大学大学院への進学も検討する
- 3 他大学大学院への進学を検討している
- 4 今は大学院進学を考えていない
- 5 わからない

問3 大学院修士課程への進学はいつ頃と考えていますか？

- 1 1～2年以内
- 2 3～5年以内
- 3 10年以内
- 4 わからない

問4 大学院進学を決めるにあたり、重視する点は何ですか？

- 1 (夜間開講、オンライン授業など) 受講しやすさ
- 2 学費
- 3 自分が学びたいことを学べるか
- 4 大学のネームバリュー
- 5 課程修了後の待遇改善
- 6 その他 ()

問5 その他、大学院（修士課程）設置に関するご意見・ご要望等がありましたらご記入下さい。

※ご協力ありがとうございました。

卷末資料 2：說明資料

【別紙】

大学院設置構想の概要

1. 名称 (仮称) 順天堂大学大学院 保健医療学研究科
理学療法学専攻 修士課程
診療放射線学専攻 修士課程
2. 設置の目的、養成する人材
本研究科では、学是である「仁」の精神に基づき、国内外を問わず多様な場で社会貢献できる高度な実践能力をもち、理学療法学、診療放射線学のあり方を探求することのできる人材の養成を目的とする。
理学療法学専攻では、環境の変化に対応でき科学的根拠に基づいた高度な理学療法実践能力を発揮できる医療専門職者、理学療法学の成立基盤を基に理学療学分野の新たな方法論の開発や展開ができる教育者・研究者を志向する人材を育成する。
診療放射線学専攻では、環境の変化に対応でき科学的根拠に基づいた高度な診療放射線技術実践能力を発揮できる医療専門職者、診療放射線学の成立基盤を基に診療放射線学分野の新たな方法論の開発や展開ができる教育者・研究者を志向する人材を育成する。
3. 開設時期 (予定) 2023年4月1日
4. 開設場所 順天堂大学 (本郷・お茶の水キャンパス)
東京都文京区本郷3-2-12
5. 修業年限 2年
6. 入学定員 理学療法学専攻5名 診療放射線学専攻5名
7. 取得学位 (予定) 修士 (理学療法学) / 修士 (診療放射線学)
8. 学生納付金 (予定) 入学金20万円、授業料60万円/年
9. 開設予定科目
 - (1) 共通科目
医療倫理学特論、医療統計学特論、機能解剖学特論、生理機能画像応用学特論、保健医療研究方法論、医療教育学特論 (選択)、医療マネジメント学特論 (選択)
 - (2) 理学療法学専攻
【専門基礎科目】 理学療法英語特論、理学療法臨床教育学特論、リハビリテーション学特論
【専門科目】 ニューロリハビリテーション学特論・演習、運動機能制御理学療法学特論・演習、運動器・スポーツ理学療法学特論・演習、内部機能障害理学療法学特論・演習
【特別研究科目】 理学療法学特別研究
 - (3) 診療放射線学専攻
【専門基礎科目】 診療放射線英語特論、放射線医学特論、機能画像学特論
【専門科目】 医療画像技術学特論・演習、診療放射線診療学特論・演習、生体量子科学特論・演習
【特別研究科目】 診療放射線学特別研究

※上記内容は構想中であり、今後変更となる場合があります。

理学療法学科

	身分	氏名		研究分野(キーワード)
1	教授	藤原俊之		既存の医学では治療が困難な重度障害の病態、機能回復の機序解明、新しいリハビリテーション治療の開発
2	教授	高橋哲也		心臓リハビリテーション、内部障害系理学療法、デジタルヘルス、集中治療における理学療法
3	教授	眞壁 寿		神経系疾患の歩行とバランス機能に関する研究、歩行及び立位時の脳波と筋電図コヒーレンスに関する研究
4	教授	池田 浩		スポーツ選手が安心・安全にプレーに専念できる環境作りと、スポーツ外傷と障害の予防
5	先任准教授	相澤純也		膝外傷後アスリートにおけるスポーツ復帰に向けた再受傷予防とパフォーマンス拡大に関する理学療法研究
6	先任准教授	松田雅弘		小児理学療法、ニューロリハビリテーション、支援工學理学療法
7	先任准教授	山口智史		神経疾患後の運動学習を促すための研究・非侵襲的電気刺激を用いたリハビリテーション研究
8	准教授	齊藤正和		フレイルやカヘキシアを呈する心疾患や慢性腎臓病患者に対する評価・治療に関する研究
9	准教授	森沢知之		呼吸筋サルコペニアに関する研究、遠隔リハビリテーションに関する研究
10	准教授	飛山義憲		変形性膝関節症や人工膝関節置換術前後の理学療法の標準化に向けた研究
11	講師	宮森隆行		スポーツ外傷・障害のリスク推定、球技系スポーツパフォーマンスの定量化
12	助教	藤野雄次		脳損傷後の運動障害や高次脳機能障害の理学療法に関する研究

診療放射線学科

	身分	氏名		研究分野(キーワード)
1	特任教授	代田浩之		循環器内科学、冠動脈疾患の診断治療と予防、動脈硬化
2	教授	京極伸介		各種画像診断におけるコンピューター支援(CAD: ComputerAssisted Diagnosis)の研究
3	特任教授	坂野康昌		放射線科マネジメント、放射線関係法規、放射線生物学、放射線腫瘍学
4	教授	中西 淳		認知症やパーキンソン症候群など画像診断の研究
5	教授	坂本 肇		放射線安全管理、放射線計測、血管造影・IVR領域での被ばく線量防護
6	先任准教授	後藤政実		脳機能解明や臨床診断に役立つ情報をMRI(磁気共鳴画像)解析により提供する為の研究
7	准教授	津田啓介		FDG-PET/CT検査における至適撮像法(収集プロトコール、画像再構成法など)に関する研究
8	准教授	黒河千恵		新しい検出器の開発や改良、放射線治療に伴う不確かな要因を最小化する方法の検討
9	准教授	佐藤英介		脳腫瘍を対象としたホウ素中性子捕捉療法の基本研究およびMR画像解析研究
10	講師	臼井桂介		放射線技術と工学、人工知能を融合した高精度放射線治療法の開発

卷末資料 3 : 調査対象

②理学療法士、診療放射線技師として在職者の所属先

調査対象 (理学療法士所属1/2)

日本大学病院
社会福祉法人三井記念病院
国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院
学校法人聖路加国際大学 聖路加国際病院
公益財団法人 心臓血管研究所付属病院
医療法人社団哺育会 浅草病院
順天堂大学医学部附属順天堂医院
医療法人社団博栄会 赤羽中央総合病院
一般社団法人巨樹の会 赤羽リハビリテーション病院
医療法人社団苑田会 苑田会リハビリテーション病院
医療法人社団苑田会 花はたりリハビリテーション病院
医療法人社団苑田会 竹の塚脳神経リハビリテーション病院
医療法人社団苑田会 苑田第三病院
医療法人社団苑田会 苑田第二病院
医療法人社団苑田会 苑田第一病院
医療法人社団 明芳会 イムスリハビリテーションセンター東京葛飾病院
IMSグループ医療法人社団明芳会 イムス東京葛飾総合病院
医療法人嬉泉会 嬉泉病院
社会福祉法人 賛育会 賛育会病院
東京都リハビリテーション病院
医療法人社団晃山会 松江病院
社会医療法人社団森山医会 森山記念病院
社会医療法人社団森山医会 森山脳神経センター病院
いのうえ整形外科
公益財団法人河野臨床医学研究所附属 品川リハビリテーション病院
医療法人社団 東京巨樹の会 東京品川病院
一般社団法人巨樹の会 五反田リハビリテーション病院
一般社団法人巨樹の会 蒲田リハビリテーション病院
医療法人財団中島記念会 大森山王病院
日本赤十字社 大森赤十字病院
東邦大学医療センター大森病院
社会医療法人財団 仁医会 牧田総合病院
公益財団法人東京都保健医療公社 荏原病院
医療法人社団七仁会 田園調布中央病院
医療法人社団松和会 池上総合病院
一般社団法人巨樹の会 原宿リハビリテーション病院
医療法人社団輝生会 初台リハビリテーション病院
医療法人平成博愛会 世田谷記念病院
公立学校共済組合 関東中央病院
独立行政法人地域医療機能推進機構 東京新宿メディカルセンター
東京女子医科大学病院
医療法人財団健賢会 総合東京病院
社会医療法人河北医療財団 河北リハビリテーション病院
社会医療法人河北医療財団 河北総合病院
医療法人社団瑞心会 杉並リハビリテーション病院
医療法人社団快晴会 すがも北口整形外科クリニック
IMSグループ医療法人社団明芳会 イムス板橋リハビリテーション病院
医療法人社団健育会 竹川病院
えこだ駅前山田整形外科クリニック
順天堂大学医学部附属練馬病院
医療法人健育会 ねりま健育会病院
公益社団法人地域医療振興協会 練馬光が丘病院
公益財団法人日本心臓血管研究振興会附属 榎原記念病院
医療法人社団大日会 小金井太陽病院
一般社団法人巨樹の会 小金井リハビリテーション病院
医療法人社団青葉会 一橋病院
公立昭和病院
医療法人社団時正会 佐々総合病院
医療法人社団東光会 西東京中央総合病院
独立行政法人国立病院機構 災害医療センター
医療法人社団徳成会 八王子山王病院
医療法人社団玉栄会 東京天使病院
医療法人社団永生会 永生病院
医療法人社団幸隆会 多摩丘陵病院
医療法人社団SEISEN 清泉クリニック整形外科 東京荻窪
社会福祉法人みどり福祉会 B&Jクリニックお茶の水
東京都済生会中央病院
医療法人社団栄悠会 綾瀬循環器病院
医療法人社団栄悠会 あやせ循環器リハビリ病院
医療法人社団苑田会 苑田会人工関節センター病院
社会福祉法人同愛記念病院財団 同愛記念病院
社会医療法人社団順江会 江東病院
一般社団法人巨樹の会 江東リハビリテーション病院
国立研究開発法人 国立成育医療研究センター
医療法人社団青葉会 世田谷神経内科病院
箕山クリニック
医療法人社団 慈誠会 練馬駅リハビリテーション病院
医療法人社団TOC 寺嶋整形外科医院
国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター病院
国家公務員共済組合連合会 立川病院
社会医療法人財団大和会 武蔵村山病院
独立行政法人 地域医療機能推進機構 東京高輪病院
北里大学北里研究所病院
国立大学法人 東京医科歯科大学医学部附属病院スポーツ医学診療センター
東京大学医学部附属病院
医療法人社団 明芳会 イムス葛飾ハートセンター
公益財団法人 がん研究会有明病院
順天堂大学医学部附属 順天堂東京江東高齢者医療センター
日本赤十字社医療センター
独立行政法人国立病院機構 東京医療センター
社会福祉法人康和会 久我山病院
医療法人横浜未来ヘルスケアシステム 奥沢病院
医療法人社団明芳会 高島中央総合病院
医療法人社団永生会 永生クリニックリハビリテーションセンター
社会医療法人財団石心会 川崎幸病院
SOL整形外科スポーツクリニック
聖マリアンナ医科大学病院
独立行政法人労働者健康安全機構 横浜労災病院
横浜市スポーツ医学センター
医療法人社団明芳会 横浜新都市脳神経外科病院

調査対象 (理学療法士所属2/2)

独立行政法人 地域医療機能推進機構 横浜中央病院
医療法人社団明芳会 横浜旭中央総合病院
医療法人社団緑野会 みどり野リハビリテーション病院
医療法人横浜未来ヘルスケアシステム 戸塚共立リハビリテーション病院
地域医療支援病院 小田原市立病院
座間整形外科
医療法人社団 博慈会 青葉さかい病院
牧野記念病院
医療法人社団明理会 東戸塚記念病院
IMSグループ医療法人社団明芳会 新戸塚病院
湘南鎌倉人工関節センター
聖マリアンナ医科大学東横病院
川崎市立多摩病院
医療法人社団総生会 麻生総合病院
医療法人社団三成会 新百合ヶ丘総合病院
横浜市総合リハビリテーションセンター
社会福祉法人恩賜財団 済生会横浜市東部病院
日本赤十字社 横浜市立みなと赤十字病院
社会医療法人 さいたま市民医療センター
社会福祉法人恩賜財団済生会支部 埼玉県済生会川口総合病院
医療法人社団協友会 メディカルトピア草加病院
医療法人社団協友会 埼玉回生病院
医療法人三愛会 埼玉みさと総合リハビリテーション病院
医療法人社団愛友会 三郷中央総合病院
医療法人敬愛会 リハビリテーション天草病院
越谷市立病院
IMSグループ医療法人財団明理会 春日部中央総合病院
医療法人社団埼玉巨樹の会
新久喜総合病院
埼玉医科大学国際医療センター
一般社団法人 巨樹の会 狭山中央病院
社会医療法人財団石心会 埼玉石心会病院
埼玉医科大学総合医療センター
独立行政法人国立病院機構 埼玉病院
社会医療法人社団 堀ノ内病院
医療法人社団青葉会 新座病院
医療法人社団武蔵野会 T M G宗岡中央病院
医療法人社団和風会 所沢リハビリテーション病院
社会医療法人社団和風会 所沢中央病院
一般社団法人巨樹の会 明生リハビリテーション病院
独立行政法人国立病院機構 西埼玉中央病院
医療法人啓仁会 所沢ロイヤル病院
医療法人社団東光会 戸田中央総合病院
さいたま市立病院
医療法人社団幸正会 岩槻南病院
獨協医科大学 埼玉医療センター
独立行政法人国立病院機構 東埼玉病院
医療法人社団青葉会 狭山神経内科病院
医療法人社団武蔵野会 新座志木中央総合病院
医療法人社団愛友会 上尾中央第二病院
医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院
埼玉県総合リハビリテーションセンター
一般社団法人巨樹の会 所沢明生病院
一般社団法人巨樹の会 千葉みなとリハビリテーション病院
千葉県救急医療センター
医療法人社団ふけ会 富家千葉病院
医療法人社団淳英会 おゆみの中央病院
一般社団法人巨樹の会 松戸リハビリテーション病院
社会医療法人社団木下会 千葉西総合病院
松戸市立総合医療センター
医療法人社団青嶺会 松戸整形外科病院
医療法人社団紺整会 船橋整形外科市川クリニック
IMSグループ医療法人財団明理会 行徳総合病院
国立研究開発法人
国立国際医療研究センター国府台病院
医療法人社団輝生会 船橋市立リハビリテーション病院
独立行政法人 地域医療機能推進機構 船橋中央病院
医療法人社団誠善会 セコマディック病院
社会医療法人社団千葉県勤労者医療協会 船橋二和病院
医療法人徳洲会 千葉徳洲会病院
医療法人社団愛友会 津田沼中央総合病院
医療法人社団保健会 谷津保健病院
医療法人社団心和会 新八千代病院
東京女子医科大学 八千代医療センター
医療法人社団葵会 柏たなか病院
医療法人社団柏水会 初石病院
医療法人社団協友会 柏厚生総合病院
国立がん研究センター東病院
医療法人SHIODA 塩田記念病院
医療法人社団誠善会 総泉病院
千葉県千葉リハビリテーションセンター
医療法人社団 博翔会 五香病院
医療法人社団城東桐和会 タムス市川リハビリテーション病院
医療法人社団紺整会 船橋整形外科病院
医療法人社団保健会 東京湾岸リハビリテーション病院
医療法人社団健陽会 西川整形外科
千葉県循環器病センター
一般社団法人巨樹の会 宇都宮リハビリテーション病院
千葉大学医学部附属病院
医療法人社団青嶺会 松戸整形外科クリニック
東京勤労者医療会 東葛病院
公益社団法人地域医療振興協会 東京ベイ・浦安市川医療センター
順天堂大学医学部附属浦安病院
医療法人社団城東桐和会 タムス浦安病院
東邦大学医療センター佐倉病院
社会医療法人若竹会 つくばセントラル病院
医療法人社団筑波記念会 筑波記念病院
医療法人 健佑会 いちはら病院
医療法人三星会 茨城リハビリテーション病院 (旧：医療法人社団源守会
会田記念リハビリテーション病院)
社会医療法人達生堂 城西病院
順天堂大学医学部附属静岡病院

調査対象 (診療放射線技師所属)

板橋中央総合病院
NTT東日本関東病院
聖路加国際病院
杏林大学医学部付属病院
慶應義塾大学病院
有明病院
東京都保健医療公社荏原病院
東京都保健医療公社大久保病院
東京都保健医療公社多摩北部医療センター
東京都保健医療公社多摩南部地域病院
東京都保健医療公社豊島病院
国立がん研究センター中央病院
国立国際医療研究センター病院
虎の門病院
J R 東京総合病院
三井記念病院
順天堂大学医学部附属順天堂医院
順天堂大学医学部附属練馬病院
東京医科歯科大学病院
東京医科大学病院
東京慈恵会医科大学附属病院
東京慈恵会医科大学葛飾医療センター
東京慈恵会医科大学附属第三病院
東京女子医科大学病院
東京大学医学部附属病院
東京都立大塚病院
東京都立駒込病院
東京都立多摩総合医療センター
東京都立広尾病院
東京都立墨東病院
東邦大学医療センター大橋病院
東邦大学医療センター大森病院
JCHO東京新宿メディカルセンター
日本医科大学付属病院
東京臨海病院
日本大学医学部附属板橋病院
日本大学病院
武蔵野赤十字病院
横須賀市立うわまち病院
聖マリアンナ医科大学病院
横浜医療センター
横浜市立大学附属市民総合医療センター
横浜市立大学附属病院
春日部市立医療センター
埼玉県済生会川口総合病院
獨協医科大学埼玉医療センター
国立がん研究センター東病院
順天堂大学医学部附属浦安病院
千葉大学医学部附属病院
東京慈恵会医科大学附属柏病院
自治医科大学附属病院
獨協医科大学病院
順天堂大学医学部附属静岡病院

【資料4】

東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県において理学療法学領域または診療放射線学領域の専攻を設置している大学院修士課程の学生納付金

所在地	設置区分	大学名	研究科名	入学金	授業料	施設設備費等	初年度納入金額	2年間合計
東京都	公	東京都立大学大学院	人間健康科学研究科	282,000	520,800		802,800	1,323,600
東京都	私	杏林大学大学院	保健学研究科	250,000	500,000	200,000	950,000	1,450,000
東京都	私	平成帝京大学大学院	健康科学研究科	200,000	760,000	200,000	1,160,000	2,120,000
東京都	私	文京学院大学大学院	保健医療科学研究科	200,000	632,000	280,000	1,112,000	1,930,000
東京都	私	帝京科学大学大学院	大学院医療科学研究科	310,000	800,000	240,000	1,350,000	2,390,000
神奈川県	私	湘南医療大学大学院	保健医療学研究科	300,000	980,000		1,280,000	2,260,000
神奈川県	公	神奈川県立保健福祉大学大学院	保健福祉学研究科	564,000	535,800		1,099,800	1,635,600
神奈川県	私	昭和大学大学院	保健医療学研究科	100,000	400,000	200,000	700,000	1,200,000
神奈川県	私	北里大学大学院	医療系研究科	200,000	685,000	100,000	985,000	1,770,000
埼玉県	私	目白大学大学院	リハビリテーション学研究科	160,000	624,000	150,000	934,000	1,708,000
埼玉県	公	埼玉県立大学大学院	保健医療福祉学研究科	423,000	621,000		1,044,000	1,665,000
埼玉県	私	埼玉医科大学大学院	医学研究科	300,000	700,000	200,000	1,200,000	2,100,000
東京都	私	帝京大学大学院	医療技術学研究科	204,000	622,200	214,200	1,040,400	1,876,800
東京都	私	駒澤大学大学院	医療健康科学研究科	250,000	600,000	450,000	1,300,000	2,350,000

2022年3月 順天堂大学調べ

順天堂大学大学院保健医療学研究科（予定）

順天堂大学	私	順天堂大学大学院	保健医療学研究科	200,000	550,000	50,000	800,000	1,400,000
-------	---	----------	----------	---------	---------	--------	---------	-----------

令和3年「敬老の日」にちなんだ東京都の高齢者人口（推計）

一 東京都の高齢者人口は311万6千人 都総人口の4.3人に1人が高齢者一

- ◆ 住民基本台帳人口（日本人のみ）を基に推計した令和3年9月15日時点の東京都の高齢者（65歳以上）人口は311万6千人となり、前年と比べ2千人（対前年増減率0.1%）の増加となった。
高齢化率（総人口に占める65歳以上人口の割合）は23.4%となり、前年から横ばいとなった。
高齢者人口のうち、65歳から74歳までの人口は146万人で、前年と比べ1万3千人（対前年増減率0.9%）の減少となり、75歳以上の人口は165万5千人で、前年と比べ1万3千人（同0.8%）の増加となった。
（表1、表3、表4、図1、図2）
- ◆ 東京都の高齢者人口を男女別にみると、男性は135万4千人、女性は176万2千人となっており、女性が男性の1.3倍となっている。なお、75歳以上人口では女性が男性の1.6倍となっている。
（表1、表3、図1）
- ◆ 地域別にみると、区部の高齢者人口は203万1千人で高齢化率は22.3%、市町村部の高齢者人口は108万5千人で高齢化率は25.9%となっており、高齢化率は、市町村部が区部を上回っている。
（表1、表2、表3、表4、図3）
- ◆ 東京都の老年人口指数は36.0となっており、生産年齢人口（15～64歳人口）2.8人で1人の高齢者を支えていることになる。 ※老年人口指数=65歳以上人口÷15歳～64歳人口×100 （表2、表3）

表1 地域、男女別高齢者人口（令和3年9月15日時点推計）

地域、男女	総人口 〈万人〉	高齢者人口 〈万人〉 (〇は総人口に占める割合%)			対前年増減数 〈万人〉 (〇は対前年増減率%)			
		65歳以上	うち65歳～74歳	うち75歳以上	65歳以上	うち65歳～74歳	うち75歳以上	
東京都	男女計	1331.4	311.6 (23.4)	146.0 (11.0)	165.5 (12.4)	0.2 (0.1)	△ 1.3 (△ 0.9)	1.3 (0.8)
	男	654.2	135.4 (20.7)	70.8 (10.8)	64.5 (9.9)	0.1 (0.1)	△ 0.5 (△ 0.7)	0.5 (0.8)
	女	677.2	176.2 (26.0)	75.2 (11.1)	101.0 (14.9)	0.1 (0.1)	△ 0.8 (△ 1.1)	0.8 (0.8)
区部 (特別区)	男女計	912.6	203.1 (22.3)	95.2 (10.4)	107.9 (11.8)	△ 0.6 (△ 0.3)	△ 1.1 (△ 1.1)	0.4 (0.4)
	男	447.5	87.8 (19.6)	46.5 (10.4)	41.3 (9.2)	△ 0.3 (△ 0.3)	△ 0.5 (△ 1.1)	0.1 (0.2)
	女	465.0	115.2 (24.8)	48.7 (10.5)	66.5 (14.3)	△ 0.4 (△ 0.3)	△ 0.6 (△ 1.2)	0.2 (0.3)
市町村部 (多摩・島上)	男女計	418.8	108.5 (25.9)	50.9 (12.2)	57.7 (13.8)	0.8 (0.7)	△ 0.1 (△ 0.2)	1.0 (1.8)
	男	206.6	47.6 (23.0)	24.3 (11.8)	23.2 (11.2)	0.4 (0.8)	△ 0.1 (△ 0.4)	0.4 (1.8)
	女	212.2	61.0 (28.7)	26.5 (12.5)	34.5 (16.3)	0.5 (0.8)	△ 0.1 (△ 0.4)	0.6 (1.8)

注) 数値は小数点第1位未満を四捨五入しているため、内訳の計は必ずしも合計の値に一致しない。

表2 地域、男女、年齢3区分別にみた人口割合（令和3年9月15日時点推計）

地域、男女		0～14歳(%)	15～64歳(%)	65歳以上(%)	老年人口指数
東京都	男女計	11.6	65.0	23.4	36.0
	男	12.1	67.2	20.7	30.8
	女	11.1	62.8	26.0	41.4
区部 (特別区)	男女計	11.4	66.3	22.3	33.5
	男	11.9	68.5	19.6	28.6
	女	10.9	64.3	24.8	38.5
市町村部 (多摩・島上)	男女計	12.1	62.0	25.9	41.8
	男	12.6	64.4	23.0	35.8
	女	11.6	59.6	28.7	48.2

注1) 数値は小数点第1位未満を四捨五入しているため、内訳の計は必ずしも100.0にならない。

2) 老年人口指数=65歳以上人口÷15歳～64歳人口×100

表3 地域、男女、年齢3区分別にみた人口の推移(各年9月15日時点推計)

(単位 万人)

地域、男女、年齢3区分		平成13年	18年	23年	28年	令和2年	3年
東京都	男女計	1189.5	1232.8	1268.7	1304.1	1331.7	1331.4
	0～14歳	142.9	146.0	150.5	154.4	155.7	154.8
	15～64歳	850.6	855.7	855.9	848.2	864.6	865.0
	65歳以上	195.9	231.1	262.3	301.5	311.4	311.6
	65歳～74歳	118.2	132.0	137.6	154.2	147.3	146.0
	75歳以上	77.7	99.1	124.7	147.3	164.2	165.5
	男	592.7	612.6	628.6	643.8	654.9	654.2
	0～14歳	73.2	74.8	77.2	79.1	79.7	79.2
	15～64歳	437.2	440.0	439.6	434.0	439.9	439.6
	65歳以上	82.3	97.9	111.9	130.7	135.3	135.4
	65歳～74歳	54.3	61.0	64.2	73.6	71.3	70.8
	75歳以上	28.1	36.8	47.7	57.1	64.0	64.5
	女	596.7	620.1	640.0	660.3	676.8	677.2
	0～14歳	69.7	71.2	73.3	75.3	76.0	75.5
	15～64歳	413.4	415.7	416.3	414.2	424.8	425.5
65歳以上	113.6	133.2	150.4	170.8	176.1	176.2	
65歳～74歳	63.9	71.0	73.4	80.5	76.0	75.2	
75歳以上	49.6	62.2	77.0	90.3	100.2	101.0	
区部 (特別区)	男女計	801.7	831.1	857.5	888.9	913.6	912.6
	0～14歳	90.7	92.8	96.8	101.8	104.5	104.1
	15～64歳	574.1	580.6	585.2	588.0	605.4	605.4
	65歳以上	136.8	157.6	175.6	199.2	203.7	203.1
	65歳～74歳	81.7	88.9	90.9	101.2	96.3	95.2
	75歳以上	55.2	68.7	84.7	98.0	107.5	107.9
	男	397.6	411.5	423.8	437.9	448.4	447.5
	0～14歳	46.4	47.5	49.6	52.1	53.4	53.2
	15～64歳	294.6	298.3	300.2	300.1	306.9	306.5
	65歳以上	56.6	65.7	74.0	85.8	88.1	87.8
	65歳～74歳	36.8	40.6	42.3	48.6	47.0	46.5
	75歳以上	19.8	25.1	31.7	37.1	41.2	41.3
	女	404.1	419.6	433.8	451.0	465.2	465.0
	0～14歳	44.3	45.3	47.2	49.7	51.1	50.9
	15～64歳	279.6	282.3	285.0	287.9	298.5	298.9
65歳以上	80.2	91.9	101.6	113.4	115.6	115.2	
65歳～74歳	44.8	48.3	48.6	52.6	49.3	48.7	
75歳以上	35.4	43.6	53.0	60.8	66.3	66.5	
市町村部 (多摩・島しょ)	男女計	387.8	401.7	411.1	415.2	418.1	418.8
	0～14歳	52.2	53.2	53.7	52.6	51.2	50.7
	15～64歳	276.5	275.0	270.8	260.2	259.2	259.6
	65歳以上	59.1	73.4	86.7	102.3	107.7	108.5
	65歳～74歳	36.5	43.1	46.7	53.0	51.0	50.9
	75歳以上	22.6	30.4	39.9	49.4	56.7	57.7
	男	195.2	201.1	204.9	205.9	206.5	206.6
	0～14歳	26.8	27.3	27.6	27.0	26.3	26.1
	15～64歳	142.7	141.7	139.5	133.9	133.0	133.0
	65歳以上	25.7	32.1	37.8	44.9	47.2	47.6
	65歳～74歳	17.4	20.4	21.9	25.0	24.4	24.3
	75歳以上	8.3	11.7	15.9	19.9	22.8	23.2
	女	192.6	200.6	206.3	209.3	211.6	212.2
	0～14歳	25.4	25.9	26.1	25.6	24.9	24.6
	15～64歳	133.8	133.3	131.3	126.3	126.2	126.5
65歳以上	33.4	41.3	48.8	57.4	60.5	61.0	
65歳～74歳	19.1	22.7	24.9	28.0	26.6	26.5	
75歳以上	14.3	18.6	24.0	29.5	33.9	34.5	

注1) 数値は小数点第1位未満を四捨五入しているため、内訳の計は必ずしも合計の値に一致しない。

2) 平成元年以降の全ての年の値は、ホームページ(資料)「<http://www.met.go.jp/koureisya/kr-index.htm>」に掲載している。

表4 地域、男女、年齢3区分別にみた人口割合の推移(各年9月15日時点推計)

地域、男女、年齢3区分		(単位 %)					
		平成13年	18年	23年	28年	令和2年	3年
東京都	男女計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	0～14歳	12.0	11.8	11.9	11.8	11.7	11.6
	15～64歳	71.5	69.4	67.5	65.0	64.9	65.0
	65歳以上	16.5	18.7	20.7	23.1	23.4	23.4
	65歳～74歳	9.9	10.7	10.8	11.8	11.1	11.0
	75歳以上	6.5	8.0	9.8	11.3	12.3	12.4
	男	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	0～14歳	12.4	12.2	12.3	12.3	12.2	12.1
	15～64歳	73.8	71.8	69.9	67.4	67.2	67.2
	65歳以上	13.9	16.0	17.8	20.3	20.7	20.7
	65歳～74歳	9.2	10.0	10.2	11.4	10.9	10.8
	75歳以上	4.7	6.0	7.6	8.9	9.8	9.9
	女	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	0～14歳	11.7	11.5	11.5	11.4	11.2	11.1
	15～64歳	69.3	67.0	65.0	62.7	62.8	62.8
	65歳以上	19.0	21.5	23.5	25.9	26.0	26.0
65歳～74歳	10.7	11.4	11.5	12.2	11.2	11.1	
75歳以上	8.3	10.0	12.0	13.7	14.8	14.9	
区部 (特別区)	男女計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	0～14歳	11.3	11.2	11.3	11.5	11.4	11.4
	15～64歳	71.6	69.9	68.2	66.1	66.3	66.3
	65歳以上	17.1	19.0	20.5	22.4	22.3	22.3
	65歳～74歳	10.2	10.7	10.6	11.4	10.5	10.4
	75歳以上	6.9	8.3	9.9	11.0	11.8	11.8
	男	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	0～14歳	11.7	11.5	11.7	11.9	11.9	11.9
	15～64歳	74.1	72.5	70.8	68.5	68.4	68.5
	65歳以上	14.2	16.0	17.5	19.6	19.6	19.6
	65歳～74歳	9.3	9.9	10.0	11.1	10.5	10.4
	75歳以上	5.0	6.1	7.5	8.5	9.2	9.2
	女	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	0～14歳	11.0	10.8	10.9	11.0	11.0	10.9
	15～64歳	69.2	67.3	65.7	63.8	64.2	64.3
	65歳以上	19.8	21.9	23.4	25.1	24.8	24.8
65歳～74歳	11.1	11.5	11.2	11.7	10.6	10.5	
75歳以上	8.8	10.4	12.2	13.5	14.3	14.3	
市町村部 (多摩・島上)	男女計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	0～14歳	13.5	13.2	13.1	12.7	12.2	12.1
	15～64歳	71.3	68.5	65.9	62.7	62.0	62.0
	65歳以上	15.2	18.3	21.1	24.6	25.8	25.9
	65歳～74歳	9.4	10.7	11.4	12.8	12.2	12.2
	75歳以上	5.8	7.6	9.7	11.9	13.6	13.8
	男	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	0～14歳	13.7	13.6	13.5	13.1	12.7	12.6
	15～64歳	73.1	70.5	68.1	65.0	64.4	64.4
	65歳以上	13.2	16.0	18.4	21.8	22.9	23.0
	65歳～74歳	8.9	10.1	10.7	12.1	11.8	11.8
	75歳以上	4.3	5.8	7.8	9.7	11.0	11.2
	女	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	0～14歳	13.2	12.9	12.7	12.2	11.8	11.6
	15～64歳	69.5	66.5	63.6	60.3	59.6	59.6
	65歳以上	17.3	20.6	23.7	27.4	28.6	28.7
65歳～74歳	9.9	11.3	12.1	13.4	12.6	12.5	
75歳以上	7.4	9.3	11.6	14.1	16.0	16.3	

注1) 数値は小数点第1位未満を四捨五入しているため、内訳の計は必ずしも100.0にならない。

2) 平成元年以降の全ての年の値は、ホームページ(<http://www.metro.tokyo.lg.jp/koureisya/kr-index.htm>)に掲載している。

図1 男女別高齢者人口の推移(東京都)(各年9月15日時点推計)

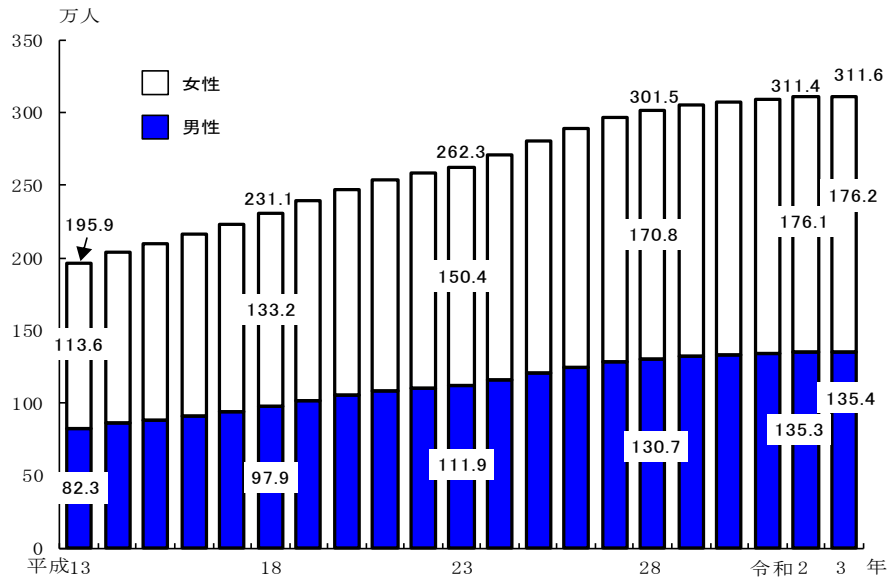


図2 年齢階級別高齢者人口と高齢化率の推移(東京都)(各年9月15日時点推計)

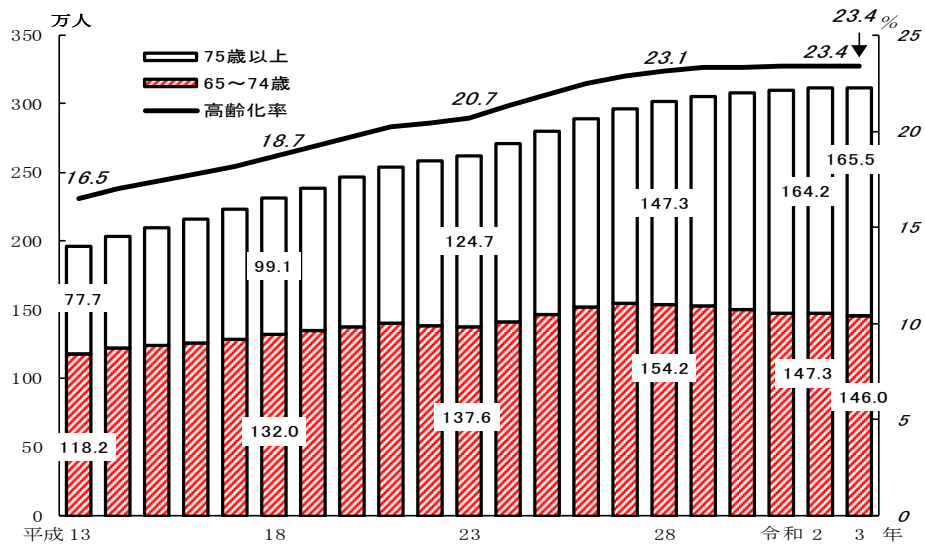
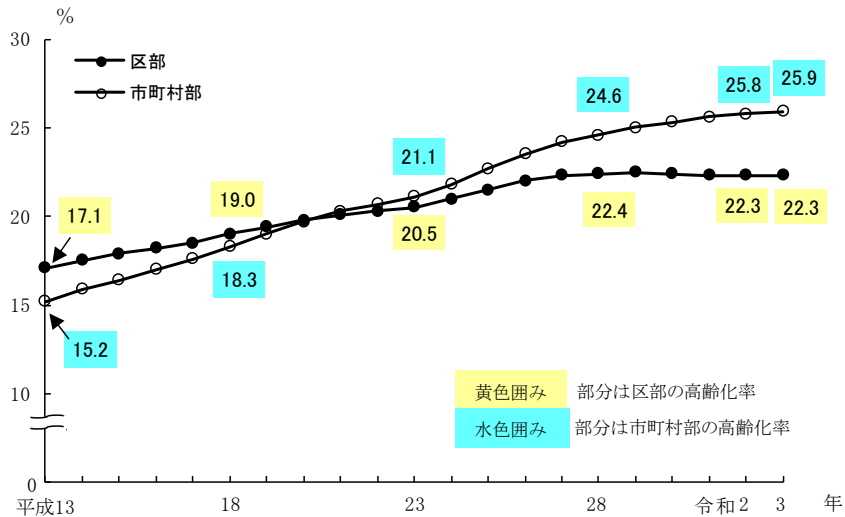


図3 地域別高齢化率の推移(各年9月15日時点推計)



注) 数値は小数点第一位未満を四捨五入したもので、内訳の計は必ずしも合計の値に一致しない。

医療需要ピークや医療福祉資源レベル の地域差を考慮した 医療福祉提供体制の再構築

国際医療福祉大学大学院教授

高橋泰

(今回の話の骨組み)

I. 今後の人口変動をどのように捉えるべきか

I-①わが国全体では、若年層が激減、高齢者が急増

I-②地域により人口変動のパターンが大きく異なる

I-③大都市、地方都市、過疎地域に分ける

II. 医療福祉の再構築にむけて

II-①地域により医療需要ピークが大きく異なる

II-②地域により医療福祉資源レベルが大きく異なる

II-③各地域の医療需要ピークや現在の資源レベルを

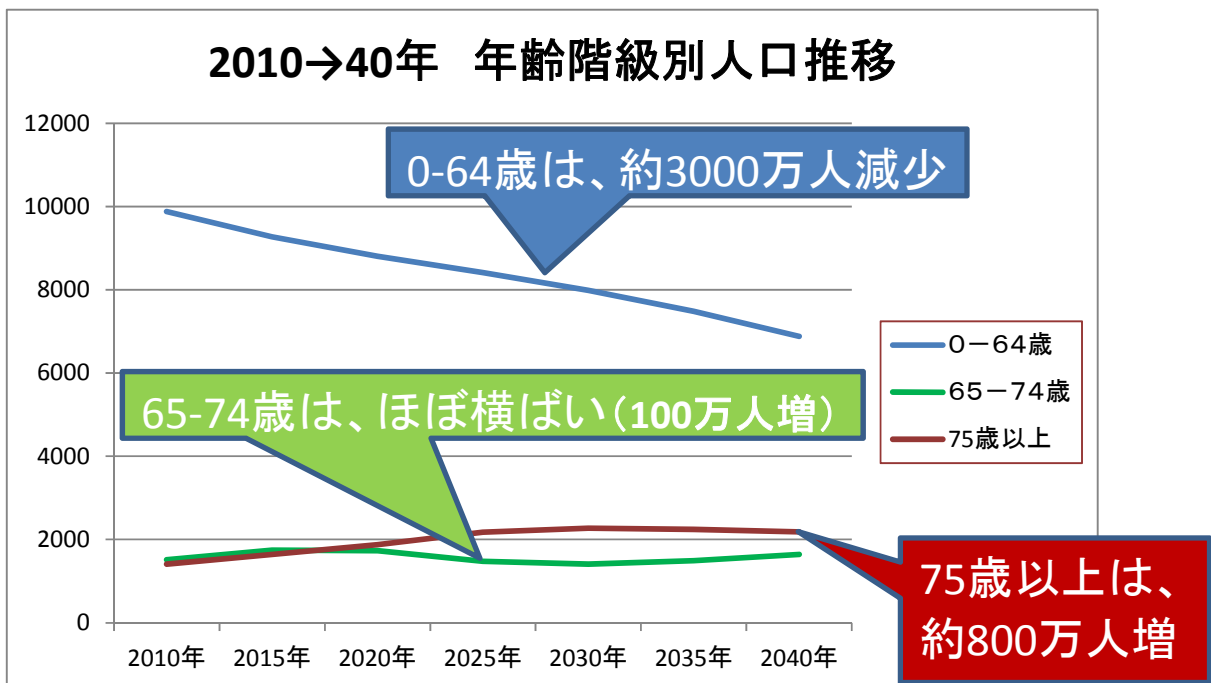
考慮した医療福祉提供体制の再構築

I. 今後の人口変動をどのように捉えるべきか

I-①わが国全体では、若年層が激減、高齢者が急増

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2010→40年の増減
総人口	12806	12666	12413	12070	11667	11219	10707	-2099
0-64歳	9881	9271	8802	8414	7983	7479	6876	-3005
65-74歳	1517	1749	1733	1478	1406	1495	1645	127
75歳以上	1407	1646	1878	2178	2277	2245	2186	779

(2010年人口は平成22年国勢調査、2015年以降人口は国立社会保障・人口問題研究所 市区町村別将来推計人口 平成25年3月推計)

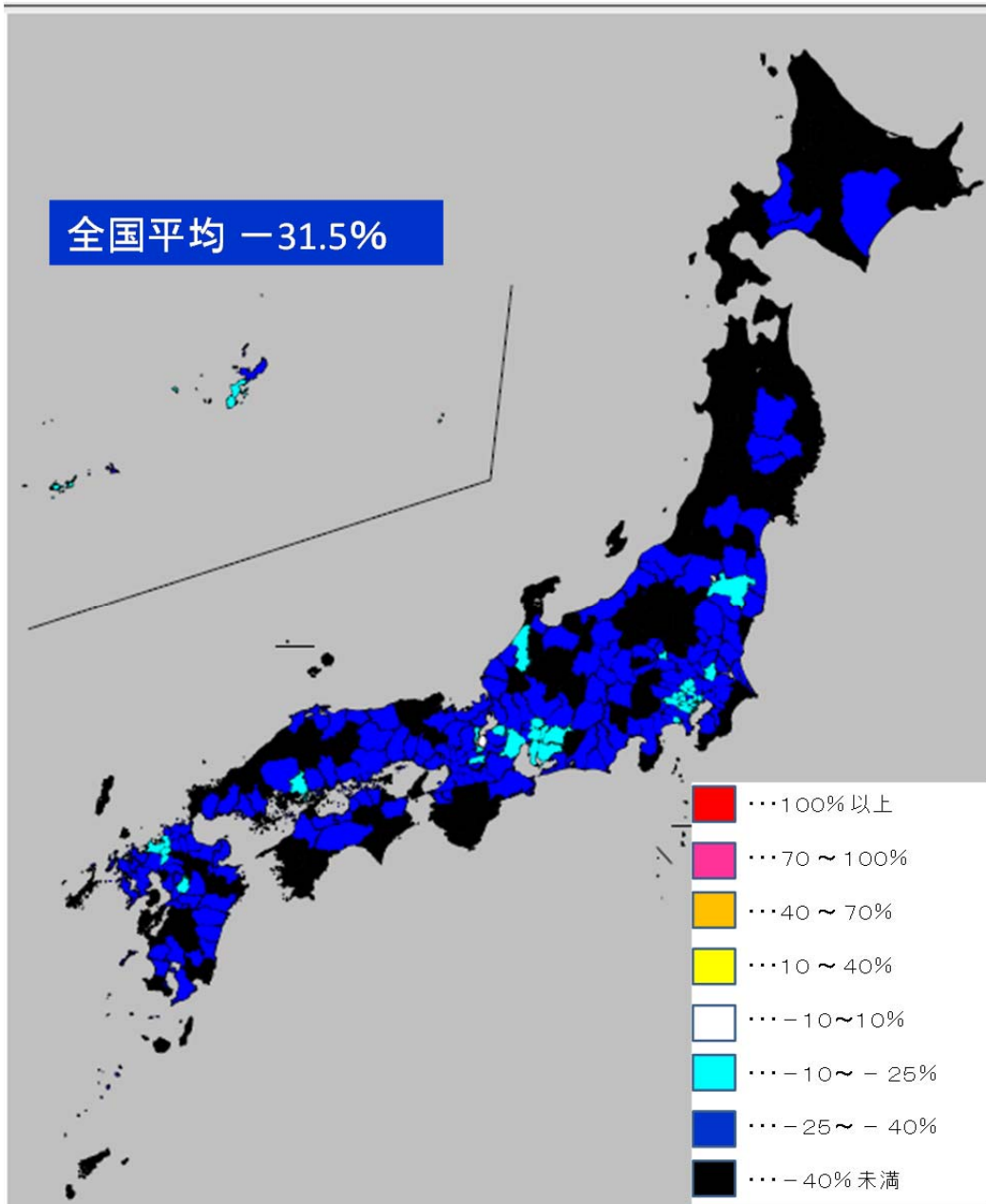


- ・ 0-64歳は、2010→40年にかけて、一貫して減り続け約 **3000万人減少** する
- ・ 65-74歳は、2010→40年にかけて、ほぼ横ばいで約 **100万人増加** する
- ・ 75歳以上は、2030年まで増え続け、その後ほぼ横ばいで、約 **800万人増加** する
- ・ 国全体は、若年層が3000万人減、高齢者が900万人増で、約 **2100万減少** する

◎今後30年、75歳以上は急増だが、0-64歳の大幅減で、総人口2100万人減少

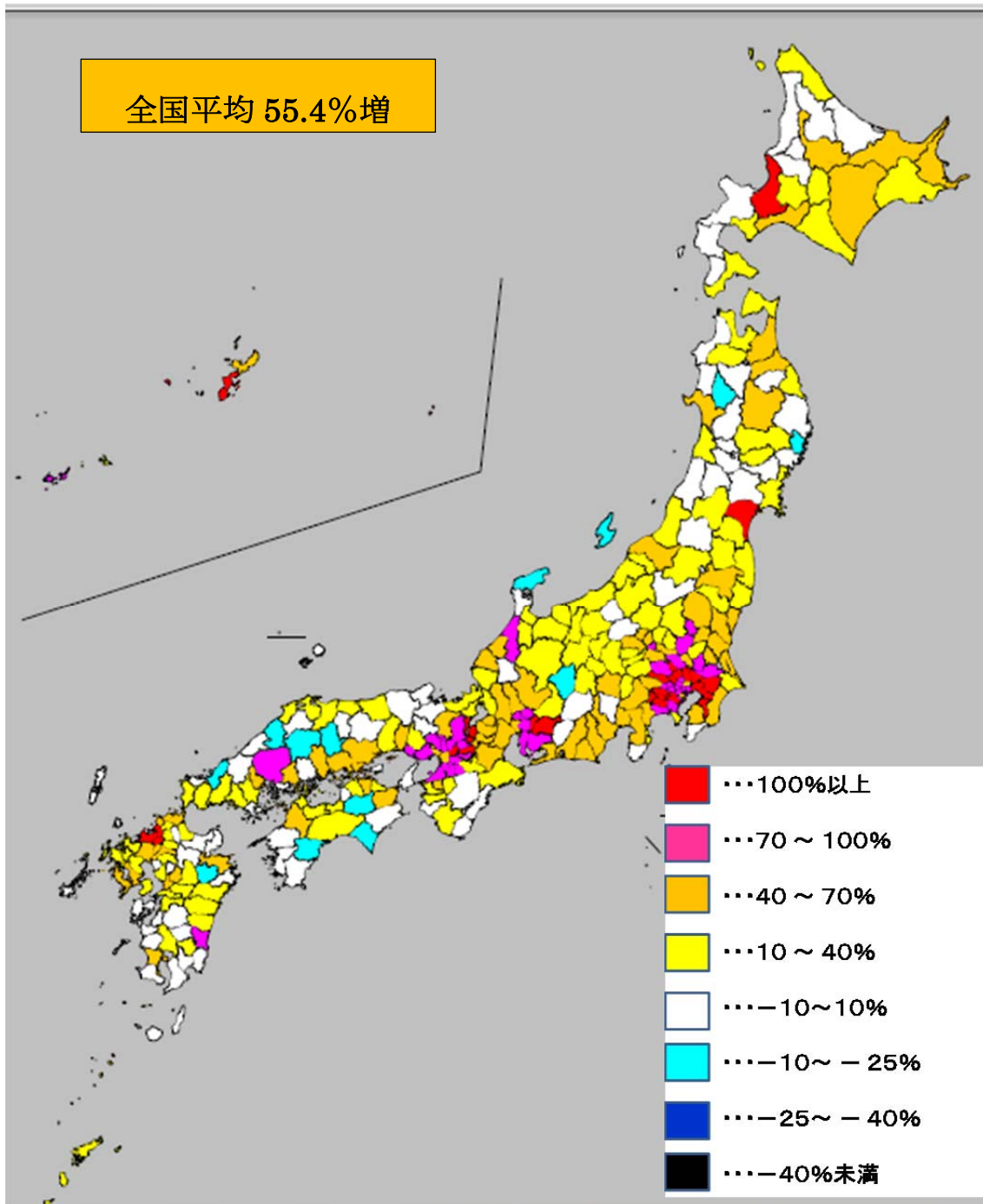
I-②地域により人口変動のパターンが大きく異なる

2010→40年における二次医療圏別0-64歳人口増減率



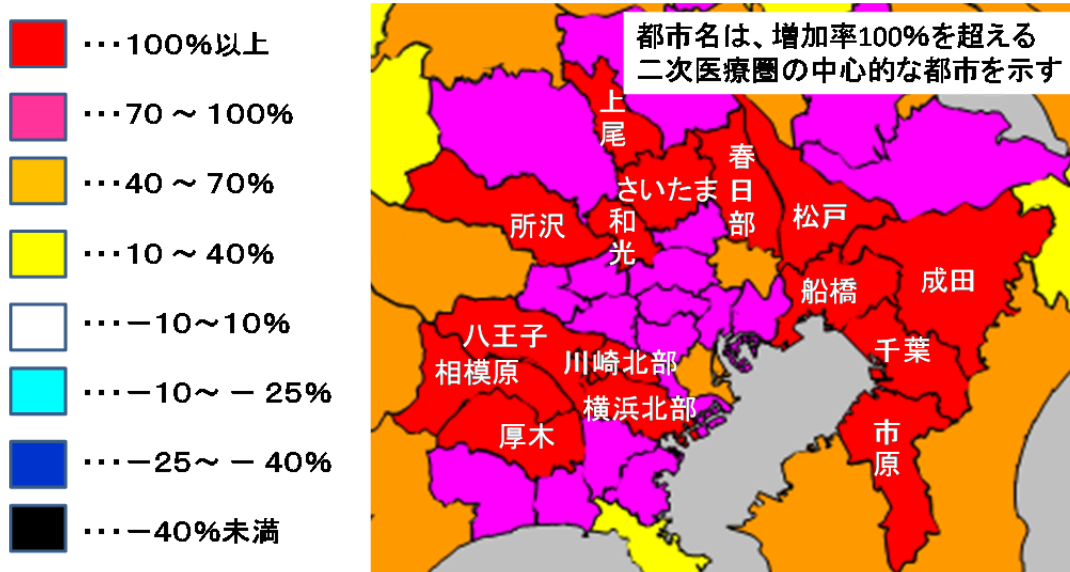
10年から40年にかけて0-64歳人口は減少を続け、2040年には2010年と比べ我が国の0-64歳人口は、**31.5%減少**する。25-40%の減少を意味する青色や、40%以上の減少を意味する黒色の地域が全国的に広がっているが、**減少率の地域差は大きい**。深刻な減少（40%以上）を意味する黒色の地域は、北海道、東北、中部山間地、南紀、山陰、四国南部、南九州に多い。

2010→40年 **75歳以上**増減率



75歳以上人口は、10年から25年にかけて急増し、その後微増から微減傾向に転じる。2010年から40年の間に我が国の75歳以上人口は**55.4%増加**し、全国的に、黄色またはオレンジ色の地域が広がる。人口の変動が少ない白色の地域が、北海道・東北・山陰等に広がる一方、100%を超える増加である赤色の地域が、東京の周辺部に広がるなど、**75歳以上人口の増加率の地域差は大きい**。

2010→40年東京周辺の75歳以上人口増減率

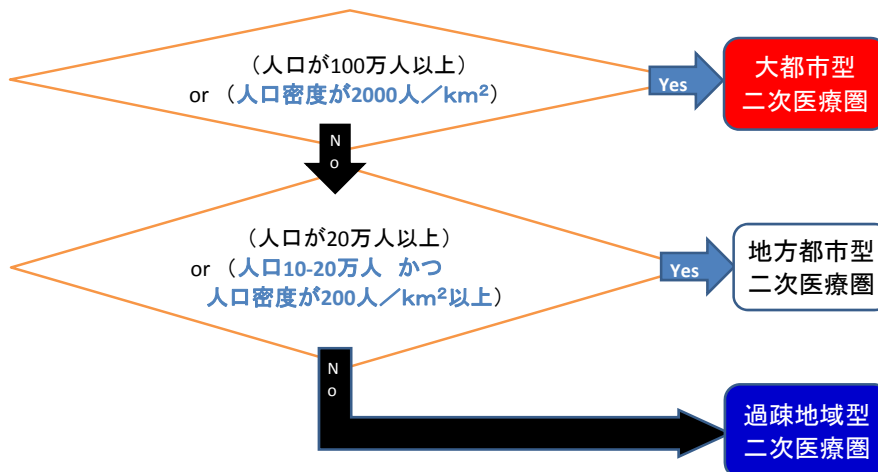


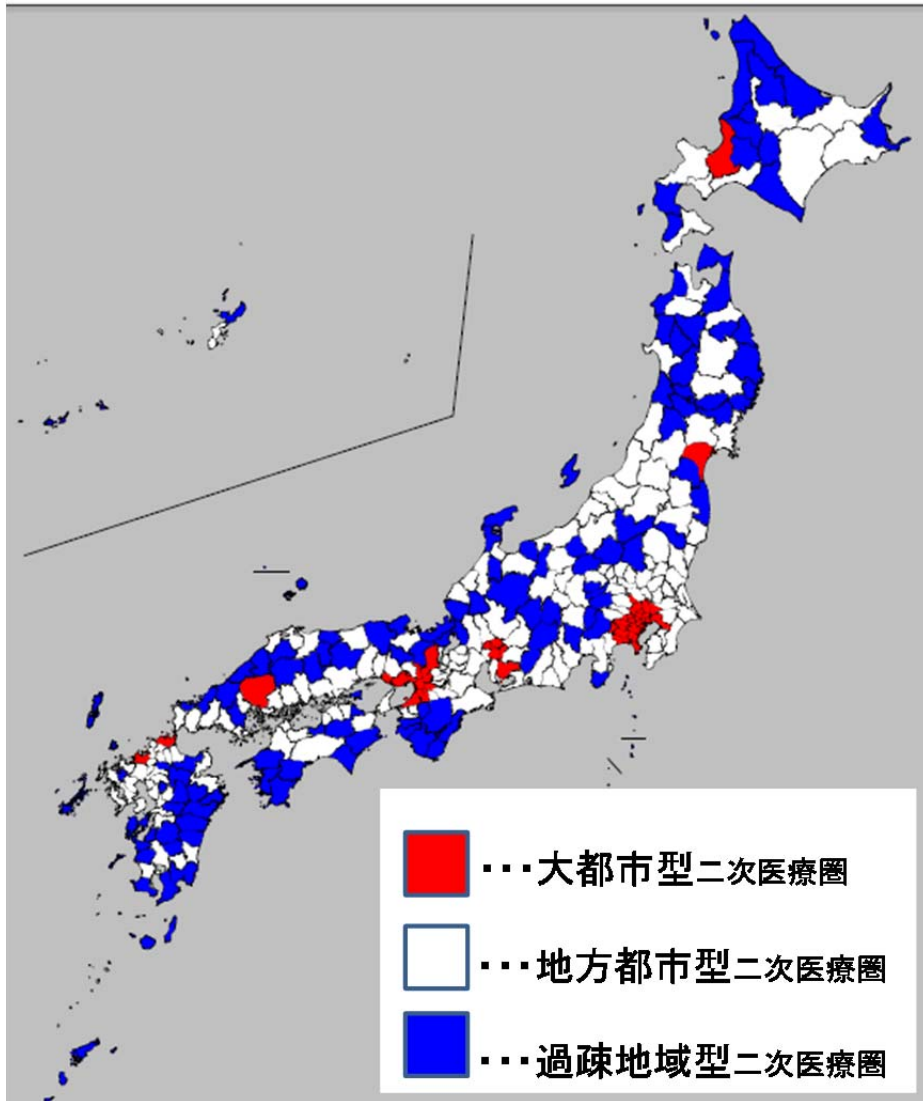
2010年から40年にかけての75歳以上人口の伸びが特に激しい、東京周辺の様子を示す。千葉県西部、埼玉県東部・中央部、神奈川県北部は、2010年から40年にかけて、75歳以上人口が100%以上増加する。

◎ 地域により人口変動のパターンが大きく異なる

I-③大都市、地方都市、過疎地域に分ける

343個ある二次医療圏を、(人口が100万人以上)または(人口密度が2000人/km²)の条件を満たす二次医療圏を**大都市型**二次医療圏に、(人口が20万人以上)または(人口10-20万人かつ人口密度200人/km²以上)の条件を満たす二次医療圏を**地方都市型**二次医療圏に、その他を**過疎地域型**二次医療圏に分けると、以下の地図に示すように日本を三つのグループに分けることができる。





このルールに従うと、以下の表に示すように、53個の大都市型、163個の地方都市型、127個の過疎地域型の二次医療圏に分かれる。

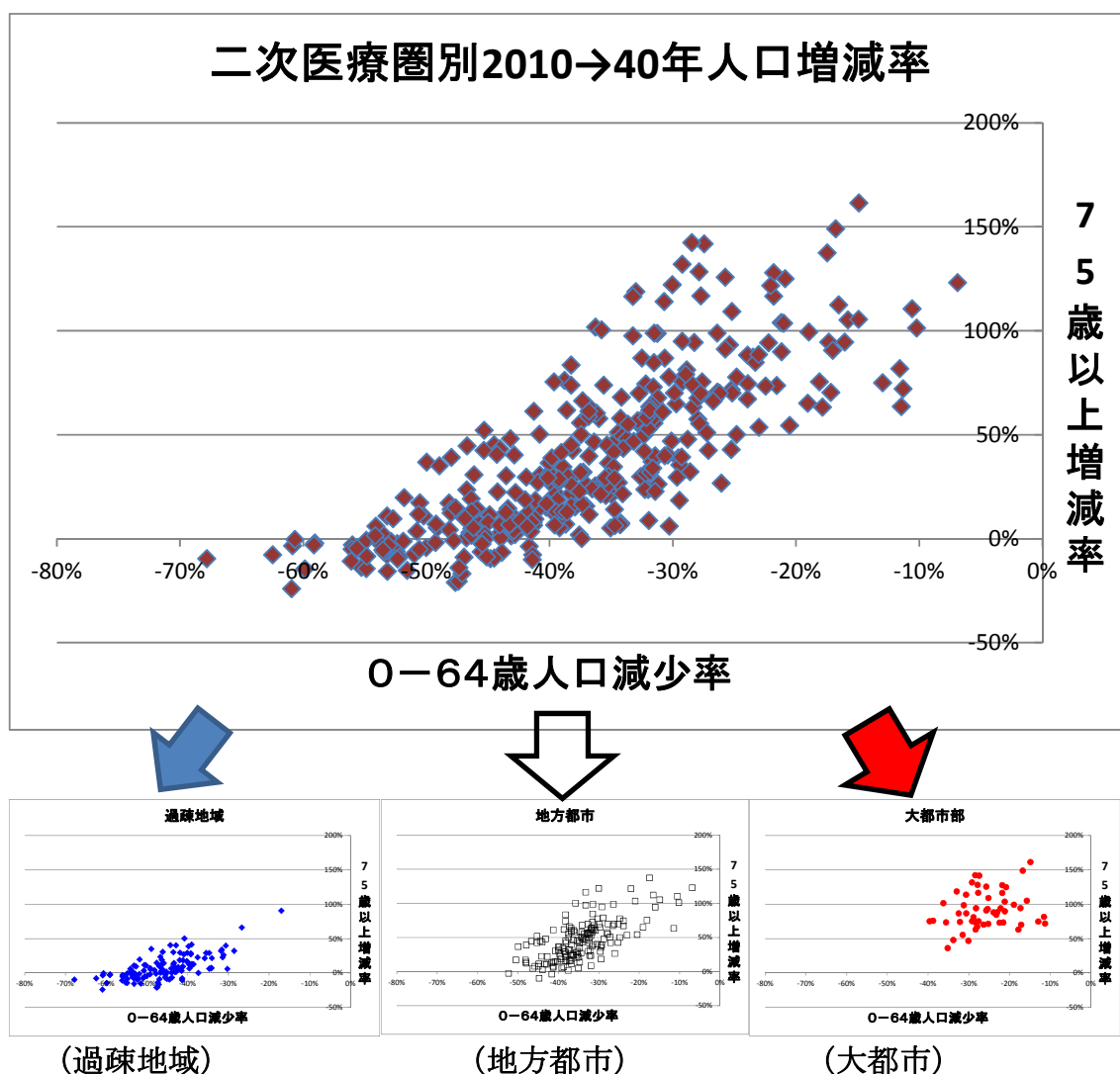
大都市型には、我が国の5%の面積を占めるが、そこに全人口の44%が住み、平均の人口密度が2942人/km²である。地方都市型は、我が国の面積の50%を占め、人口の46%が住んでおり、平均人口密度が約315人/km²である。過疎地域型は、我が国の面積の45%を占めるが、人口のわずか9%としか住まず、人口密度が73人/km²である。

	地域数	面積		人口		人口密度
		(km ²)	(%)	(万人)	(%)	(人/km ²)
全国	343	372903	100%	12806	100%	343.4
大都市型	53	19.362	5%	5696	44%	2942.1
地方都市型	163	187.534	50%	5903	46%	314.8
過疎地域型	127	166.008	45%	1206	9%	72.6

(大都市型、地方都市型、過疎地域型の面積、人口、人口密度)

以下のグラフは、横軸が2010年から40年にかけての0-64歳の人口減少率、縦軸が2010年から40年にかけての75歳以上人口の増減率を、各プロットは、二次医療圏の状況を表す。

下の3つのグラフは、人口規模と人口密度をもとに分けた「過疎地域」、「地方都市」、「大都市」別に、同様のグラフを描いたものである。



大都市型の二次医療圏は、0-64歳の人口減少が少ないかわりに、75歳以上の人口は大幅に増える。逆に、過疎地型の二次医療圏では、75歳以上の人口はほとんど増えないが、0-64歳の人口が大幅に減少する。

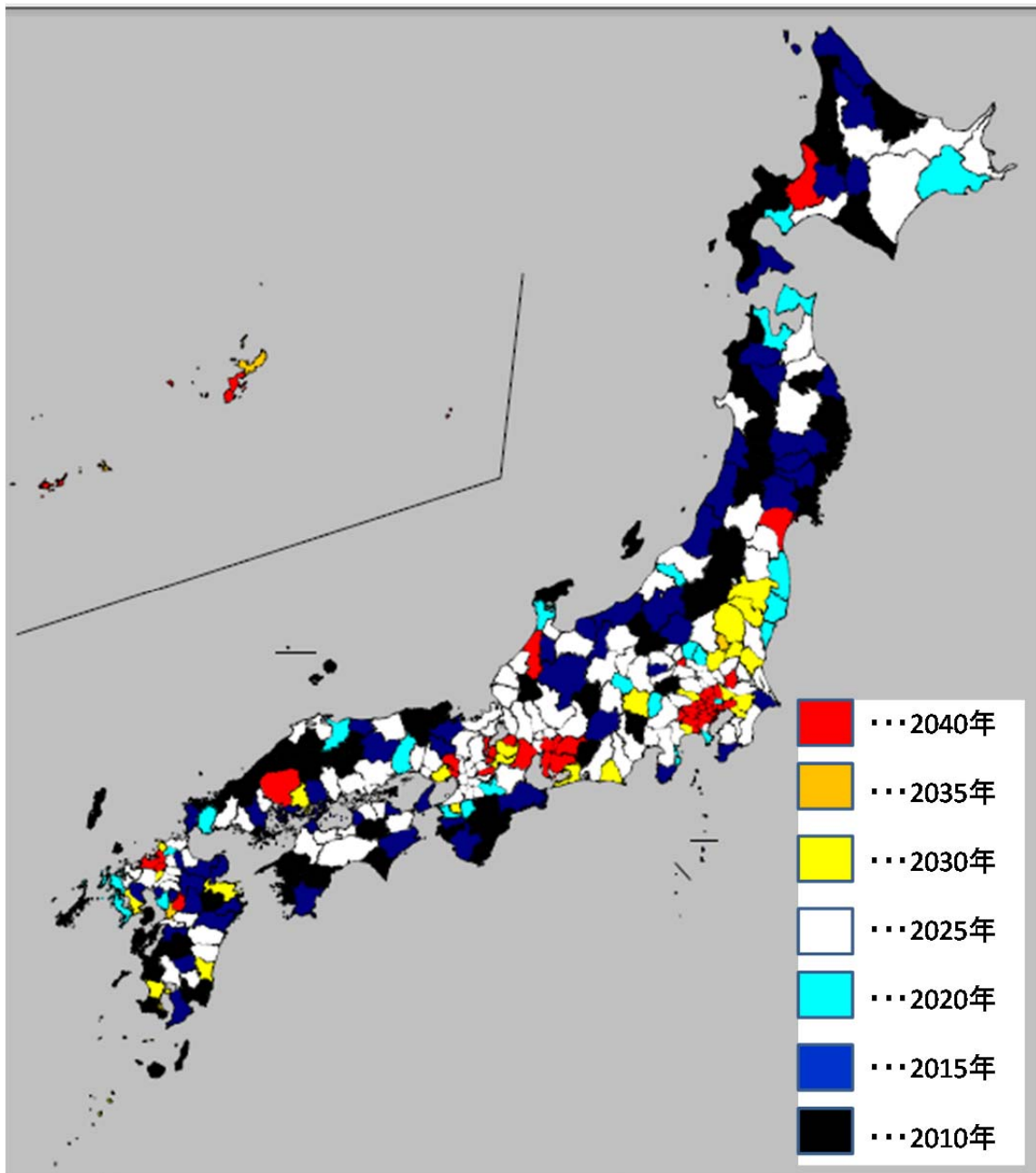
◎人口動態は、地域により大きく異なるが、大都市、地方都市、過疎地域と分けることにより、今後の人口動態の動向をある程度把握できるようになる。

◎我が国の全体の人口の今後の推移を解説した「高齢化社会にまつわる3つの勘違い」(WEDGE 2012年4月号)を、巻末資料1として掲載しておく

II.医療福祉の再構築にむけて

II-①地域により医療需要ピークの時期が大きく異なる

以下の図は、今後も現在と同じ医療が提供される（価格も内容も変化しない）と仮定し、人口構成のみが変化した場合、我が国の医療需要ピークがいつどの時期にくるのかを示したものである。地域により医療需要のピークの時期が大きく異なることが分かる。



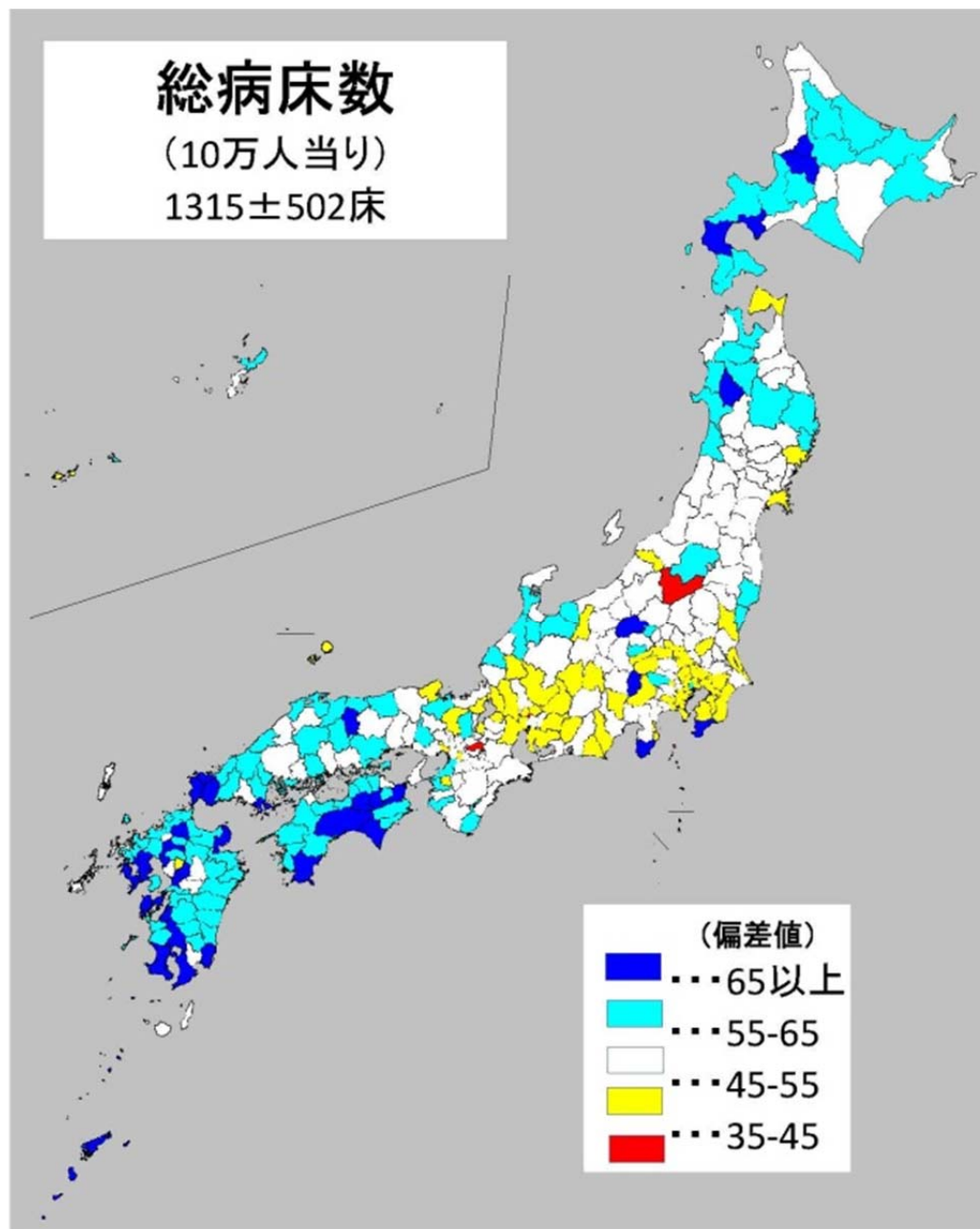
(各二次医療圏の医療需要のピークの時期)

II-②地域により医療福祉資源レベルが大きく異なる

医療資源の地域差は、大きい。以下は、病床数、看護師数、要介護高齢者受け入れ能力の地域差を示す。

(1) 総病床数

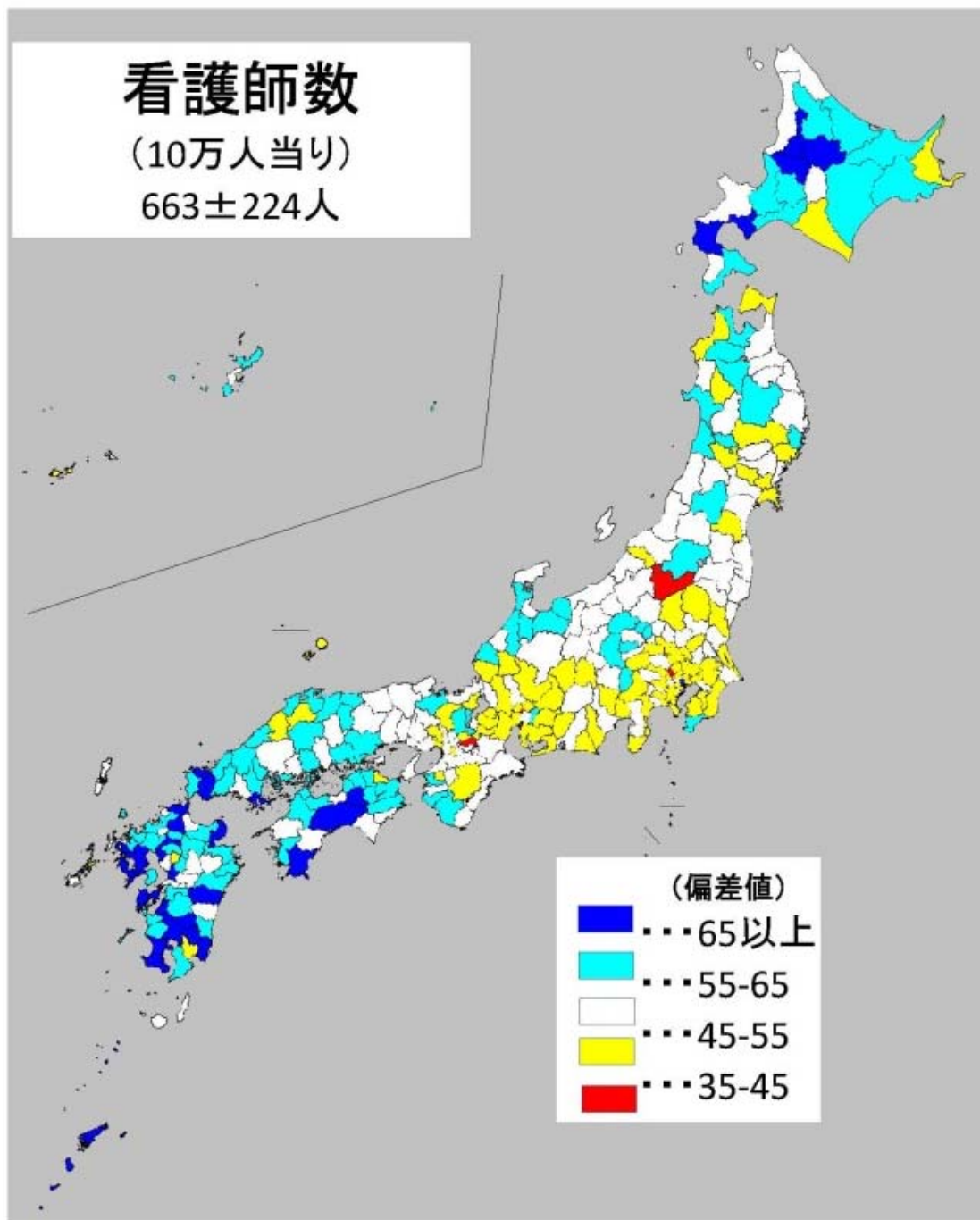
総病床数は、**関東・甲信越・東海が少なく**、**北海道・北部東北・北陸・中国・四国・九州に多く**、大きな地域差が見られる。



(人口当たりの病床数の多寡のレベルを偏差値で表示)
(総病床数) = 一般病床数 + 療養病床数 + 精神病床数 + 結核病床数 + 感染症病床数。
(平成 23 年 10 月 地方厚生局 保険医療機関の指定一覧) 報告を用いて計算

(2) 病院看護師数

病院看護師数は、**関東・甲信越・東海**が少なく、**北海道・北陸・中国・四国・九州**に多く、大きな地域差が見られる。



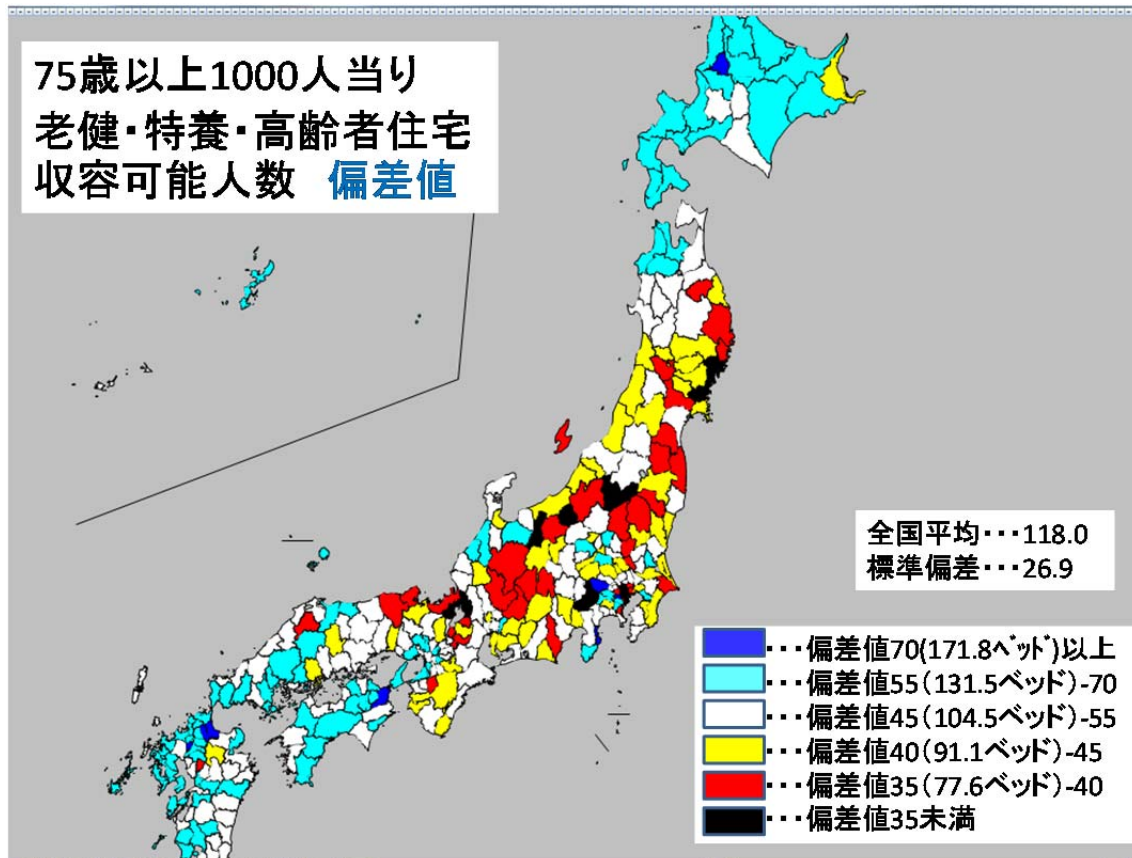
(人口当たりの看護師数の多寡のレベルを偏差値で表示)

病院看護師数は、病院勤務の看護師+准看護師数の和。(平成22年10月1日病院) 報告

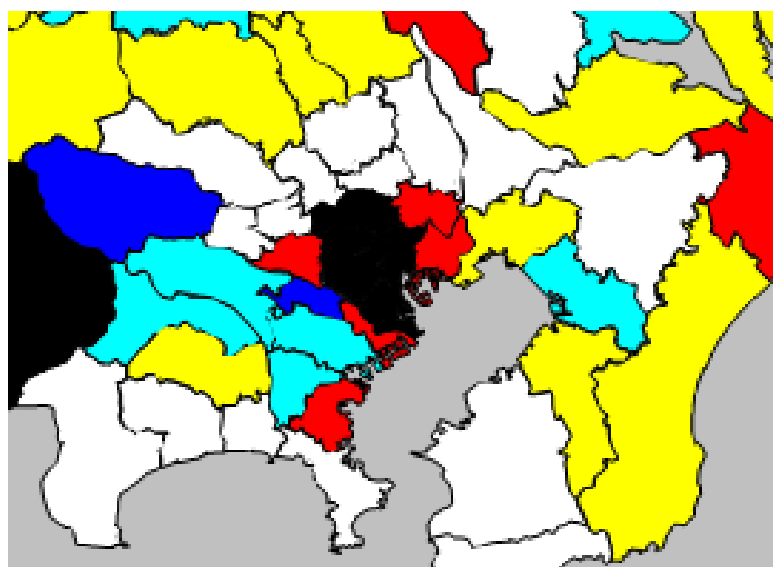
◎医療福祉資源レベルも、地域差が大きい

(3) 老健・特養・高齢者住宅の収容可能人数

老健・特養・高齢者住宅は、東北・関東・甲信越・東海・大阪を除く関西が少なく、北海道・北陸・中国・四国・九州に多く、大きな地域差が見られる。



(75歳以上1000人当り老健・特養・高齢者住宅収容可能人数を偏差値表示)



(東京地区拡大)

◎医療福祉資源レベルも、地域により大きく異なる

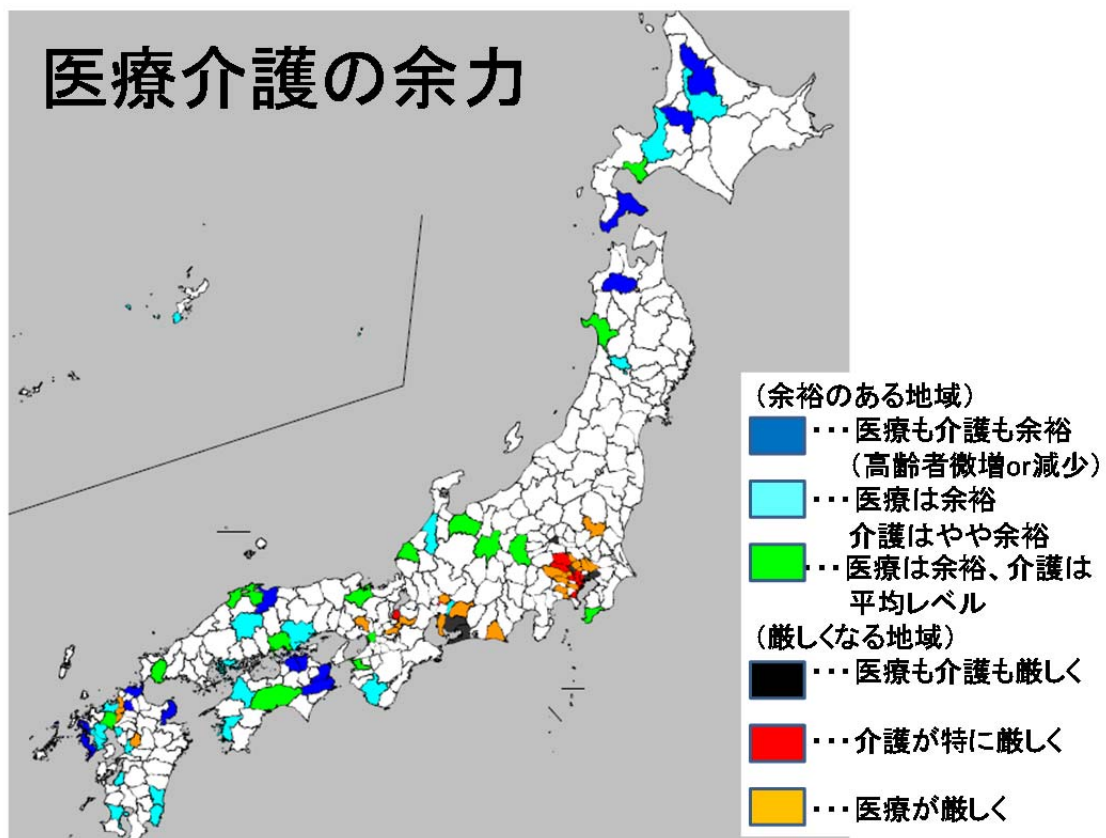
II-③各地域の医療需要ピークや現在の資源レベルを

考慮した医療福祉提供体制の再構築

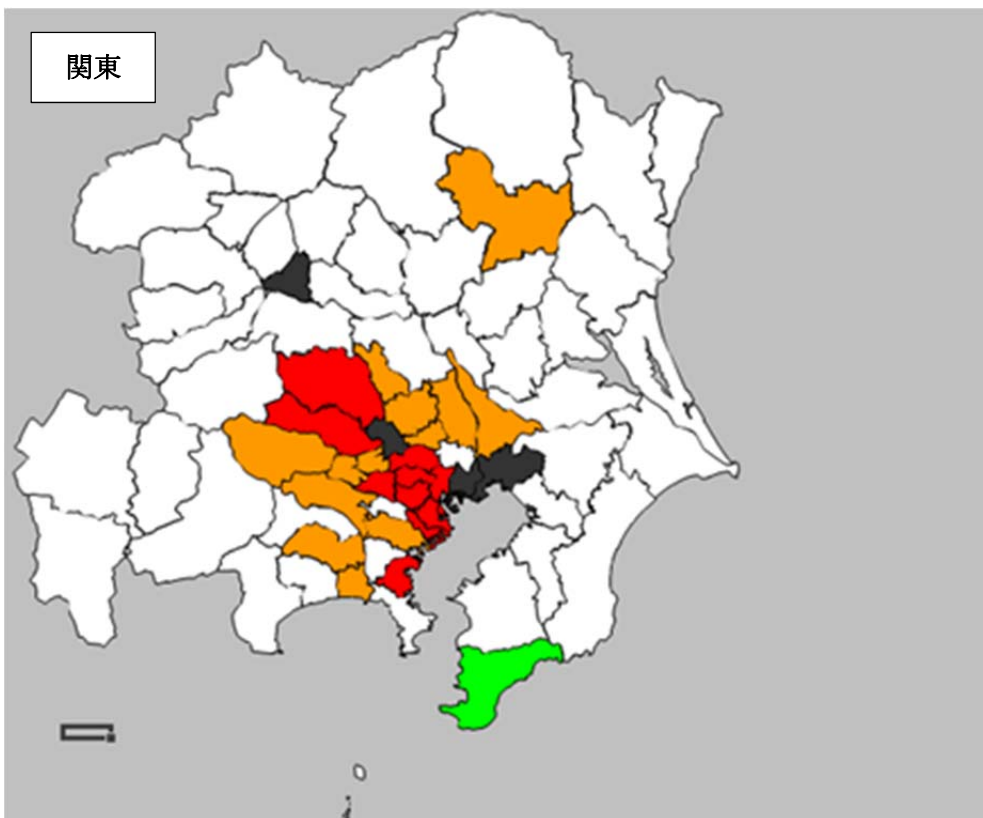
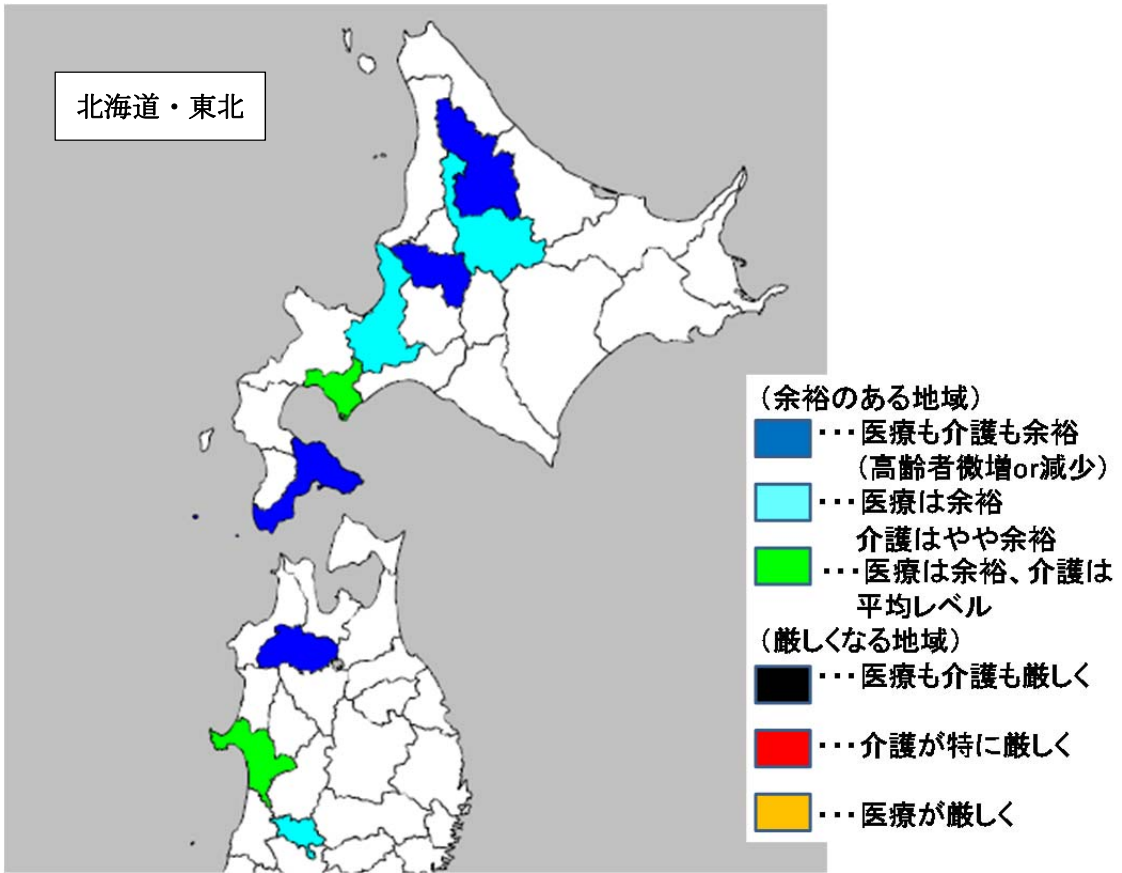
現在の資源量（人口当たり「病院勤務医数」と75歳以上人口1000人当たり「老健・特養・高齢者住宅のベッド数」）と将来の人口動態から予測される医療や介護の需要量より、以下のような考え方に沿って、各地域の医療や介護の余力を評価した。

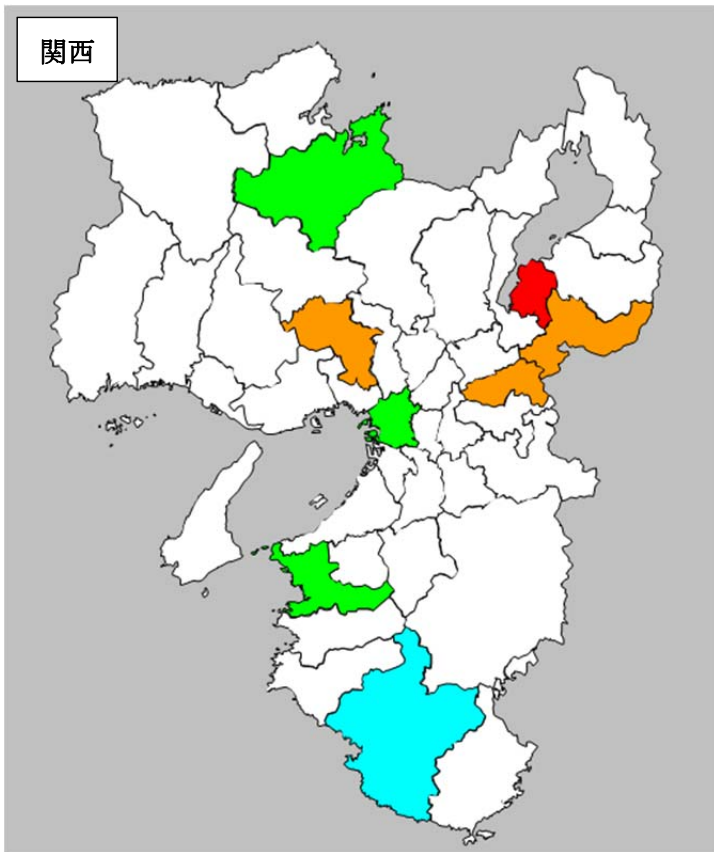
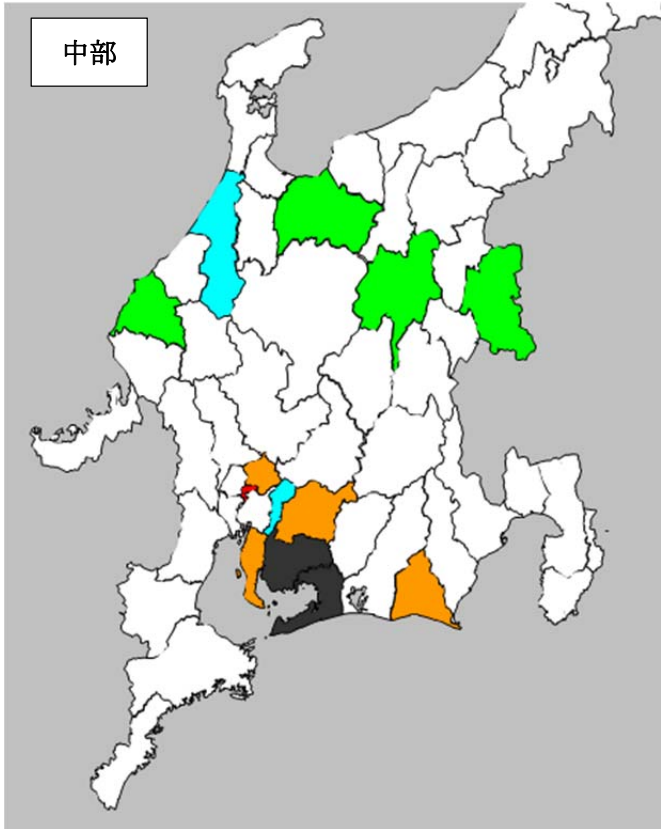
余力有り→現在資源が豊富にあり、人口動態予測より、将来的に需要があまり伸びない、あるいは減少することが予測される場合（地域）

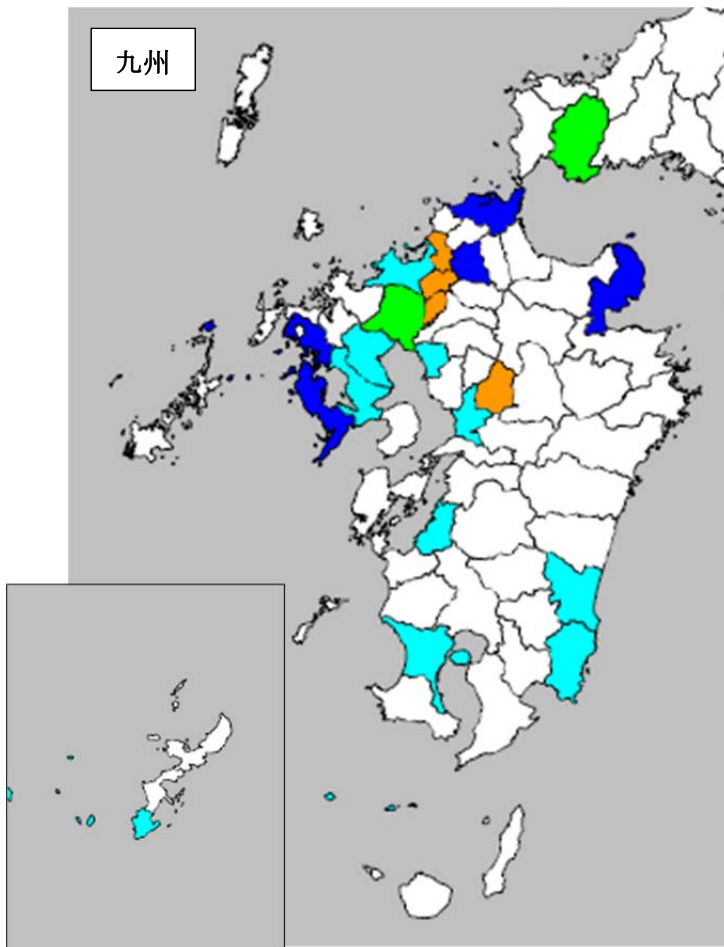
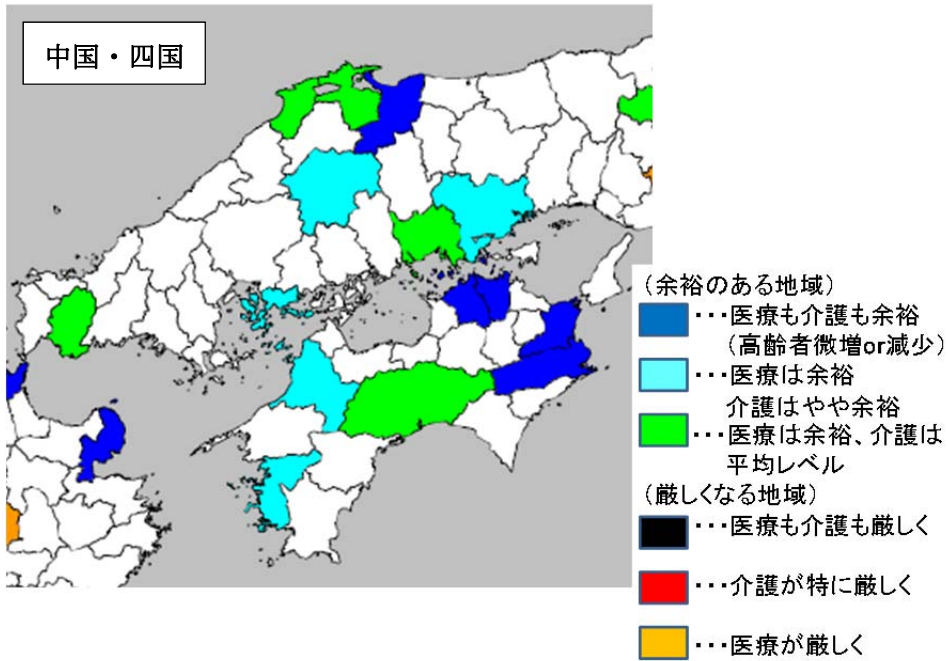
余力なし→現在資源が不足で、人口動態予測より、将来的に需要が大きくなるのが予測される場合（地域）



(現在の資源レベルと需要予測をもとに各地域の将来の医療介護の余力を評価)







◎今回の試算は全て、二次医療圏データベース(巻末資料3)を用いて行った。

◎各二次医療圏の評価は、日医総研ワーキングペーパー(巻末資料4)で行っている。

結語

- 地域により、人口動態が大きく異なり、医療需要のピークの時期や程度も大きく異なる。また施設や人員レベルも地域差が大きい。
- まず、それぞれの地域が大都市型なのか、地方都市型なのか、過疎地域型なのかを把握し、更に他の二次医療圏と比較して、医療需要のピークが来るのが早いか遅いか、施設や人員レベルは充実しているかなど、「自分の地域の特性」を踏まえた対応を検討することが重要である。
- また、これまでのような「短期(5年)の医療福祉整備計画」だけでなく、「20～30年先までの予測を考慮した中長期の医療福祉整備構想」を検討する必要がある。



Point of View

高齢化社会にまつわる 3つの勘違い

これまで世界が経験したことのないスピードで進む日本の高齢化。国民の間には、〝日本中で〝高齢者が増え続けるとの認識がある。だが、現実とは違っていると筆者は言う。

高齢者が急増する社会は間もなく終わりを告げる。現役世代の負担を減らす対応に舵を切るべきときだ。

高橋 泰

(国際医療福祉大学大学院医療経営管理分野分野責任者・教授)

皆が勘違いしている状況は、怖い。戦争、バブル崩壊など、歴史上これまで幾度となく、多くの人々が社会の将来に対して共通の勘違いをした結果、誤った世論が形成され、実情に合わない方向に世の中が進んでいったからである。

我が国が直面している高齢化社会に関しても、実は同じことが言えるのではないか。

以下に日本の高齢化の現状と将来を語った短い文章を示す。この文章を読んで「当たり前の内容」と感じるならば、あなたは日本の高齢化社会の現状と将来に対して大きな勘違いをしている一人である。

また、そう感じる人が多ければ、

国民の多くが共通の勘違いをしているといえる。

「日本では、これまで世界が経験したことのないスピードで高齢化が進んでいる。このまま進行すると現役世代が支えきれなくなってしまうことが明らかなので、現在、税と社会保障の一体改革が議論されている。今後数十年、日本中で高齢者が増え続け、特に高齢化が進んでいる過疎地を中心に、全国共通の問題として早急に対策を進める必要がある」

高齢者が 増えない社会へ

勘違いが潜んでいるのは、「今後数十年、日本中で高齢者が増え続け、

特に高齢化が進んでいる過疎地を中心に、全国共通の問題として早急に対策を進める必要がある」の部分であり、この中に、①「今後数十年、高齢者は増え続ける」②高齢化対策は「過疎地中心」③高齢化を「全国共通の問題」という、少なくとも3つの勘違いが含まれている。

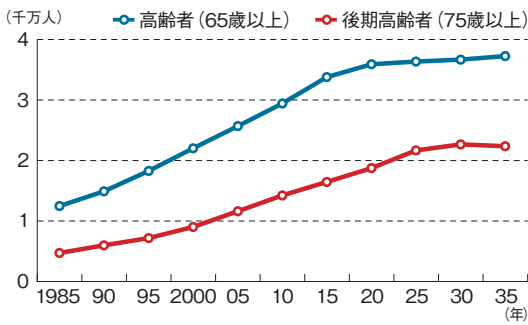
だが、国民の多くが3つの勘違いをしたままだと今後数十年増え続ける高齢者に対応するため、従来通り、全国一律に施設整備を継続すべきという結論に達する可能性がある。そうしなければ冒頭に述べたように、今後進行する高齢化社会の実情に合わない方向に、社会を導く可能性がある。

3つの勘違いのうち①の認識は早



写真・高齢化社会への対応はデータに基づいた冷静な議論が必要だ (提供・時事)

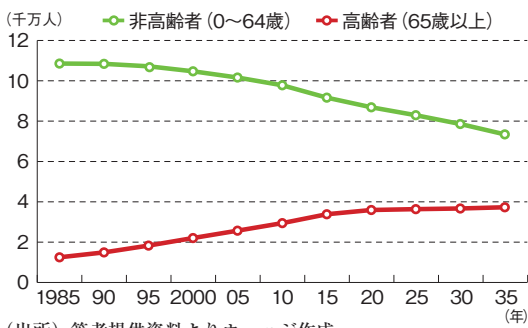
図1 高齢者が「増える」時代は終わる



◎高齢化率ばかり見ていると将来を見誤る

$$\text{高齢化率} = \frac{\text{(65歳以上の人口)}}{\text{(0~64歳の人口) + (65歳以上の人口)}}$$

図2 高齢者は増えなくても高齢化率は上昇する



(出所) 筆者提供資料よりウェッジ作成

急に変わる必要がある。
図1を見てほしい。65歳以上の高齢者(以下、高齢者)は2020年を過ぎるとほとんど増えなくなり、30年過ぎには、75歳以上の後期高齢者(以下、後期高齢者)が減り始めることが分かる。
図2は、年齢層を2つに分けた我が国の人口推移を示す。高齢者は、20年以降、ほとんど増えない。これは、1947~49年生まれの団塊の世代が65歳を超えるため、高齢者数の伸びが止まることに起因している。それでは、なぜ「高齢者は増え続ける」という勘違いしてしまうのだろうか。それは、「高齢化率の上昇＝高齢者数の増加」と思い込んでいるからではないか。

高齢化率は、左に示す式で算出される。これから、65歳以上人口が増加すると高齢化率は上昇するが、0~64歳人口(以下、非高齢者)が減っても、高齢化率が上昇することがわかるだろう。
再び非高齢者の人口推移を示す図2の緑の折れ線に注目してほしい。非高齢者人口は、05年頃から急速に減少し始め、その傾向は今後数十年続く。一方、高齢者人口の伸びは15年以降止まり、高齢化率の分子は大きくならないが、非高齢者人口の減少による分母の縮小は20年以降も続くので、高齢化率はその後も上昇を続ける。今後は、高齢化率は上昇するが、高齢者は増えない。つまり、「高齢化率が上昇＝高齢者も増え続ける」という思い込みは、勘違いなのである。

「高齢者は今後数十年間、増え続ける」という勘違いにより、現在でも多くの企業経営者や自治体の首長は、更なる高齢者施設を建設しようとしている。
しかし、「自分の地域でも高齢化率は上がり続けるが、高齢者が増えるのは、あと5年、後期高齢者が増えるのも、あと10年ちょっと」ということに気付けば、施設の新規建設を思いとどまる場合も多いだろう。

次に、医療・介護の支援が実際に必要となってくる後期高齢者の人口動態を説明する。後期高齢者は95年頃から急速に増え始め、その30年後の25年にかけて700万人から2100万人と、3倍に膨れ上がる。20年で頭打ちになる高齢者人口と比べ、後期高齢者人口が5年後の25年まで増え続ける理由は、12~14年にかけて65歳を超える団塊の世代が、その10年後の22~24年にかけて、後期高齢者になるからである。
一方、30年を過ぎると、後期高齢者数は非常にゆっくりだが、減少し始める。背景には、団塊の世代が75歳を超えると、その後の75歳超えの流入が緩やかになる一方で、死亡者数が急激に増え始めるからである。

20世紀、日本は特に過疎地域の高齢化が都市に先行する形で急速に進み、数年前までの、「高齢化＝過疎地の問題」という見方は正しかった。またこれまで都市部の高齢化の進行がゆっくりしていた影響で、現状ではまだ、地方の方が都市部よりも高齢化率が高い。そのため、現在でも多くの人が「高齢化＝過疎地の問題」という共通の勘違いをしている。

こうした事実を踏まえ、そろそろ社会全体の高齢化対策の方向を、「激増する高齢者への対応」から、「急速に先細る非高齢者世代の負担をできる限り小さくする対応」へと、舵を切り替えなければならぬ時期に差し掛かっているといえよう。
日本は生産年齢人口の減少に直面しているが、世界には生産年齢人口が増えすぎ、若者の失業問題に困っている国も多い。そろそろ我が国も、若者の労働力を輸出したい国からの効果的かつ大量の労働力の受け入れを本気で検討する必要があるだろう。
また、社会に対してできる限り負担をかけないような老い方・死に方を受容する方向で、国民一人一人の意識変革も必要になってくるだろう。

東京・名古屋・大阪に集中する高齢者増

現実には05年頃から都市部の高齢化のスピードが急上昇をはじめ、逆に、地方の高齢化率の伸びが緩やかになってきており、高齢化が過疎地の問題から都市部の問題になりつつあるのだが、未だ多くの人がこの現実を認識していない。

10～25年にかけて、全国では700万人の後期高齢者が増加する。その増加分の50%以上が、日本の国土面積のわずか2%に相当する首都圏、大阪圏、名古屋圏に集中する。

一方、地方では、後期高齢者数の伸びは緩やかになり、後期高齢者人口がこれから減少に転じる地域も少なくない。

日本社会は、今後20年弱の間、爆発的に増加する大都市の後期高齢者の対応に、持てる力を集中せざるを得ない状況にある。緊急を要する大都市の高齢化対策をこれ以上遅らせなくてはならない。

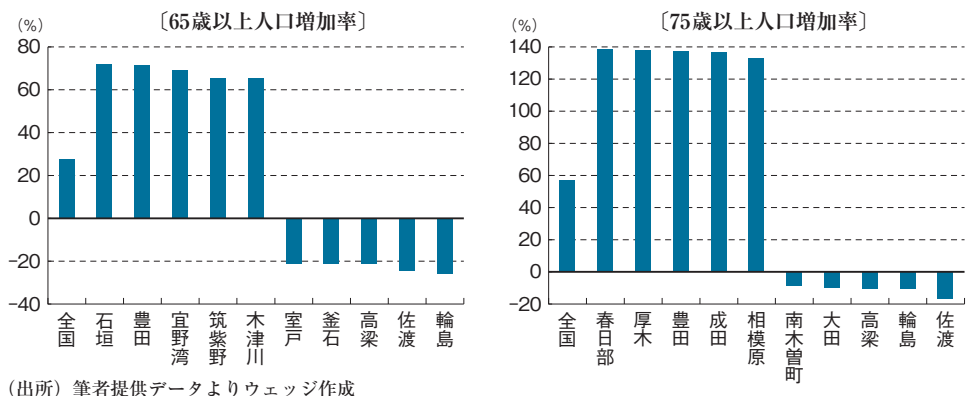
特に東京23区内は、後期高齢者一人当たりの特別養護老人ホームや老人保健施設のベッド数が、現状でも全国平均の半分程度の水準である。加えて、後期高齢者は今後20年間で7割以上の急増が見込まれる。都内に住む後期高齢者は、現在でも施設入所が容易ではないが、今後はますます困難になっていくだろう。東京

高齢者数増減は地域で違いがある

全国的に見れば、10～35年にかけて

の住民が、余力のあるうちにお金を持つて高齢者の受け入れ施設の余裕がある西日本や海外へ引越すことは、有力な老後対策の一つだろう。

図3 各地域の高齢化の進展度 2010年から25年間でこんなに異なる



(出所) 筆者提供データよりウェッジ作成

て日本の総人口は、13%減少すると予測されている。一方、高齢者人口は、2945万人(10年)から3728万人(35年)へと27%も増加し、後期高齢者人口は、1421万人(10年)から2235万人(35年)と、57%も増加する。だが、全国一律ではなく、地域によって人口推移のパターンが驚くほど大きく異なる。

図3を見てほしい。高齢者および後期高齢者の35年時点の人口増減率を地域別に示したものである。石垣(沖縄県)地域は、10年時点の高齢者人口が9242人だが35年には1万5876人になり72%増になることが予測されている。同じく現在比較的小さい地域である豊田(愛知県)、宜野湾(沖縄県)、筑紫野(福岡県)、木津川(京都府)なども66%以上の増加が予測されている。一方、輪島(石川県)、佐渡(新潟県)は、高齢者人口が25%以上、高梁(岡山県)、釜石(岩手県)、室戸(高知県)も20%以上の高齢者人口の減少が予想される。

川県)、豊田(愛知県)、成田(千葉県)なども、後期高齢者が25年間で130%以上増加すると予想される。一方、佐渡(新潟県)、輪島(石川県)、高梁(岡山県)、大田(島根県)は、いずれも10%以上減少することが、予測されている。

図3が示すように、高齢化を「全国一律」の問題と考えるというのは勘違いである。国がこの認識に基づき、高齢化対策を全国一律に進め、地方もそれを受け入れようとする傾向がある。その結果、施設建設が困難な大都市の高齢者増に適した「在宅ケア推進」という政策が、地域性をあまり考慮せず、全国一律に施行され、人口密度の低い地域では、採算割れにより在宅ケアが継続できなくなる事業所が続出するなどの問題が起きる可能性が高い。

今後は、高齢化を「地域固有」の問題として捉え、都市には都市の、過疎地には過疎地の人口動態や人口密度に応じた対策を早急に用意すべきである。時間は待ってられない。

後期高齢者の増減の地域差は、さらに大きい。

例えば春日部(埼玉県)地域では、10年時点の後期高齢者が8万2978人だが、35年には19万7904人と139%も増加する。厚木(神奈

〔たかはし・たい〕1959年生まれ。金沢大学医学部、東大病院研修医、東京大学医学系大学院(医学博士)、米国スタンフォード大学アジア太平洋研究所客員研究員、ハーバード大学公衆衛生校武見フェローを経て、97年より国際医療福祉大学教授、2009年より現職。

巻末資料2 医療需要ピークの計算方法

以下の表に示す医療費は、平成22年度の国民医療費に示された年齢階級別医療診療医療費の額である。この総額を、2010年の国勢調査の年齢階級別人口で割ることにより、各階層一人当たりが、1年間でどの程度医療費を使うかが計算できる。

	2010年	2010年	2010年	
	人口 (人)	医療費 (億円)	1人医療費 (千円)	比率
65歳未満	98,811,667	116,531	117.9	1
65-75歳	15,173,475	60,319	397.5	3.4
75歳以上	14,072,210	95,378	677.8	5.7
全体	128,057,352	272,228	212.6	1.8

65歳医療費を1とすると、65-74歳医療費は3.4に、75歳以上は5.7になる。

医療需要点数は、

$$= (0-64歳人口) + 3.4 \times (65-74歳人口) + 5.7 \times (75歳以上人口)$$

で、算出する点数であり、今後各年代が現在と同じ比率で医療費を消費するという仮定に基づき、人口の推移につれて医療需要がどのように変化するのかを計算するために用いる。各年の医療点数を計算し、その点数のピークとなる時期や、2010年と比較して何%、医療点数が増減したかを計算する。

巻末資料 3：二次医療圏データベースとは

全国レベルの目標を意識しながら各地域の進むべき方向性を示すには、まず全国の地域の医療提供体制を同じ物指しで測定して、全国の二次医療圏の医療福祉の提供量を全国平均を偏差値50とする偏差値で表現する必要がある。筆者は2010年頃より、各地域の人口動態から、各地域の医療福祉の整備体制の進むべき方向性を明らかにしたいと考え、必要なデータベースを探したが、この目的に沿うようなデータベースは存在しなかった。

そこで筆者と石川雅俊（当時、国際医療福祉大学大学院博士課程）と株式会社ウェルネスの3者が、二次医療圏データベースを共同で開発した。二次医療圏データベースとは、「医療・福祉資源情報」と「二次医療圏ごとの地理データ（年齢階級別人口、面積など）」を組み合わせマイクロソフト・エクセル上で展開したデータベースである。二次医療圏データベースは2011年1月10日よりWeb上で公開、その後3回のバージョンアップを行い、現在はバージョン4である。また、国立社会保障・人口問題研究所が2013年3月Ⅱ発表した市区町村別将来推計人口（平成25年3月推計）のデータや、2012年秋から2013年3月中に行われた二次医療圏の組み換えに対応したバージョン5を、2013年6月に公開予定である。以下のアドレス（<http://www.wellness.co.jp/siteoperation/msd/>）から無償でダウンロードすることができる。是非、データを参照したり、活用されたりすることを強くお勧めする。

以下に、二次医療圏データベース(ver.4)の中心的な役割を果たす「巧見（たくみ）くん」というシートの内容を示す。各二次医療圏の病床情報、病院勤務医数、看護師やセラピストの数、病院や施設や高齢者住宅数に関する情報、人口、人口密度、面積、年齢階級別の2010年から35年までの5年ごとの人口推計データが示されている。

二次医療圏	色指定	二次医療圏略称	市町村概要	病院数	病床数
全国				8,658	1,672,549
南渡島		函館(北海道)	函館市、北斗市及び周辺部	38	8,140

一般病床数	療養病床数	精神病床数	結核病床数	回復期病床数	感染病床数	病院勤務医数	看護師	准看護師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士
915,096	333,717	349,345	10,872	61,697	1,822	157,166	682,604	161,126	47,541	30,795	9,663
4,467	1,372	1,893	80	322	6	539	2,984.2	1,027.4	176	119	58

DPC対象病院	大学病院	救急救命センター	地域医療支援病院	がん診療拠点病院	周産期母子医療センター	総合入院加算	老人保健施設収容数	特別養護老人ホーム収容数	高齢者住宅数			
									有料老人ホーム	グループホーム	高齢者住宅計	その他計
1,333	163	203	298	377	337	202	308,426	396,267	235,778	157,413	76,102	170,849
6	0	1	1	2	2	1	1,394	1,423	841	1,015	386	989

人口	人口密度	面積	2010年(総人口)	2015年(総人口)	2020年(総人口)	2025年(総人口)	2030年(総人口)	2035年(総人口)	2010年(65歳以上人口)	2015年(65歳以上人口)
127,176,445	344.4	369,271	127,176,445	125,430,199	122,734,999	119,269,818	115,223,669	110,679,388	29,405,117	33,773,129
404	151.2	2,670	403,764	383,791	361,192	337,002	312,070	286,853	109,396	121,437

巻末資料4：日医総研のワーキングペーパーへのアクセス方法

二次医療圏データベースをもとに都道府県ごとに医療資源の偏りなどを分析したレポートは日本医師会総合政策研究機構（日医総研）のホームページで公開されている。ぜひ、地域の医療計画の策定などに役立ててほしい。

検索エンジンに、「日医総研」と入力

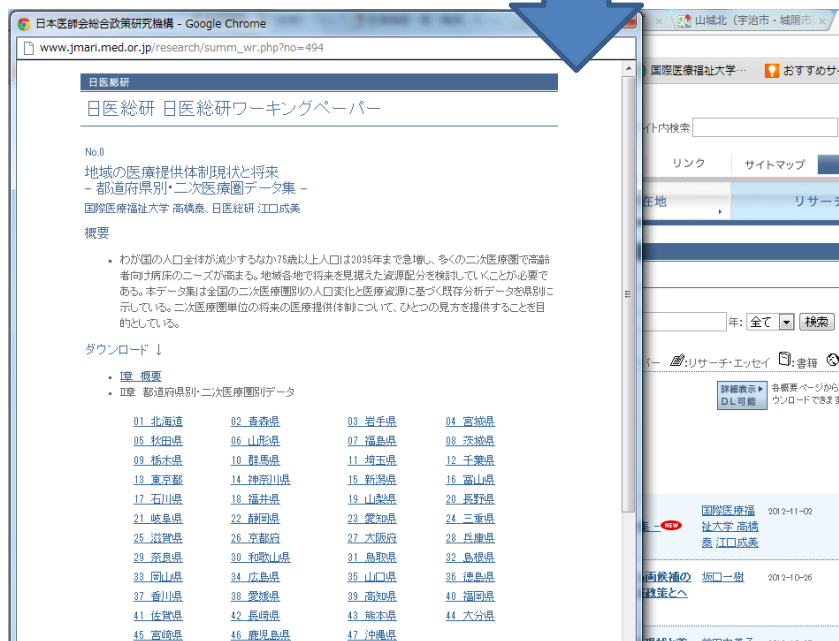


日本医師会総合政策研究機構をクリック



リサーチをクリック

(地域の医療提供体制現状と将来
—都道府県別・二次医療圏データ集)
をクリック



(必要とする都道府県をクリックすると、PDF ファイルをダウンロードすることができる)

順天堂大学
保健医療学研究科
「理学療法学専攻」「診療放射線学専攻」
設置に関する採用意向調査
結果報告書

2022年2月

丸善雄松堂株式会社

<u>I. 調査概要</u>	<u>… P 1</u>
<u>II. 調査結果まとめ</u>	<u>… P 4</u>
1. 回答者所属施設プロフィール	… P 5
2. 順天堂大学大学院「保健医療学研究科」評価	… P 6
<u>III. 調査結果</u>	<u>… P 8</u>
1. 回答者所属施設プロフィール	… P 9
2. 順天堂大学大学院「保健医療学研究科」評価	… P 11
<u>巻末資料 1 : 調査票</u>	<u>… P 18</u>
<u>巻末資料 2 : 説明資料</u>	<u>… P 23</u>
<u>巻末資料 3 : 調査対象</u>	<u>… P 27</u>

I. 調查概要

調査概要 (1/2)

【1】調査目的

2023年4月に開設を予定している順天堂大学の保健医療学研究科「理学療法学専攻」「診療放射線学専攻」に関して、採用意向を把握するため。

【2】調査概要

調査対象	リハビリテーション室（科）の技士長（科長）、および 病院の放射線部（科・室）の技師長（科長・室長）
調査方法	郵送調査
調査地域	理学療法士施設（東京、神奈川、埼玉、千葉、茨城、静岡） 診療放射線技師施設（東京・神奈川・埼玉・千葉・栃木・静岡）
配布数	252部（理学療法士所属199施設、診療放射線技師所属53施設）
有効回答数	190件（うち、「理学療法技士長」145件、「放射線技師長」45件）
回収率	75.4%（「理学療法技士長」72.9%、「放射線技師長」84.9%）
調査時期	2021年12月15日（水）～2022年1月14日（金）
調査実施機関	丸善雄松堂株式会社

【3】調査項目

- 施設の業種
- 施設の所在地
- 「理学療法士/診療放射線技師」常勤の人数
- 「理学療法士/診療放射線技師」大学院修了者数
- 順天堂大学が設置する大学院が保健医療福祉の発展と向上に有益だと思うか
- 順天堂大学が設置する大学院への進学推奨意向
- 社会人の進学も想定していることへの評価
- 職務と進学に関する意向
- 大学院への進学を考えている医療職（理学療法士/診療放射線技師）の有無
- 大学院への進学を勧めたい人数
- 大学院への進学を希望する人数
- 順天堂大学大学院修了者の採用意向
- 採用したい人数
- 「理学療法士/診療放射線技師」で採用したい人数
- 大学院（修士課程）設置に関する意見・要望等（FA）

Ⅱ. 調査結果まとめ

1. 回答者所属施設プロフィール

<p style="text-align: center;">属性</p>	<p><理学療法士></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 回答者が所属している施設の業種は、「病院」が93.8%を占めている。 ● 施設の所在地は、「東京都内 (23区内)」が最も多く35.2%。次いで「埼玉県」が18.6%で続く。23区内・外を合わせた「東京都」の割合は46.2%で、半数弱を占める。首都圏 (1都3県) の括りで見ると94.4%を占めた。 <p><診療放射線技師></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 回答者が所属している施設の業種は、すべて「病院」。 ● 施設の所在地は、「東京都内 (23区内)」が最も多く53.3%。次いで「東京都内 (23区外)」が13.3%で続く。23区内・外を合わせた「東京都」の割合は66.6%で、7割弱を占める。首都圏 (1都3県) の括りで見ると93.3%を占めた。
<p style="text-align: center;">常勤の 専門職者数</p>	<p><理学療法士></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 施設に常勤でいる理学療法士の数は、「1～19人」が最も多く42.8%。次いで「20～39人」が25.5%で続く。39人以下の施設が7割弱を占めている。 <p><診療放射線技師></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 施設に常勤でいる診療放射線技師の数は、「20～39人」が最も多く33.3%。次いで「40～59人」が24.4%で続く。20～59人以下の施設が6割弱を占めている。
<p style="text-align: center;">専門職の 大学院修了者数</p>	<p><理学療法士></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 施設に常勤でいる理学療法士で大学院修了者数が「0人」なのは、41.4%。なので、6割弱の施設で大学院修了者が1人以上いる。 ● 具体的な人数としては、「1人」が最も多く22.8%、次いで「2人」が14.5%で続く。 <p><診療放射線技師></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 施設に常勤でいる診療放射線技師で大学院修了者数が「0人」なのは、11.1%。なので、9割弱の施設で大学院修了者が1人以上いる。 ● 具体的な人数としては、「3人」「5～9人」がそれぞれ2割で上位。次いで「2人」が17.8%で続く。

2. 順天堂大学大学院「保健医療学研究科」評価

<p>保健医療福祉の 発展と向上への 有益性</p>	<p><理学療法士></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 97.3%が、「順天堂大学が大学院を設置することは、これからの保健医療福祉の発展と向上に有益(※)」と思っている。「非常に有益だと思う」は47.6%。 <p><診療放射線技師></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 回答者全員 (100%)が、「順天堂大学が大学院を設置することは、これからの保健医療福祉の発展と向上に有益(※)」と思っている。「非常に有益だと思う」は37.8%。 <p>(※)「非常に有益だと思う」+「有益だと思う」の合計</p>
<p>進学推奨意向</p>	<p><理学療法士></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 51.8%が、順天堂大学が設置する大学院への進学を「勧めたい(※)」と思っている。「積極的に勧めたい」は22.8%。 <p><診療放射線技師></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 55.6%が、順天堂大学が設置する大学院への進学を「勧めたい(※)」と思っている。「積極的に勧めたい」は17.8%。 <p>(※)「積極的に勧めたい」+「勧めたい」の合計</p>
<p>社会人の進学も 想定していること への評価</p>	<p><理学療法士></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 91.0%が、社会人の進学も想定していることを「良いと思う」と評価。 <p><診療放射線技師></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 93.3%が、社会人の進学も想定していることを「良いと思う」と評価。
<p>職務と進学に 関する意向</p>	<p><理学療法士></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「現在の専門職に在籍のまま、進学を勧めたい」が最も高く、50.3%。次いで「進学は勧めるが、本人の意志に任せている」が29.0%で続く。 <p><診療放射線技師></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「現在の専門職に在籍のまま、進学を勧めたい」が最も高く、68.9%。次いで「進学は勧めるが、本人の意志に任せている」が26.7%で続く。「進学を勧めることは考えていない」は0%。
<p>進学を考えて いる人の有無</p>	<p><理学療法士></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 約7割の施設が、進学を考えている人の有無を把握している。進学を考えている人が「いる」と回答したのは44.8%。 <p><診療放射線技師></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 5割強の施設が、進学を考えている人の有無を把握している。進学を考えている人が「いる」と回答したのは24.4%。

2. 順天堂大学大学院「保健医療学研究科」評価

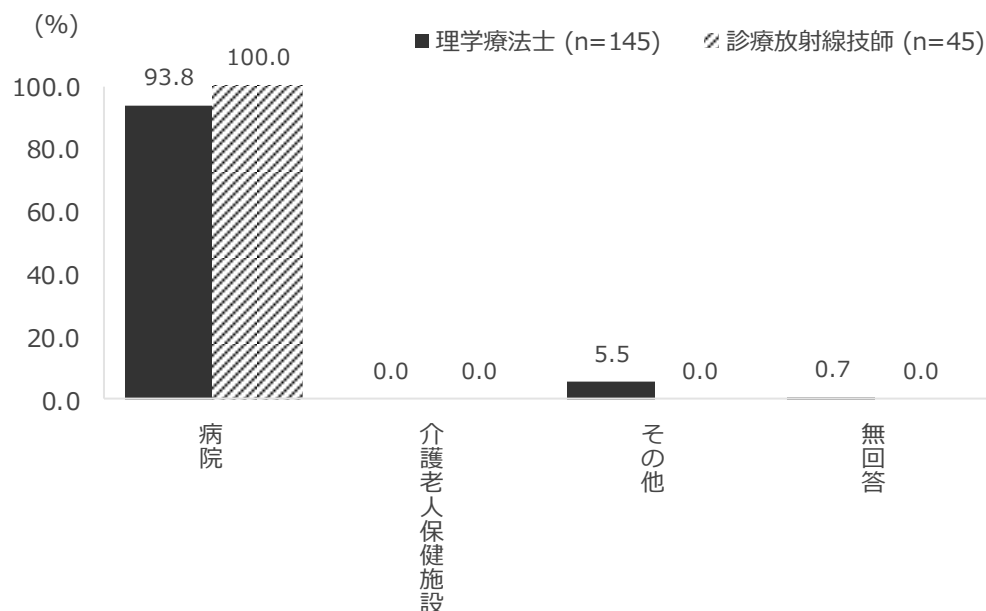
<p>大学院への進学を勧めたい人数</p> <p>※集計ベース： 進学を考えている 医療職がいる</p>	<p><理学療法士></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大学院への進学を勧めたい人数は、「2人」が最も多く21.5%。次いで「1人」が16.9%、「3人」が15.4%で続く。「1～3人」で53.8%を占めている。 <p><診療放射線技師></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大学院への進学を勧めたい人数は、「1人」「2人」がそれぞれ18.2%で上位。（※n=11）
<p>大学院への進学を希望する人数</p> <p>※集計ベース： 進学を考えている 医療職がいる</p>	<p><理学療法士></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大学院への進学を希望する人数は、「1人」が最も多く46.2%。次いで「2人」が26.2%で続く。「1～2人」で72.4%を占めている。 <p><診療放射線技師></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大学院への進学を希望する人数は、「1人」が最も多く45.5%。次いで「3人」が27.3%で続く。（※n=11）
<p>順天堂大学大学院修了者の採用意向</p>	<p><理学療法士></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 52.4%が採用意向（※）を持つ。「採用したい」は、26.9%。 <p><診療放射線技師></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 37.8%が採用意向（※）を持つ。「採用したい」は、22.2%。 <p>（※）「採用したい」+「採用を検討したい」の合計</p>
<p>採用したい人数</p> <p>※集計ベース： 採用意向あり</p>	<p><理学療法士></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 順天堂大学大学院修了者の採用したい人数は、「1人」が最も多く23.7%。次いで「2人」が22.4%で続く。（※43.4%は無回答） <p><診療放射線技師></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 順天堂大学大学院修了者の採用したい人数は、「1人」が最も多く23.5%。次いで「2人」が11.8%で続く。（※47.1%は無回答）
<p>理学療法士/ 診療放射線技師 で採用したい 人数</p> <p>※集計ベース： 採用意向あり</p>	<p><理学療法士></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 理学療法士として採用したい順天堂大学大学院修了者の人数は、「1人」が最も多く23.7%。次いで「2人」が21.1%で続く。（※44.7%は無回答） ● 各回答の件数と採用したい人数を掛け合わせて具体的な想定採用人数を算出してみると85人となり、入学定員5名の17倍となっている。意向が強い「採用したい」と回答した層に絞っても47人となり、入学定員の9倍以上となっている。 <p><診療放射線技師></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 診療放射線技師として採用したい順天堂大学大学院修了者の人数は、「1人」が最も多く23.5%。次いで「2人」が17.6%で続く。（※41.2%は無回答） ● 各回答の件数と採用したい人数を掛け合わせて具体的な想定採用人数を算出してみると22人となり、入学定員5名の4倍以上となっている。意向が強い「採用したい」と回答した層に絞っても10人となり、入学定員の2倍となっている。

Ⅲ. 調查結果

1. 回答者所属施設プロフィール

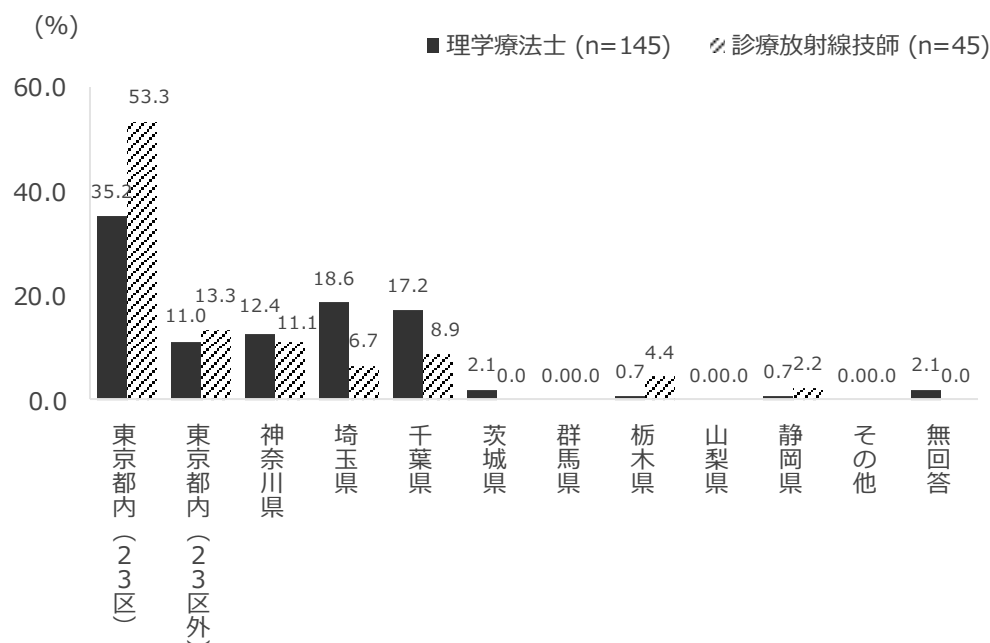
【1】業種

I-問1. 貴施設の業種について、当てはまる番号に○を記して下さい。



【2】施設の所在地

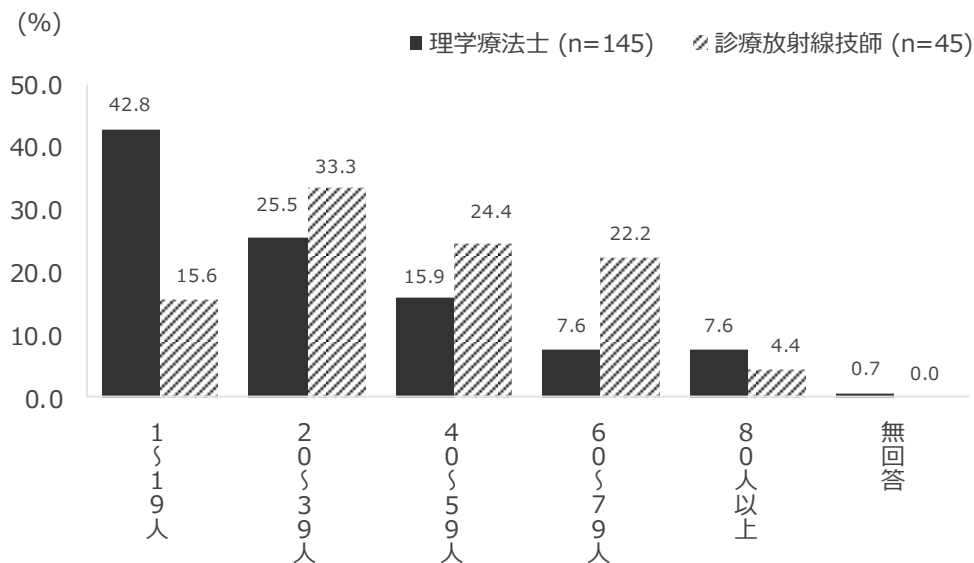
I-問2. 貴施設の所在地について、当てはまる番号に○を記して下さい。



1. 回答者所属施設プロフィール

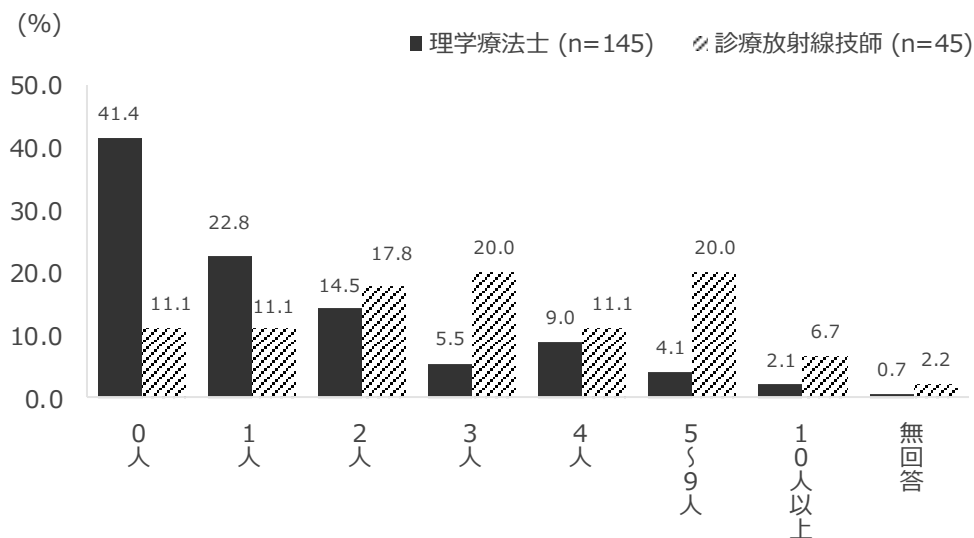
【3】常勤の人数

I-問3. 貴施設に従事する常勤の専門職者数



【4】専門職の大学院修了者数

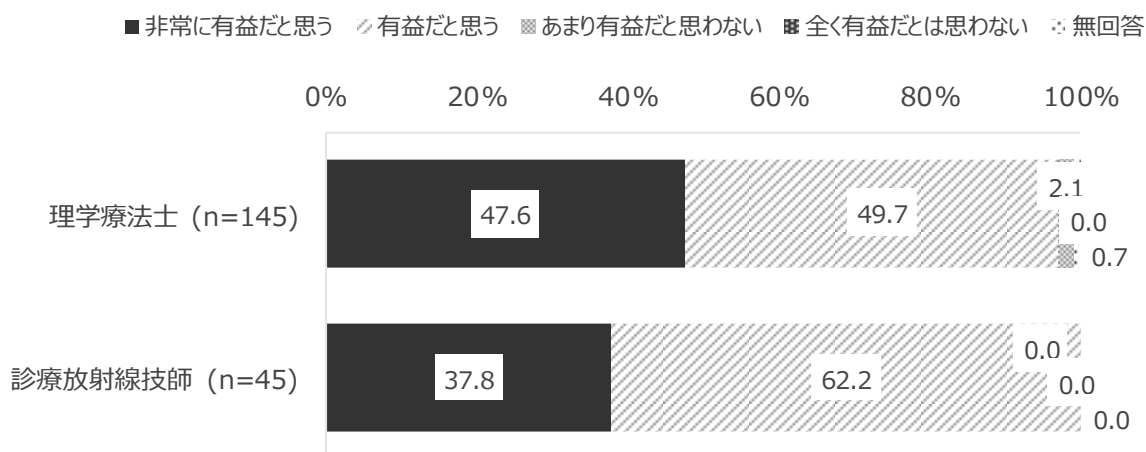
I-問4. 貴施設に従事する専門職のうち、大学院修了者数



2. 順天堂大学大学院「保健医療学研究科」評価

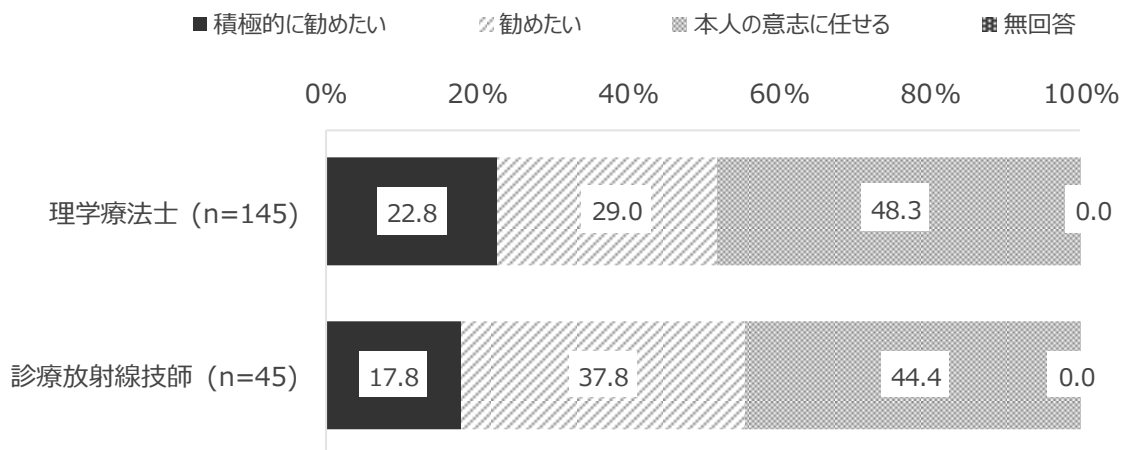
【1】保健医療福祉の発展と向上への有益性

Ⅱ-問1. 順天堂大学が大学院を設置することは、これからの保健医療福祉の発展と向上に有益だと思いますか？



【2】順天堂大学大学院保健医療学研究科への進学推奨意向

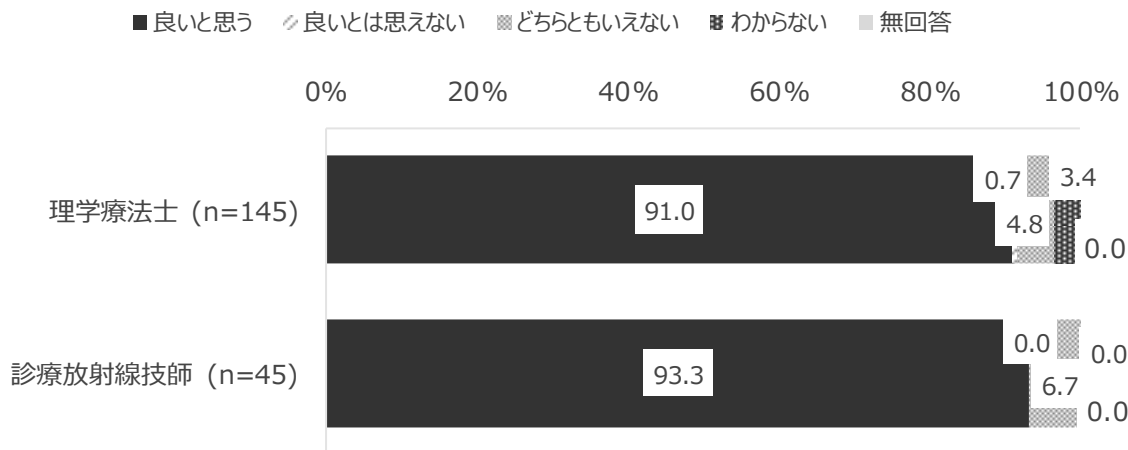
Ⅱ-問2. 大学院に進学する適当な人材がいる場合、本学に設置する大学院への進学を勧めたいと思いますか？



2. 順天堂大学大学院「保健医療学研究科」評価

【3】社会人の進学も想定していることへの評価

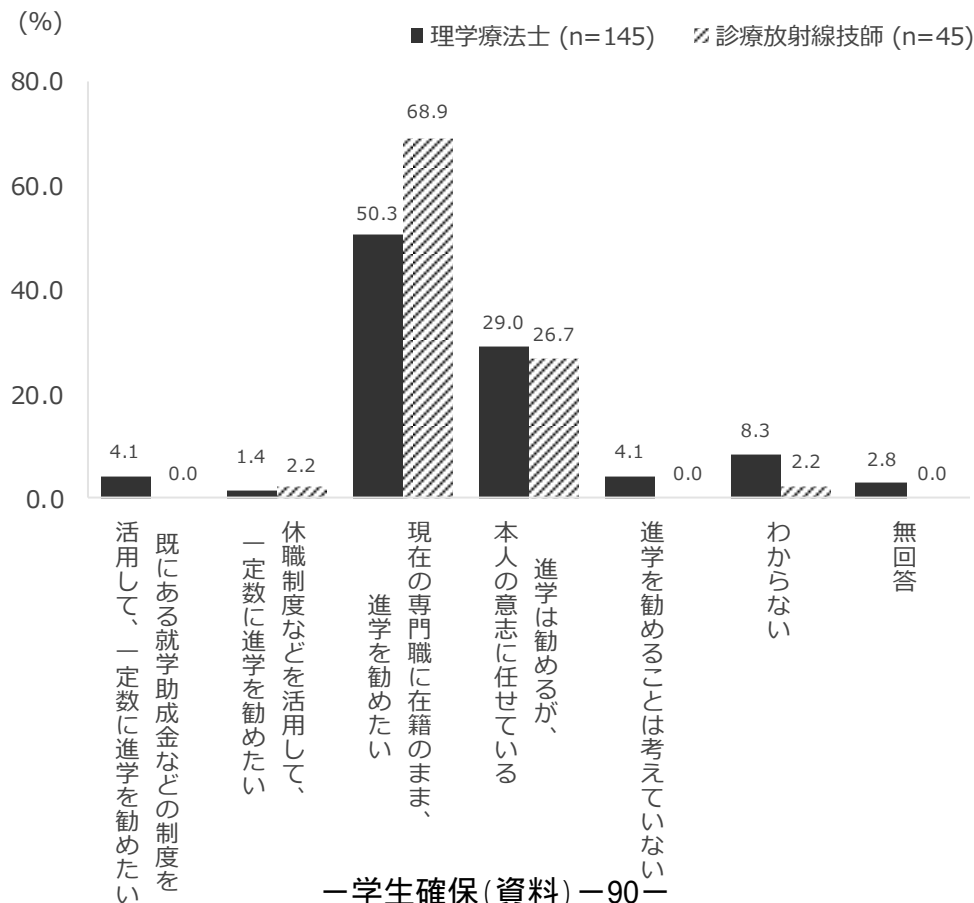
Ⅱ-問3. 順天堂大学が構想している大学院では、社会人の進学も想定していますが、どのようにお考えになりますでしょうか。



【4】職務と進学に関する意向

Ⅱ-問4. 順天堂大学が構想する大学院で学ぶことを、貴施設の専門職者が希望する場合、どのようにお考えになりますでしょうか。

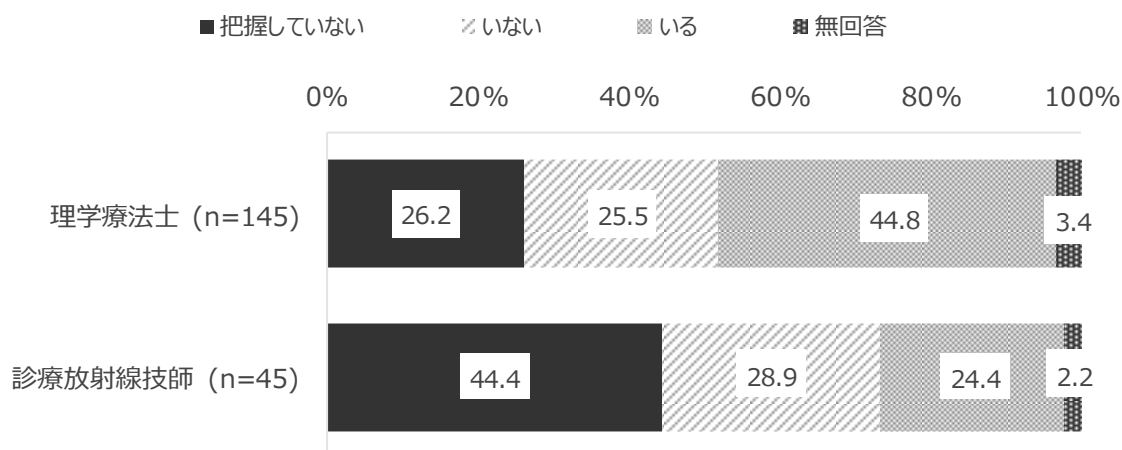
(1) 職務と進学に関するご意向について



2. 順天堂大学大学院「保健医療学研究科」評価

【5】進学を考えている人の有無

(2) 現在、大学院への進学を考えている医療職（理学療法士/診療放射線技師）はいますか。

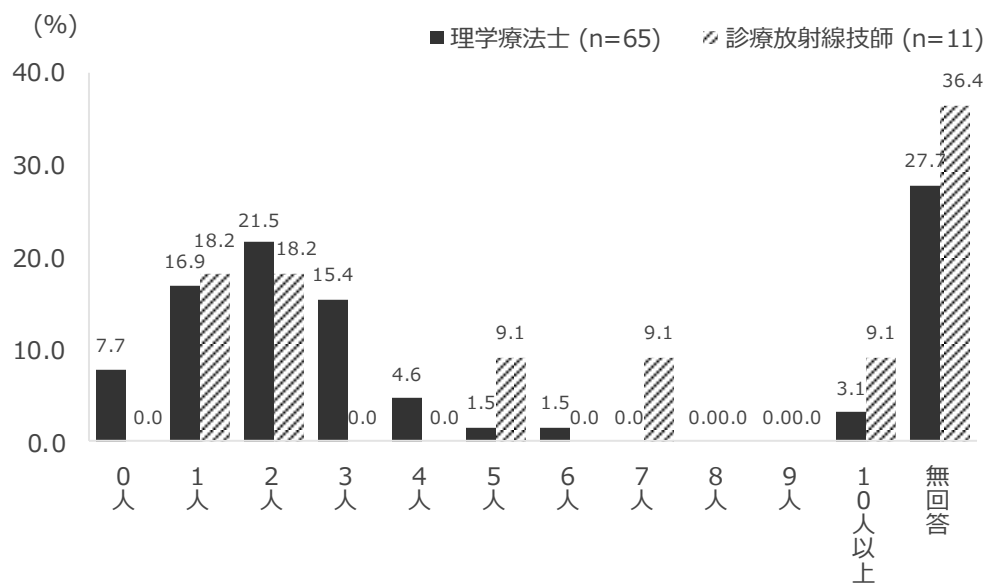


2. 順天堂大学大学院「保健医療学研究科」評価

【6】大学院への進学を勧めたい人数

(2) 現在、大学院への進学を考えている医療職（理学療法士/診療放射線技師）はいますか。

○現在、大学院への進学を勧めたい人の数

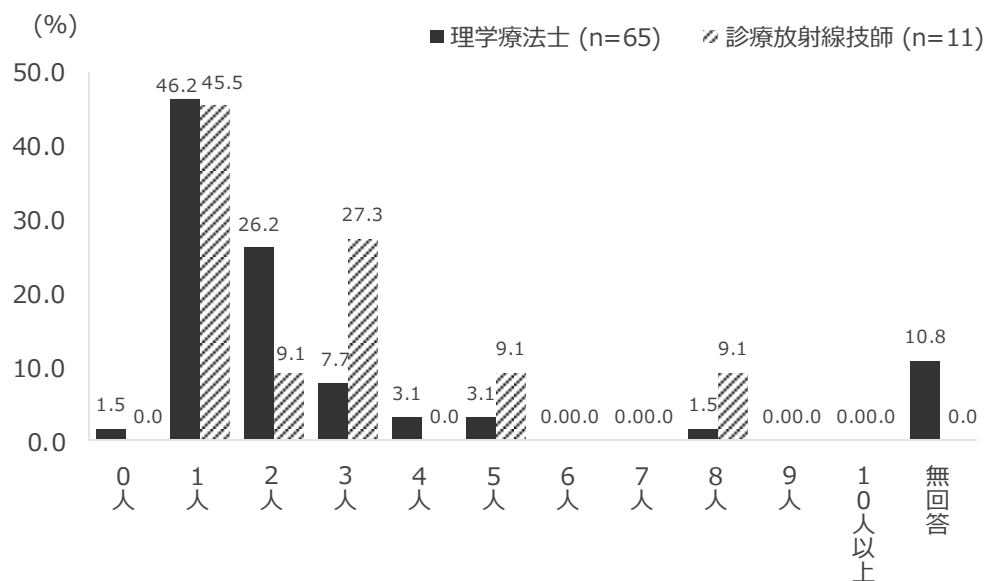


※ベース：大学院への進学を考えている医療職がいる (II_Q4_2=3)

【7】大学院への進学を希望する人数

(2) 現在、大学院への進学を考えている医療職（理学療法士/診療放射線技師）はいますか。

○現在、大学院への進学を希望する人の数

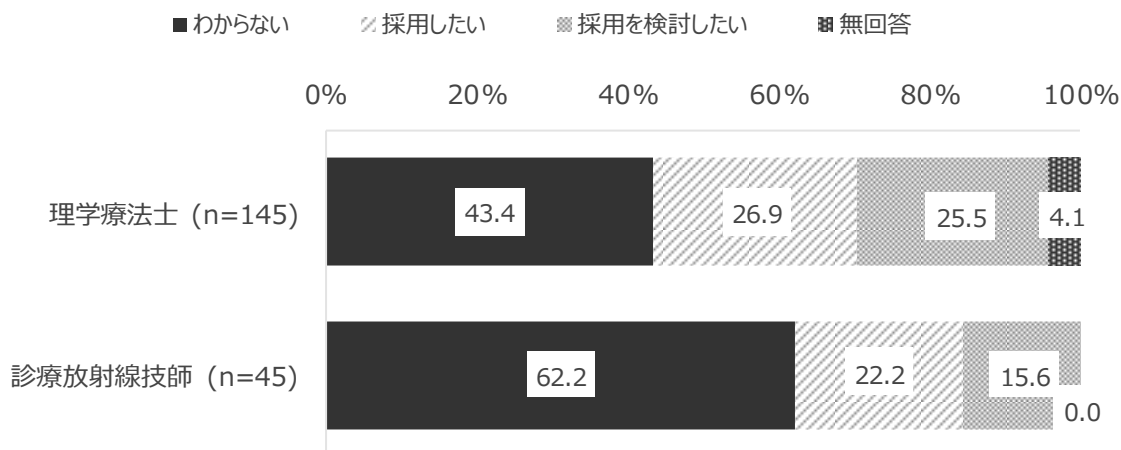


※ベース：大学院への進学を考えている医療職がいる (II_Q4_2=3)

2. 順天堂大学大学院「保健医療学研究科」評価

【8】順天堂大学大学院修了者の採用意向

Ⅱ-問5. 貴施設において、今後、順天堂大学大学院修了者を採用したいと思いますか。

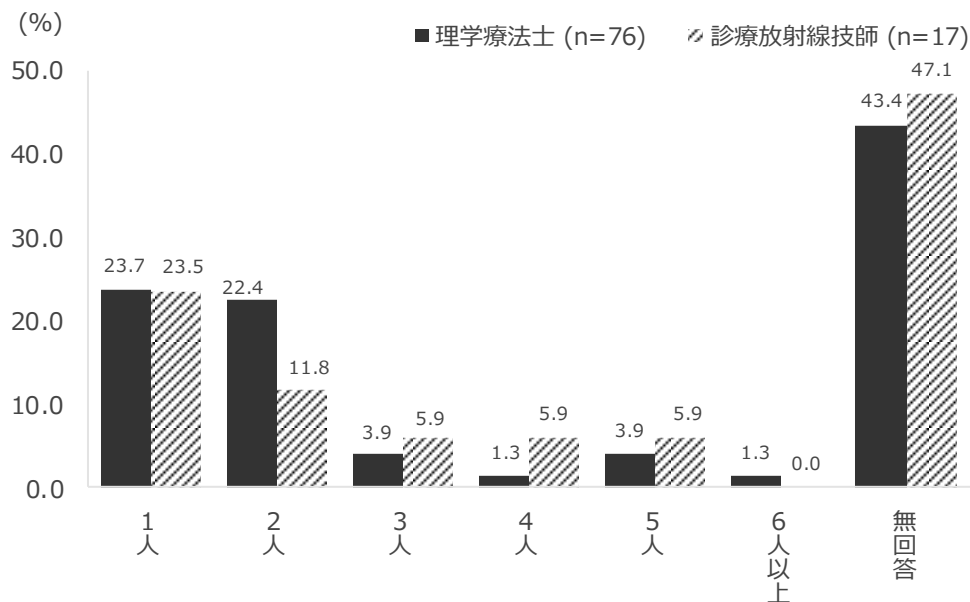


2. 順天堂大学大学院「保健医療学研究科」評価

【9】順天堂大学大学院修了者を採用したい人数

Ⅱ-問5. 貴施設において、今後、順天堂大学大学院修了者を採用したいと思いますか。

○採用したい人数

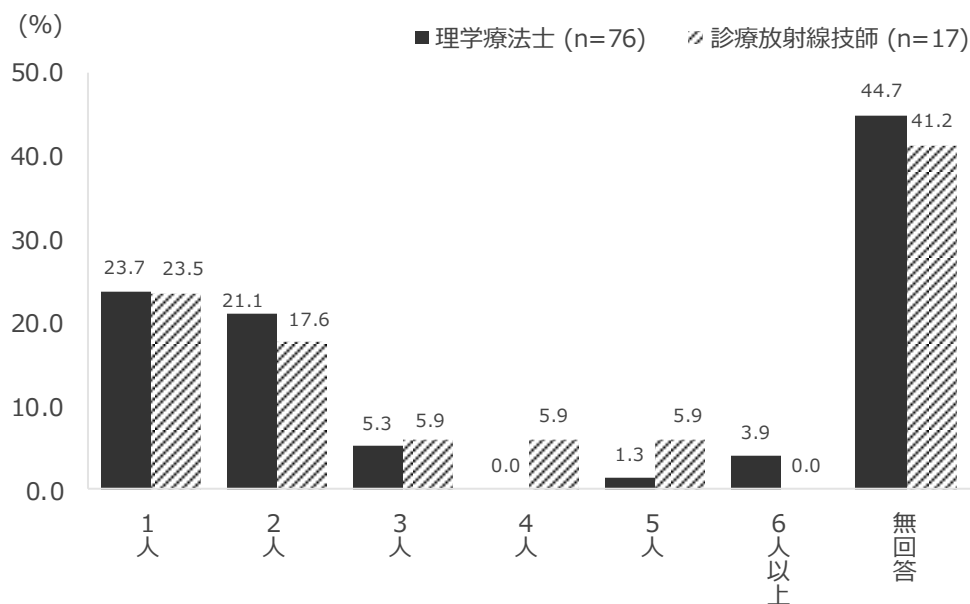


※ベース：今後、順天堂大学大学院修了者を採用したい/採用を検討したい (Ⅱ_Q5=2,3)

【10】理学療法士/診療放射線技師で採用したい人数

Ⅱ-問5. 貴施設において、今後、順天堂大学大学院修了者を採用したいと思いますか。

○採用の前提となる職種 理学療法士/診療放射線技師



※ベース：今後、順天堂大学大学院修了者を採用したい/採用を検討したい (Ⅱ_Q5=2,3)

2. 順天堂大学大学院「保健医療学研究科」評価

【11】理学療法士/診療放射線技師で採用したい人数

<理学療法士>

		1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	採用 計 想定 人数
(代入値)		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	-	
件数	採用意向あり 計	18件	16件	4件	0件	1件	3件	34件	
	採用したい	6件	9件	4件	0件	1件	1件	18件	
	採用を検討したい	12件	7件	件	0件	0件	2件	16件	
人数	採用意向あり 計	18人	32人	12人	0人	5人	18人	-	85人
	採用したい	6人	18人	12人	0人	5人	6人	-	47人
	採用を検討したい	12人	14人	人	0人	0人	12人	-	38人

<診療放射線技師>

		1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	採用 計 想定 人数
(代入値)		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	-	
件数	採用意向あり 計	4件	3件	1件	1件	1件	0件	7件	
	採用したい	3件	1件	0件	0件	1件	0件	5件	
	採用を検討したい	1件	2件	1件	1件	0件	0件	2件	
人数	採用意向あり 計	4人	6人	3人	4人	5人	0人	-	22人
	採用したい	3人	2人	人	0人	5人	0人	-	10人
	採用を検討したい	1人	4人	3人	4人	0人	0人	-	12人

※人数は、各回答の件数に代入値を掛け合わせて算出

※ベース：今後、順天堂大学大学院修了者を採用したい/採用を検討したい (Ⅱ_Q5=2,3)

卷末資料 1 : 調查票

問4 順天堂大学が構想する大学院で学ぶことを、貴施設の専門職者が希望する場合、どのようにお考えになりますでしょうか。

(1) 職務と進学に関するご意向について

- 1 既にある就学助成金などの制度を活用して、一定数に進学を勧めたい
- 2 休職制度などを活用して、一定数に進学を勧めたい
- 3 現在専門職に在籍のまま、進学を勧めたい
- 4 進学は勧めるが、本人の意志に任せている
- 5 進学を勧めることは考えていない
- 6 わからない

(2) 現在、大学院への進学を考えている医療職（理学療法士）はいますか。

- 1 把握していない
- 2 いない
- 3 いる

「3」の場合、差支えなければ以下の人数をお教え下さい。

○現在、大学院への進学を勧めたい人の数 _____人

○現在、大学院への進学を希望する人の数 _____人

問5 貴施設において、今後、順天堂大学大学院修了者を採用したいと思いませんか。

- 1 わからない
- 2 採用したい
- 3 採用を検討したい

「2」もしくは「3」の場合、差支えなければ以下の人数をお教え下さい。

○採用したい人数 _____人

○採用の前提となる職種 理学療法士 _____人

問7 その他、大学院（修士課程）設置に関するご意見・ご要望等がありましたらご記入下さい。

※ご協力ありがとうございました。

順天堂大学 大学院設置に関するアンケート調査 回答票【技師長様用】

I. 貴施設についてお伺いします。

問1 貴施設の業種について、当てはまる番号に○を記して下さい。

- 1 病院 2 その他 ()

問2 貴施設の所在地について、当てはまる番号に○を記して下さい。

- 1 東京都内 (23区) 2 東京都内 (23区外)
3 神奈川県 4 埼玉県 5 千葉県 6 茨城県 7 群馬県
8 栃木県 9 山梨県 10 静岡県 11 その他 (県)

問3 貴施設に従事する常勤の専門職者数

診療放射線技師 _____人

問4 貴施設に従事する専門職のうち、大学院修了者数

診療放射線技師 _____人

II. 順天堂大学が設置する大学院についてお伺いします。

当てはまる番号一つに○を記して下さい。

問1 順天堂大学が大学院を設置することは、これからの保健医療福祉の発展と向上に有益だと思いますか？

- 1 非常に有益だと思う 2 有益だと思う
3 あまり有益だと思わない 4 全く有益だとは思わない

問2 大学院に進学する適当な人材がいる場合、本学に設置する大学院への進学を勧めたいと思いますか。

- 1 積極的に勧めたい 2 勧めたい 3 本人の意志に任せる

問3 順天堂大学が構想している大学院では、社会人の進学も想定していますが、どのようにお考えになりますでしょうか。

- 1 良いと思う 2 良いとは思えない 3 どちらともいえない
4 わからない

問4 順天堂大学が構想する大学院で学ぶことを、貴施設の専門職者が希望する場合、どのようにお考えになりますでしょうか。

(1) 職務と進学に関するご意向について

- 1 既にある就学助成金などの制度を活用して、一定数に進学を勧めたい
- 2 休職制度などを活用して、一定数に進学を勧めたい
- 3 現在の専門職に在籍のまま、進学を勧めたい
- 4 進学は勧めるが、本人の意志に任せている
- 5 進学を勧めることは考えていない
- 6 わからない

(2) 現在、大学院への進学を考えている医療職（診療放射線技師）はいますか。

- 1 把握していない
- 2 いない
- 3 いる

「3」の場合、差支えなければ以下の人数をお教え下さい。

○現在、大学院への進学を勧めたい人の数 _____人

○現在、大学院への進学を希望する人の数 _____人

問5 貴施設において、今後、順天堂大学大学院修了者を採用したいと思いませんか。

- 1 わからない
- 2 採用したい
- 3 採用を検討したい

「2」もしくは「3」の場合、差支えなければ以下の人数をお教え下さい。

○採用したい人数 _____人

○採用の前提となる職種 診療放射線技師 _____人

問7 その他、大学院（修士課程）設置に関するご意見・ご要望等がありましたらご記入下さい。

※ご協力ありがとうございました。

卷末資料 2：說明資料

【別紙】

大学院設置構想の概要

1. 名称 (仮称) 順天堂大学大学院 保健医療学研究科
理学療法学専攻 修士課程
診療放射線学専攻 修士課程
2. 設置の目的、養成する人材
本研究科では、学是である「仁」の精神に基づき、国内外を問わず多様な場で社会貢献できる高度な実践能力をもち、理学療法学、診療放射線学のあり方を探求することのできる人材の養成を目的とする。
理学療法学専攻では、環境の変化に対応でき科学的根拠に基づいた高度な理学療法実践能力を発揮できる医療専門職者、理学療法学の成立基盤を基に理学療学分野の新たな方法論の開発や展開ができる教育者・研究者を志向する人材を育成する。
診療放射線学専攻では、環境の変化に対応でき科学的根拠に基づいた高度な診療放射線技術実践能力を発揮できる医療専門職者、診療放射線学の成立基盤を基に診療放射線学分野の新たな方法論の開発や展開ができる教育者・研究者を志向する人材を育成する。
3. 開設時期 (予定) 2023年4月1日
4. 開設場所 順天堂大学 (本郷・お茶の水キャンパス)
東京都文京区本郷3-2-12
5. 修業年限 2年
6. 入学定員 理学療法学専攻5名 診療放射線学専攻5名
7. 取得学位 (予定) 修士 (理学療法学) / 修士 (診療放射線学)
8. 学生納付金 (予定) 入学金20万円、授業料60万円/年
9. 開設予定科目
 - (1) 共通科目
医療倫理学特論、医療統計疫学特論、機能解剖学特論、生理機能画像応用学特論、保健医療研究方法論、医療教育学特論 (選択)、医療マネジメント学特論 (選択)
 - (2) 理学療法学専攻
【専門基礎科目】理学療法英語特論、理学療法臨床教育学特論、リハビリテーション学特論
【専門科目】ニューロリハビリテーション学特論・演習、運動機能制御理学療法学特論・演習、運動器・スポーツ理学療法学特論・演習、内部機能障害理学療法学特論・演習
【特別研究科目】理学療法学特別研究
 - (3) 診療放射線学専攻
【専門基礎科目】診療放射線英語特論、放射線医学特論、機能画像学特論
【専門科目】医療画像技術学特論・演習、診療放射線診療学特論・演習、生体量子科学特論・演習
【特別研究科目】診療放射線学特別研究

※上記内容は構想中であり、今後変更となる場合があります。

理学療法学科

	身分	氏名		研究分野(キーワード)
1	教授	藤原俊之		既存の医学では治療が困難な重度障害の病態、機能回復の機序解明、新しいリハビリテーション治療の開発
2	教授	高橋哲也		心臓リハビリテーション、内部障害系理学療法、デジタルヘルス、集中治療における理学療法
3	教授	眞壁 寿		神経系疾患の歩行とバランス機能に関する研究、歩行及び立位時の脳波と筋電図コヒーレンスに関する研究
4	教授	池田 浩		スポーツ選手が安心・安全にプレーに専念できる環境作りと、スポーツ外傷と障害の予防
5	先任准教授	相澤純也		膝外傷後アスリートにおけるスポーツ復帰に向けた再受傷予防とパフォーマンス拡大に関する理学療法研究
6	先任准教授	松田雅弘		小児理学療法、ニューロリハビリテーション、支援工理学療法
7	先任准教授	山口智史		神経疾患後の運動学習を促すための研究・非侵襲的電気刺激を用いたリハビリテーション研究
8	准教授	齊藤正和		フレイルやカヘキシアを呈する心疾患や慢性腎臓病患者に対する評価・治療に関する研究
9	准教授	森沢知之		呼吸筋サルコペニアに関する研究、遠隔リハビリテーションに関する研究
10	准教授	飛山義憲		変形性膝関節症や人工膝関節置換術前後の理学療法の標準化に向けた研究
11	講師	宮森隆行		スポーツ外傷・障害のリスク推定、球技系スポーツパフォーマンスの定量化
12	助教	藤野雄次		脳損傷後の運動障害や高次脳機能障害の理学療法に関する研究

診療放射線学科

	身分	氏名		研究分野(キーワード)
1	特任教授	代田浩之		循環器内科学、冠動脈疾患の診断治療と予防、動脈硬化
2	教授	京極伸介		各種画像診断におけるコンピューター支援(CAD: ComputerAssisted Diagnosis)の研究
3	特任教授	坂野康昌		放射線科マネジメント、放射線関係法規、放射線生物学、放射線腫瘍学
4	教授	中西 淳		認知症やパーキンソン症候群など画像診断の研究
5	教授	坂本 肇		放射線安全管理、放射線計測、血管造影・IVR領域での被ばく線量防護
6	先任准教授	後藤政実		脳機能解明や臨床診断に役立つ情報をMRI(磁気共鳴画像)解析により提供する為の研究
7	准教授	津田啓介		FDG-PET/CT検査における至適撮像法(収集プロトコール、画像再構成法など)に関する研究
8	准教授	黒河千恵		新しい検出器の開発や改良、放射線治療に伴う不確かな要因を最小化する方法の検討
9	准教授	佐藤英介		脳腫瘍を対象としたホウ素中性子捕捉療法法の基礎研究およびMR画像解析研究
10	講師	臼井桂介		放射線技術と工学、人工知能を融合した高精度放射線治療法の開発

卷末資料 3：調査対象

調査対象 (理学療法士施設1/2)

日本大学病院
社会福祉法人 三井記念病院
国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院
学校法人 聖路加国際大学 聖路加国際病院
公益財団法人 心臓血管研究所付属病院
医療法人社団 哺育会 浅草病院
順天堂大学医学部附属 順天堂医院
医療法人社団 博栄会 赤羽中央総合病院
一般社団法人 巨樹の会 赤羽リハビリテーション病院
医療法人社団 苑田会 苑田会リハビリテーション病院
医療法人社団 苑田会 花はたりリハビリテーション病院
医療法人社団 苑田会 竹の塚脳神経リハビリテーション病院
医療法人社団 苑田会 苑田第三病院
医療法人社団 苑田会 苑田第二病院
医療法人社団 苑田会 苑田第一病院
医療法人社団 明芳会 イムスリハビリテーションセンター 東京葛飾病院
IMSグループ 医療法人社団 明芳会 イムス東京葛飾総合病院
医療法人 嬉泉会 嬉泉病院
社会福祉法人 賛育会 賛育会病院
東京都リハビリテーション病院
医療法人社団 晃山会 松江病院
社会医療法人社団 森山医会 森山記念病院
社会医療法人社団 森山医会 森山脳神経センター病院
いのうえ整形外科
公益財団法人 河野臨床医学研究所附属 品川リハビリテーション病院
医療法人社団 東京巨樹の会 東京品川病院
一般社団法人 巨樹の会 五反田リハビリテーション病院
一般社団法人 巨樹の会 蒲田リハビリテーション病院
医療法人 財団 中島記念会 大森山王病院
日本赤十字社 大森赤十字病院
東邦大学医療センター 大森病院
社会医療法人 財団 仁医会 牧田総合病院
公益財団法人 東京都保健医療公社 荏原病院
医療法人社団 七仁会 田園調布中央病院
医療法人社団 松和会 池上総合病院
一般社団法人 巨樹の会 原宿リハビリテーション病院
医療法人社団 輝生会 初台リハビリテーション病院
医療法人 平成博愛会 世田谷記念病院
公立学校共済組合 関東中央病院
独立行政法人 地域医療機能推進機構 東京新宿メディカルセンター
東京女子医科大学病院
医療法人 財団 健貫会 総合東京病院
社会医療法人 河北医療財団 河北リハビリテーション病院
社会医療法人 河北医療財団 河北総合病院
医療法人社団 瑞心会 杉並リハビリテーション病院
医療法人社団 快晴会 すがも北口整形外科クリニック
IMSグループ 医療法人社団 明芳会 イムス板橋リハビリテーション病院
医療法人社団 健育会 竹川病院
えこだ駅前山田整形外科クリニック
順天堂大学医学部附属 練馬病院
医療法人 健育会 ねりま健育会病院
公益社団法人 地域医療振興協会 練馬光が丘病院
公益財団法人 日本心臓血管研究振興会 附属 榊原記念病院
医療法人社団 大日会 小金井太陽病院
一般社団法人 巨樹の会 小金井リハビリテーション病院
医療法人社団 青葉会 一橋病院
公立昭和病院
医療法人社団 時正会 佐々総合病院
医療法人社団 東光会 西東京中央総合病院
独立行政法人 国立病院機構 災害医療センター
医療法人社団 徳成会 八王子山王病院
医療法人社団 玉栄会 東京天使病院
医療法人社団 永生会 永生病院
医療法人社団 幸隆会 多摩丘陵病院
医療法人社団 SEISEN 清泉クリニック 整形外科 東京 狹窪
社会福祉法人 みどり福祉会 B&Jクリニック お茶の水
東京都済生会中央病院
医療法人社団 栄悠会 綾瀬循環器病院
医療法人社団 栄悠会 あやせ循環器リハビリ病院
医療法人社団 苑田会 苑田会人工関節センター病院
社会福祉法人 同愛記念病院 財団 同愛記念病院
社会医療法人社団 順江会 江東病院
一般社団法人 巨樹の会 江東リハビリテーション病院
国立研究開発法人 国立成育医療研究センター
医療法人社団 青葉会 世田谷神経内科病院
箕山クリニック
医療法人社団 慈誠会 練馬駅リハビリテーション病院
医療法人社団 TOC 寺嶋整形外科医院
国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター病院
国家公務員共済組合連合会 立川病院
社会医療法人 財団 大和会 武蔵村山病院
独立行政法人 地域医療機能推進機構 東京高輪病院
北里大学 北里研究所病院
国立大学法人 東京医科歯科大学医学部附属 病院 スポーツ医学診療センター
東京大学医学部附属病院
医療法人社団 明芳会 イムス葛飾ハートセンター
公益財団法人 がん研究会 有明病院
順天堂大学医学部附属 順天堂大学 東京 高齢者医療センター
日本赤十字社 医療センター
独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター
社会福祉法人 康和会 久我山病院
医療法人 横浜未来ヘルスケアシステム 奥沢病院
医療法人社団 明芳会 高島中央総合病院
医療法人社団 永生会 永生クリニック リハビリテーションセンター
社会医療法人 財団 石心会 川崎幸病院
SOL 整形外科 スポーツクリニック
聖マリアンナ医科大学病院
独立行政法人 労働者健康安全機構 横浜労災病院
横浜市 スポーツ医学センター
医療法人社団 明芳会 横浜 横浜市 脳神経外科病院

調査対象 (理学療法士施設2/2)

独立行政法人 地域医療機能推進機構 横浜中央病院

医療法人社団明芳会 横浜旭中央総合病院

医療法人社団緑野会 みどり野リハビリテーション病院

医療法人横浜未来ヘルスケアシステム 戸塚共立リハビリテーション病院

地域医療支援病院 小田原市立病院

座間整形外科

医療法人社団 博慈会 青葉さかい病院

牧野記念病院

医療法人社団明理会 東戸塚記念病院

IMSグループ医療法人社団明芳会 新戸塚病院

湘南鎌倉人工関節センター

聖マリアンナ医科大学東横病院

川崎市立多摩病院

医療法人社団総生会 麻生総合病院

医療法人社団三成会 新百合ヶ丘総合病院

横浜市総合リハビリテーションセンター

社会福祉法人恩賜財団 済生会横浜市東部病院

日本赤十字社 横浜市立みなと赤十字病院

社会医療法人 さいたま市民医療センター

社会福祉法人恩賜財団済生会支部 埼玉県済生会川口総合病院

医療法人社団協友会 メディカルトピア草加病院

医療法人社団協友会 埼玉回生病院

医療法人三愛会 埼玉みさと総合リハビリテーション病院

医療法人社団愛友会 三郷中央総合病院

医療法人敬愛会 リハビリテーション天草病院

越谷市立病院

IMSグループ医療法人財団明理会 春日部中央総合病院

医療法人社団埼玉巨樹の会

新久喜総合病院

埼玉医科大学国際医療センター

一般社団法人 巨樹の会 狭山中央病院

社会医療法人財団石心会 埼玉石心会病院

埼玉医科大学総合医療センター

独立行政法人国立病院機構 埼玉病院

社会医療法人社団 堀ノ内病院

医療法人社団青葉会 新座病院

医療法人社団武蔵野会 T M G宗岡中央病院

医療法人社団和風会 所沢リハビリテーション病院

社会医療法人社団和風会 所沢中央病院

一般社団法人巨樹の会 明生リハビリテーション病院

独立行政法人国立病院機構 西埼玉中央病院

医療法人啓仁会 所沢ロイヤル病院

医療法人社団東光会 戸田中央総合病院

さいたま市立病院

医療法人社団幸正会 岩槻南病院

獨協医科大学 埼玉医療センター

独立行政法人国立病院機構 東埼玉病院

医療法人社団青葉会 狭山神経内科病院

医療法人社団武蔵野会 新座志木中央総合病院

医療法人社団愛友会 上尾中央第二病院

医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院

埼玉県総合リハビリテーションセンター

一般社団法人巨樹の会 所沢明生病院

一般社団法人巨樹の会 千葉みなとリハビリテーション病院

千葉県救急医療センター

医療法人社団ふけ会 富家千葉病院

医療法人社団淳英会 おゆみの中央病院

一般社団法人巨樹の会 松戸リハビリテーション病院

社会医療法人社団木下会 千葉西総合病院

松戸市立総合医療センター

医療法人社団青嶺会 松戸整形外科病院

医療法人社団紺整会 船橋整形外科市川クリニック

IMSグループ医療法人財団明理会 行徳総合病院

国立研究開発法人

国立国際医療研究センター国府台病院

医療法人社団輝生会 船橋市立リハビリテーション病院

独立行政法人 地域医療機能推進機構 船橋中央病院

医療法人社団誠誓会 セコマディック病院

社会医療法人社団千葉県勤労者医療協会 船橋二和病院

医療法人徳洲会 千葉徳洲会病院

医療法人社団愛友会 津田沼中央総合病院

医療法人社団保健会 谷津保健病院

医療法人社団心和会 新八千代病院

東京女子医科大学 八千代医療センター

医療法人社団葵会 柏たなか病院

医療法人社団柏水会 初石病院

医療法人社団協友会 柏厚生総合病院

国立がん研究センター東病院

医療法人SHIODA 塩田記念病院

医療法人社団誠誓会 総泉病院

千葉県千葉リハビリテーションセンター

医療法人社団 博翔会 五香病院

医療法人社団城東桐和会 タムス市川リハビリテーション病院

医療法人社団紺整会 船橋整形外科病院

医療法人社団保健会 東京湾岸リハビリテーション病院

医療法人社団健陽会 西川整形外科

千葉県循環器病センター

一般社団法人巨樹の会 宇都宮リハビリテーション病院

千葉大学医学部附属病院

医療法人社団青嶺会 松戸整形外科クリニック

東京勤労者医療会 東葛病院

公益社団法人地域医療振興協会 東京ベイ・浦安市川医療センター

順天堂大学医学部附属浦安病院

医療法人社団城東桐和会 タムス浦安病院

東邦大学医療センター佐倉病院

社会医療法人若竹会 つくばセントラル病院

医療法人社団筑波記念会 筑波記念病院

医療法人 健佑会 いちはら病院

医療法人三星会 茨城リハビリテーション病院 (旧: 医療法人社団源守会
会田記念リハビリテーション病院)

社会医療法人達生堂 城西病院

順天堂大学医学部附属静岡病院

調査対象 (診療放射線技師施設)

板橋中央総合病院
NTT東日本関東病院
聖路加国際病院
杏林大学医学部付属病院
慶應義塾大学病院
有明病院
東京都保健医療公社荏原病院
東京都保健医療公社大久保病院
東京都保健医療公社多摩北部医療センター
東京都保健医療公社多摩南部地域病院
東京都保健医療公社豊島病院
国立がん研究センター中央病院
国立国際医療研究センター病院
虎の門病院
J R 東京総合病院
三井記念病院
順天堂大学医学部附属順天堂医院
順天堂大学医学部附属練馬病院
東京医科歯科大学病院
東京医科大学病院
東京慈恵会医科大学附属病院
東京慈恵会医科大学葛飾医療センター
東京慈恵会医科大学附属第三病院
東京女子医科大学病院
東京大学医学部附属病院
東京都立大塚病院
東京都立駒込病院
東京都立多摩総合医療センター
東京都立広尾病院
東京都立墨東病院
東邦大学医療センター大橋病院
東邦大学医療センター大森病院
JCHO東京新宿メディカルセンター
日本医科大学付属病院
東京臨海病院
日本大学医学部附属板橋病院
日本大学病院
武蔵野赤十字病院
横須賀市立うわまち病院
聖マリアンナ医科大学病院
横浜医療センター
横浜市立大学附属市民総合医療センター
横浜市立大学附属病院
春日部市立医療センター
埼玉県済生会川口総合病院
獨協医科大学埼玉医療センター
国立がん研究センター東病院
順天堂大学医学部附属浦安病院
千葉大学医学部附属病院
東京慈恵会医科大学附属柏病院
自治医科大学附属病院
獨協医科大学病院
順天堂大学医学部附属静岡病院

日理協 21 第 463 号

2022 年 2 月 28 日

順天堂大学

学 長 新 井 一 様

公益社団法人 日本理学療法士協会

会 長 齊 藤 秀 之



理学療法士教育における大学院修士課程の設置について（要望）

わが国における理学療法士養成教育は、1960年代後半から専門学校にて行われてきた。しかし、この時期に日本学術会議から政府に対し、理学療法士教育を大学4年制とし大学院を附置すべきとの意見書が出され、その後、1979年から金沢大学へ短期大学部が加わり、1992年には広島大学に初の4年制大学が設立された。そして、現在、全養成校276校のうち4年制大学は119校あり、修士課程設置は約55%、博士課程設置が約35%となっている。

理学療法士養成教育が高学歴化した背景には、リハビリテーション医療の急速な高度化・多様化に対応できる豊かな知識、研究心と応用力を持った人材育成の必要性があったものと考えられる。そして、このような高い教育を受けた理学療法士の並々ならぬ努力や研究が、理学療法の実践に大きく貢献してきた。

今後、ますます発展し高度化していくと予想されるリハビリテーション医療に幅広く対応するには、さらに高い専門知識と実践力を兼ね備えた理学療法士の確保が不可欠である。そのためには現在の4年制大学の教育に加え、大学院修士課程、博士課程において高度な学術的基盤を修得し、豊かな人間性と次世代を担うことができる研究能力を兼ね備えた将来の教育者、研究者、指導者を育成していかなければならない。

しかしながら、前述のとおり、現在大学院修士課程を設置している理学療法士養成4年制大学は65校であり、向学心を持った社会人の入学者、入学希望者が年々増加している傾向を考えると、理学療法士教育を行う大学院はまだ不足しているため、私立大学にその設置を特に期待するものである。

本会としては、修士あるいは博士の学位を持つ理学療法士が数多く輩出され、将来の理学療法を先導し、国民の医療・保健・福祉の増進に寄与する役割を果たさなければならないと考えている。

ついでに、貴大学の学是「仁」の精神にて、高い倫理観をもった地域を支える高度医療専門職者の育成や、高度先進医療技術の研究に取り組む、貴学大学院保健医療学研究科を設置されることを強く要望するものである。

東理発第 03282 号

令和 4 年 2 月 4 日

順天堂大学

学長 新井 一 様

公益社団法人 東京都理学療法士協会

会長 森島 健



順天堂大学大学院保健医療学研究科設置について

立春の候、貴学におかれましてはますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

平素より本会の活動にご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症対策など東京都の医療・保健・福祉を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いています。今後ますます高齢化が進む東京都において、高齢者が住み慣れた地域で安心して最後まで暮らすことができる地域包括ケアシステムを実現するためには、医療・保健・福祉を担う人材の確保と質の向上を図ることが不可欠です。とりわけ、東京都においても理学療法士の役割はますます重要性が増していることから、質の高い理学療法士の確保は東京都の医療・保健・福祉機関などの運営においても喫緊の課題となっております。

つきましては、貴学が計画されている保健医療学部を基盤とした大学院保健医療学研究科修士課程（理学療法学専攻）開設構想（令和 5 年 4 月開設予定）にあたり、高度な医療専門職者教育が行われるとともに、研究を通じた地域医療活動の円滑な推進と発展に貢献されることに大きな期待を寄せているところであります。

都民の医療及び保健、福祉の維持・発展に寄与するべく、貴学大学院保健医療学研究科の設置について、着実にその歩みを進めていただくよう要望いたします。

以上

日放技発第 60 号

令和 4 年 2 月 1 日

順天堂大学

学長 新井 一 様

公益社団法人日本診療放射線技師会

会長 上田 克彦



大学院保健医療学研究科設置の期待と要望について

日頃より本会の活動につきまして、ご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

さて、貴学におかれましては令和 5 年 4 月予定にて、保健医療学部を基盤とした大学院保健医療学研究科修士課程（診療放射線学専攻）を開設される構想があるとの説明をいただきました。

本会は、わが国における診療放射線技師の職業倫理を高揚し、診療放射線学および診療放射線技術の向上と発展、ならびに公衆衛生の向上を図り、もって国民の健康維持に寄与することを目的として活動を行っているところです。

医療は高度で専門化し、安全で安心な診療が求められることから、高い知識と技術を備えた診療放射線技師が必要となっております。貴大学院の設置構想では、伝統ある医学部および順天堂医院とも緊密に連携し、学是でもある「仁」の精神にて大学院で高い倫理観と先進医療技術による高度な研究に取り組まれることとされており、本会にとり非常に有意義であると大いに期待するところでございます。

貴大学院は本郷・お茶の水キャンパス（東京都文京区）に設置され、国際教養学部とも連携して国際的な広い視野を持つ人材を育成する機会があると伺いましたので、グローバルでの活躍ができる診療放射線技師の人材育成にも期待申し上げますとともに、高い倫理観による医療・保健の維持発展、高度な専門技術者としてのリーダーシップを発揮できる人材輩出が可能な貴大学保健医療学研究科の大学院が設置されることを強く要望いたします。

以上

東放技発第 21-031 号

令和 4 年 2 月 3 日

順天堂大学

学長 新井 一様

公益社団法人
東京都診療放射線技師会
会長 篠原 健



大学院保健医療学研究科設置の期待と要望について

春寒の候、貴学におかれましてはますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より本会の活動につきまして、ご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

さて、貴学ではこの度、保健医療学部を基盤とした大学院保健医療学研究科修士課程（診療放射線学専攻）を開設する構想（令和 5 年 4 月開設予定）があるとの説明をいただきました。

本会は、診療放射線技師の職業倫理および診療技術の向上と発展、放射線障害防止に努め、もって都民の医療及び保健の維持発展に寄与する活動を行っているところであり、大学院にて高度な研究に取り組まれることは、本会にとり非常に有意義であると大いに期待するところです。

大学院の設置構想では、最新の放射線技術学を学び高度な専門知識と技術を身につけ、医学部および順天堂医院とも緊密に連携し、医学の発展に役立つ研究を行うことにより高度医療を支える一員として活躍できる人材の養成を目指していると聞いております。地域の放射線診療においてリーダーシップを発揮できる人材の育成、学是でもある「仁」の精神にて医療・福祉の向上を担い、東京都の放射線診療技術発展に貢献するべく、貴大学大学院保健医療学研究科が設置されることを強く要望するものです。

以上